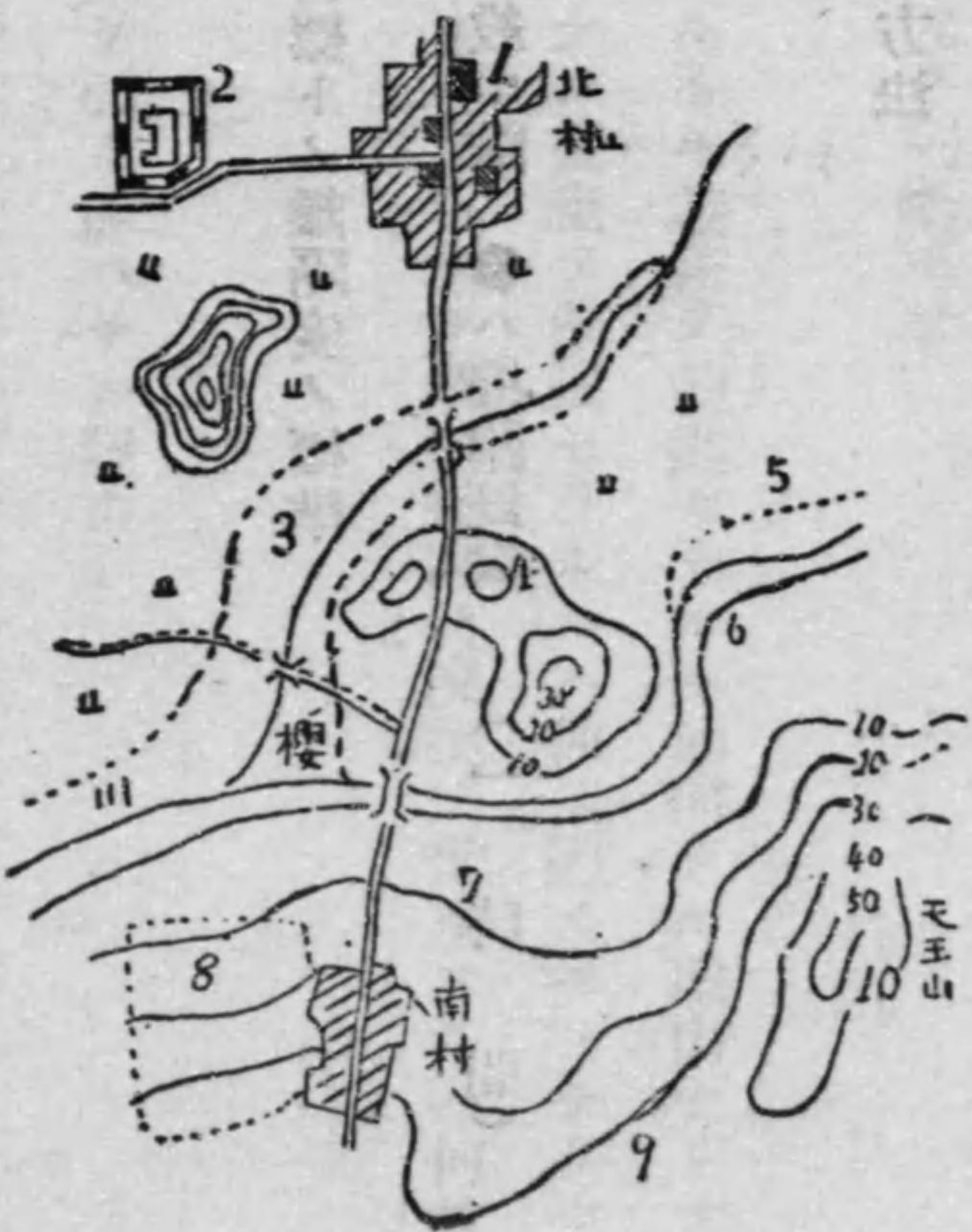


### 其 他

(二時間三十分)

- 一、左記各項ヲ問フ
  - (イ) 汽車電車内ニテ上官ニ遇ヒタル時ノ禮式
  - (ロ) 體操實施ニ於ケル幫助ノ要領
- 二、左記事項ヲ圖上相當番號ノ位置ニ圖式ニ依リ記號又ハ註記ヲ以テ記入セヨ
  - 1 學校
  - 2 製造所
  - 3 沼田
  - 4 記念碑
  - 5 竹林
  - 6 徒涉場(水深六十糎)
  - 7 堆土(高サ五米)
  - 8 果園
  - 9 獨立樹(潤葉樹)
  - 10 古戰場
- 三、左ノ件ヲ問フ
  - (イ) 内務班長タル下士ニ軍隊衛生學教育ヲ普及徹底セシムルヲ要スル理由
  - (ロ) 歩兵一人ニ付飲用及炊事用ヲ含ミ水ノ使用量ハ一日何立ヲ基準トスルヤ



### 國 語

(一時三十分)

- 一、左ノ語句及和歌ヲ解釋セヨ
  - (イ) 勝負を度外に措きて虚心坦懐事に當る
  - (ロ) 戦況を伏奏するの寵遇を荷ふ
  - (ハ) 刀の櫛を握りて睥睨す
  - (ニ) 末つひに成らざらめやは國の爲民の爲にと我が思ふこと
  - 二、左ノ漢字ノ字音ト意義トヲ記セ(字音ハ右傍、意義ハ下ニ)
  - 蟹。影。遂。裕。渥。綽
  - 三、左ノ文ノ内片假名ノ部分ヲ漢字ニ改メヨ
    - (イ) 兵士のヒラウをネギラひ士氣をコブす
    - (ロ) エウサイの下にて敵をセンメツす
    - (ハ) 萬歳をウワンコレキンゼンとしてメイモクス

### 數 學

(一時三十分)

- 1. 次式ヲ最モ簡單ニセヨ
 
$$\left(5\frac{7}{12} - 3\frac{19}{30}\right) \div \left(1\frac{5}{6} + \frac{7}{8}\right)$$
- 2. 兵卒 12 名ヲ使役スルハ 20 日間ニ完成スヘキ工事アリ今兵卒 3 名ヲ増サハ幾日早ク完成スヘキカ
- 3. 矩形ノ地面アリ其面積 5695 平方米ニシテ二邊ノ差 18 米ナリト云フ二邊ノ長サ各幾米カ

物理 化學

(一 學 問)

1. 紙片ト銅貨トヲ落下セシムレハ紙片ハ遅ク銅貨ハ速クナルヲ見ル其理由ヲ問フ
2. 監的鏡ノ構造及作用ヲ説明セヨ
3. 長キ列ヲ作リテ行進スル軍隊ノ各員ハ先頭ノ喇叭ヲ同時ニ聞キ得サル理由如何

豊橋教導學校第四期第一次學生後期試験問題

(昭和六年九月)

服 務

(二 時 間)

- 一、内務班長カ班員兵卒ノ行狀ヲ識別スル方法ヲ述ヘヨ
- 二、左ノ件ヲ説明セヨ
  - (イ) 衛戍勤務服務者カ兵器ヲ使用シ得ル場合
  - (ロ) 衛戍巡察ノ種類及任務
- 三、左ノ件ヲ問フ
  - (イ) 帝國在郷軍人會ノ價值
  - (ロ) 軍隊ニ於ケル命令下達ノ本旨
- 四、兵ヲシテ被服尊重愛護セシムル爲幹部トシテ執ルヘキ手段方法ヲ述ヘヨ

歩 兵 操 典

○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

○一、攻撃戰鬪間敵ノ攻撃ヲ受ケタル場合火線分隊長ハ其一般責務ヲ如何ニ遂行スルヤヲ具體的ニ説明セヨ

●一、攻撃ニ於テ平射歩兵砲ノ最大威力ヲ發揚スル爲陣地選定ノ着眼ヲ述ヘヨ

- 二、夜間ニ於ケル支點ノ防禦戰鬪ノ要領ヲ説明セヨ
- 二、曲射歩兵砲射撃ニ於ケル射向決定ノ要領ヲ説明セヨ
- 三、地形地物ヲ利用スル射撃ニ於テ兵ノ陥リ易キ事項ヲ述ヘ且左記課目教育ニ方リ注意スヘキ件ヲ問フ

- (一) 兩肘ヲ臂坐上ニ置キ銃ヲ胸墻ニ依托シテ行フ小銃射撃
  - (二) 直接地物ニ銃ヲ依托シテ行フ輕機關銃射撃
  - 三、地形地物ヲ利用スル射撃ニ於テ左記事項ヲ問フ
  - (イ) 機關銃ノ一般歩兵ノ散兵壕ヲ利用シテ銃ヲ据ウル要領
  - (ロ) 平射歩兵砲ノ稜線利用上ノ著眼
- 四、狀況
- (一) 大隊ハ昭和橋以南ノ敵ヲ攻撃中ナリ
  - (二) 速ニ東村附近ニ進出シ敵右側背ヲ脅威スヘキ任務ヲ有スル1、2、3ハ大



- 三、隊主力ニ先チ小塚附近ノ敵ニ突撃ヲ敢行シ九月二十五日午前九時要圖ノ線ニ進出シ北村附近ノ敵ヲ攻撃中ナリ
- (三) 同時東村西方無名祠高地東側ニ敵ノ輕機現出シテ不意ニ小隊ヲ側射シ爾後ノ前進困難ナル狀況ニ在リ

問題(イ) 第一分隊長ノ處置 爲スヘキ行動ヲ圖上ニ記入(色鉛筆ヲ以テ)シ所要ノ註記ヲナセ

○(ロ) 小隊長ノ處置 圖上ニ記入(色鉛筆ヲ以テ)シ所要ノ註記ヲナセ

五、狀況

(一) 機關銃第一小隊ハ八幡神社附近ニ於テ主トシテ第一中隊ノ攻撃ニ協力(ロ)附近ノ敵ヲ射撃中第一中隊長ヨリハ(ハ)附近ニ現出セル敵機關銃ヲ射撃セラレタキ旨通報ニ接ス

(二) 小隊長ハ第一分隊(右銃)ヲシテ(ハ)ノ機關銃ヲ射撃セシメ第二分隊長(左銃)ヲシテ西村附近ニ陣地ヲ變換シ(ロ)附近ノ射撃ヲ命セリ

問題(一) 第一分隊長ノ射撃號令(答解ハ直ク下ニ書ケ)

(二) 第二分隊長ノ處置

變換ノ陣地及之ニ至ル經路ヲ色鉛筆ヲ以テ圖上ニ記入シ且其實行ニ要スル處置ヲ餘白ニ記入

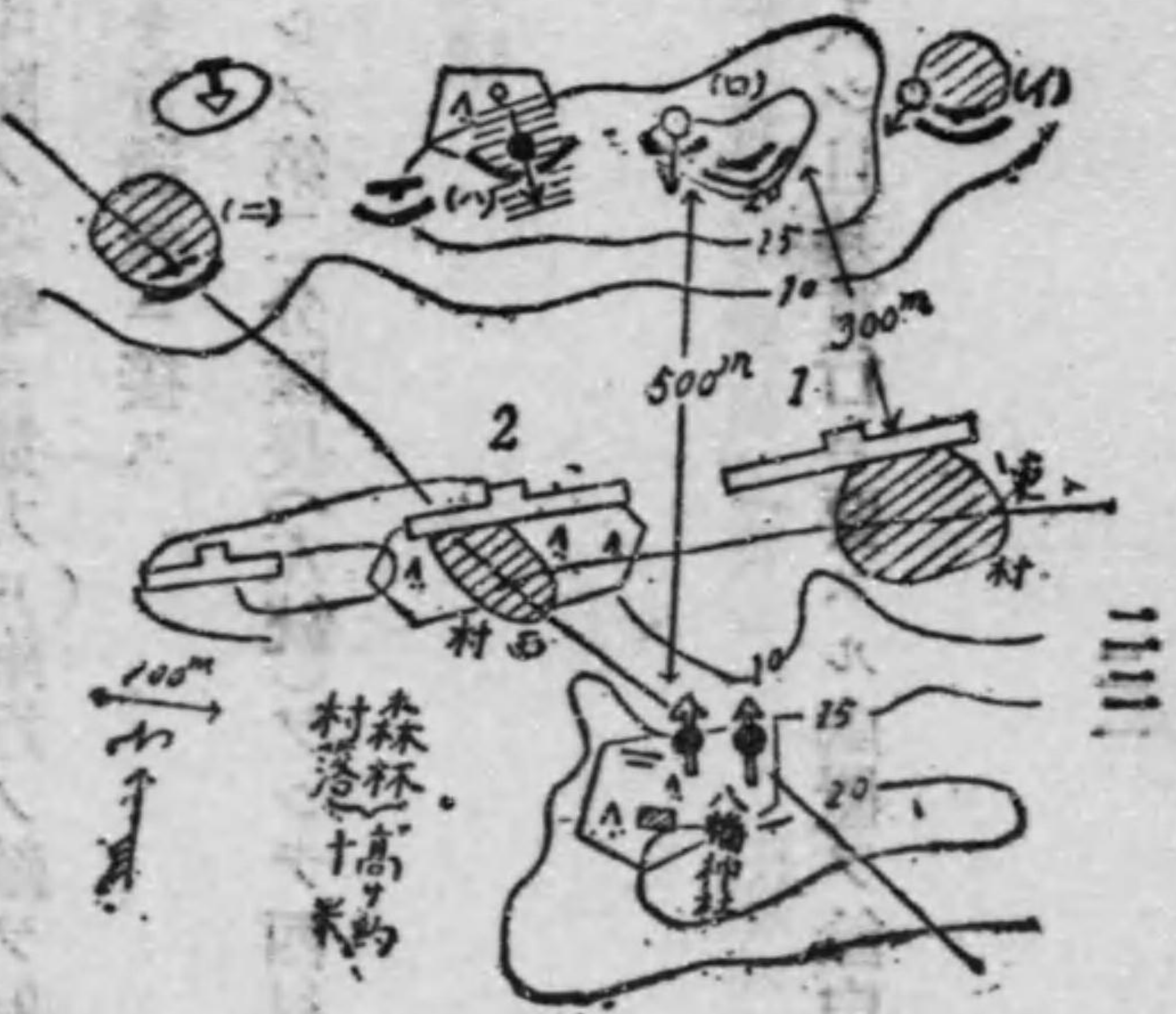
セヨ

(射撃中ノ爆音ヲ聞クモ目視困難但林縁「ボサ」(正面「〇密位」内ナルコト確實ナリ

### 陣中要務令

○ハ一般中隊

●ハ機關銃隊



- (イ) 報告文ヲ記スルニ方リ左ノ件ヲ述ヘヨ
  - 1 月、日、時刻ノ記述法
  - 2 字、俗稱及實稱ノ記載法
- (ロ) 座標ヲ以テスル地點ノ指示法ノ一例ヲ圖示説明セヨ
- (ニ) 炎熱時ノ行軍實施ニ方リ休憩地ノ選定及喝病ノ豫防法ヲ述ヘヨ
- (三) 布板ニ依ル飛行機トノ通信要領及布板布置ノ爲位置選定要領並注意ヲ述ヘヨ
- (三) 左ノ件ヲ述ヘヨ

(イ) 歩兵大隊ノ有スル行李ノ種類及其積載品

(ロ) 携帶馬糧ノ品目數量(騎兵及之ト行動ヲ共ニスル部隊ノ乘馬ヲ除ク)及携行法

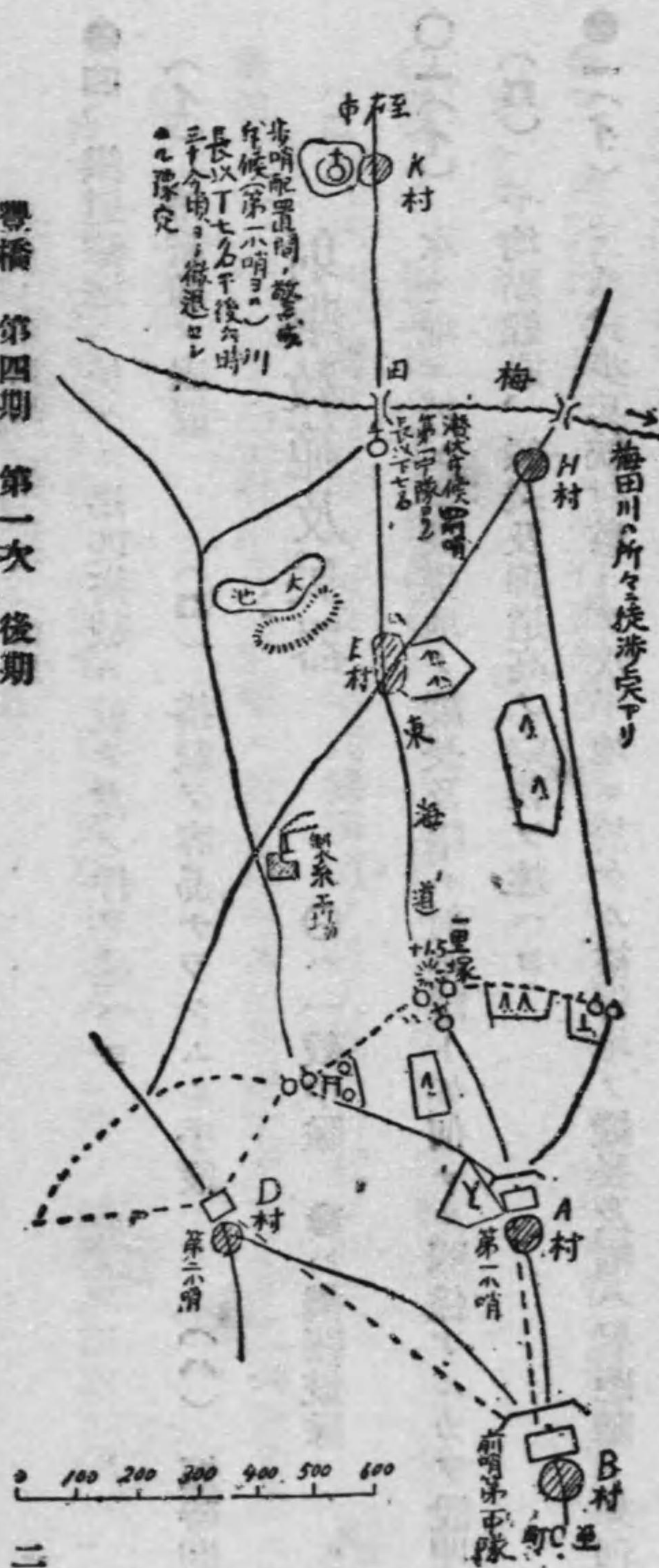
○(四) 左記情況ニ基キ第一小哨長トシテ東海道上ノ下士哨ニ與フル特別守則ヲ別紙ニ記述セヨ  
情況(一) 敵ハ午後三時F市(東海道上A村北方約五里)附近ニ停止シ其後前進ノ模様ナク其斥候ハ

K村北方地區ニ出沒ス

○(二) 我カ支隊ノ主力ハC町(A村南方約三吉米)ニ宿營シ其前哨ノ一部タル前哨第一中隊ノ第

一、小哨ハA村北端ニアリテ午後五時要圖ノ如ク警戒配備中ナリ

注意 1 小哨附近一帶ノ地形ハ畑地ナリ 2 日没ハ午後六時三十分、月出ハ午前四時トス



●四、鐵道輸送ニ於ケル馬匹搭載ニ就テ左ノ件ヲ述ヘヨ

(イ) 搭載前ノ處置

(ロ) 搭載ヲ容易ナラシムル手段

(ハ) 短時間輸送ノ場合ノ注意

### 射撃教範及兵器

○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

○(一イ) 水平地ニ於ケル被彈地ノ縱長及幅ハ射距離ト如何ナル關係アルカヲ説明セヨ

(ロ) 平均點躲避、躲避及彈道高ノ定義ヲ述ヘヨ

●(一イ) 三八式步兵銃射撃ニテ水平地ニ於ケル被彈地ノ縱長及幅ハ射距離ト如何ナル關係アルカヲ

説明セヨ

(ロ) 平均點躲避、躲避及彈道高ノ定義ヲ述ヘヨ

○二、單一ノ三八式步兵銃ヲ以テ左圖ノ如キ垂直標的ニ對シ射距離三百米ニテ八十發ヲ射撃シ其平均彈著點ハ標的ノ中央ニアリトイフ然ルトキハ標的ノ黑色部ニハ何發命中ヲ豫期シ得ヘキヤ但氣溫攝氏十五度氣壓七百六十耗トス

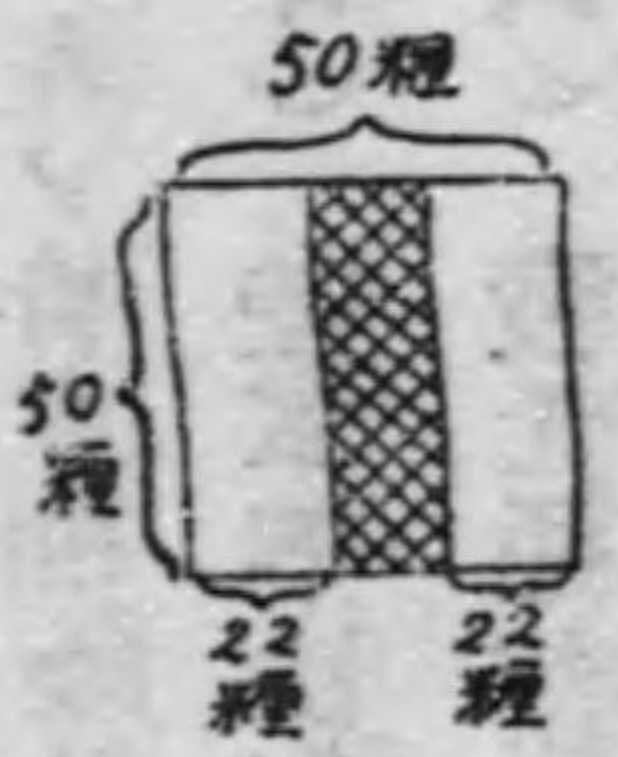


備考 射距離三百米ニテ單一ノ三八式步兵

銃ヲ以テスル射撃ノ半數必中界次ノ如シ

垂直 一九糎 水平 一八糎

●二、單一ノ三年式機關銃ヲ以テ左圖ノ如キ垂直標的ニ對シ射距離三百米ニテ八十發ヲ射撃シ其平均彈著點ハ標的ノ中央ニアリトイフ然ルトキハ標的ノ黑色部ニハ何發命中ヲ豫期シ得ヘキヤ但單發射撃ニテ氣溫攝氏十五度氣壓七百六十耗トス



備考 射距離三百米ニテ單一ノ三年式機關銃ヲ以テスル單發射撃ノ半數必中界

次ノ如シ

垂直 十一糎 水平 六糎

○三、小銃各個戰鬪射撃ヲ計畫スルニ方リ主要演練事項ト之等ノ事項ヲ如何ナル程度ニ要求スヘキヤニ就テ述ヘヨ

●三、機關銃ヲ以テスル飛行機射撃ニ就テ知ル所ヲ述ヘヨ但射撃豫行演習實施ノ方法ニ就テハ記述スルニ及ハス

○四(イ) 毒瓦斯ヲ其生理的作用ニヨリ分類シ又主要ナル毒物名ノ一二ヲ擧ゲヨ

(ロ) 十一年式曲射步兵砲及十年式擲彈筒ノ最大最小射程ヲ問フ

●四(イ) 十一年式平射步兵砲射撃ニ於テ砲身後坐長過大ナルトキ及復坐量急ニ不足ヲ來ストキノ故障ノ原因如何

(ロ) 十一年式曲射步兵砲射撃ニ於テ彈藥不發火ナル時ノ處置及注意如何

### 作 業

○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

- 一、彈痕ニ射撃設備ヲ施セル一例ヲ圖示説明シ且野砲彈ノ尋常土ニ對スル毀壞半徑ヲ赤色ヲ以テ記入セヨ
- 二、廣キ射界ヲ有スル機關銃立射用掩體ノ平面圖ヲ描キ主要寸度ヲ記入セヨ
- 二、水上通過ノ設備ニ就キ知ル所ヲ述ヘヨ

### 其 他

- 一、志願兵、必任義務兵兩制度ノ利害ヲ述ヘ且我國ノ必任義務兵制度採用ノ原因ヲ簡單ニ記セ
- 二、左ノ件ヲ問フ
  - (イ) 陸軍刑法定制ノ目的
  - (ロ) 陸軍懲罰令ノ適用セラルル場合
  - (ハ) 發光通信ニ用ヒラルル器材、其信號法及各々ヲ用フル場合
- 三、左ノ事項ヲ問フ
  - (イ) 胸膜炎ノ徵候
  - (ロ) 兵卒ニ對シ行軍出發前衛生上注意スヘキ事項

### 國 語 作 文

- 一、左ノ文章ヲワカリ易ク説明セヨ
  - (イ) 日本武士道の精華は感情を發露するにあらずしてこれを壓窄するにあり
  - (ロ) 何ぞ必ず書を読みて然る後に學となさん
- 二、左ノ語句ニ讀假名ヲ附シ解釋セヨ
  - 坤德。蒙塵。盡瘁。銜枚。誘掖
- 三、左ノ文中ノ片假名ヲ漢字ニ直セ
  - (イ) 兩主義ノ「シヨウトツ」「アツレキ」
  - (ロ) 舊に「ナヅ」「ミ」「コ」に慣る
  - (ハ) 治に在りて亂を忘るるの「キキ」この際に「ハイタイ」す

### 數 學

- 1. 35 人ノ學生一緒ニ記念撮影ヲサントス初メ一組(三枚)ノ價ハ 5 圓ニシテ其ノ餘ハ一枚ニ付増燒代 40 錢宛ナリト云フ各一枚ツツ求メソニハ各々出金高何程ナルカ但錢未滿ハ切上テヨ
- 2. 次式ノ積ヲ求メヨ  $(b^2 + a^2 + 2ab)(a^2 - 2ab + b^2)$

3. 四邊形ノ各邊ノ中點ヲ順次ニ結ブトキハ平行四邊形ヲ作ルコトヲ證明セヨ

### 物理化學

(一時 間)

1. 窒素ノ所在及製法ヲ問フ

2. 特種鋼ノ名稱並用途ヲ記述セヨ

3. 變壓器ノ作用ヲ述ヘヨ

(イ) 窒素ノ所在及製法

(ロ) 特種鋼ノ名稱並用途

(ハ) 變壓器ノ作用

(ニ) 左ノ件ヲ問フ

(イ) 入校時ニ於ケル校長訓示ノ要項

(ロ) 軍隊ニ於テ起居容儀ヲ正シクセサルヘカラサル理由

(ハ) 歩兵聯隊ニ於ケル週番勤務ノ系統

(ニ) 歩哨ノ監視上ノ著眼

(イ) 雨天ノ際使用セシ編上靴ノ手入法

(ロ) 個人修理ヲ勵行セシムル理由

## 豊橋教導學校第四期第二次學生前期試験問題

(昭和六年九月)

### 服 中 務

(二時 間)

一、左ノ件ヲ問フ

(イ) 入校時ニ於ケル校長訓示ノ要項 (ロ) 軍隊ニ於テ起居容儀ヲ正シクセサルヘカラサル理由

二、歩兵聯隊ニ於ケル週番勤務ノ系統(任命系統ヲ除ク)ヲ表示シ且週番諸官ノ總括的任務ヲ説明スヘシ

三、風紀衛兵司令トシテ左ノ件ヲ説明セヨ

(イ) 非常ノ場合ニ於ケル處置 (ロ) 歩哨ノ監視上ノ著眼

四、左ノ事項ヲ述ヘヨ

(イ) 雨天ノ際使用セシ編上靴ノ手入法 (ロ) 個人修理ヲ勵行セシムル理由

### 歩兵操典及戰闘綱要

(二時 間)

一、戰闘間左ノ場合ニ於ケル兵卒ノ心得ヲ問フ

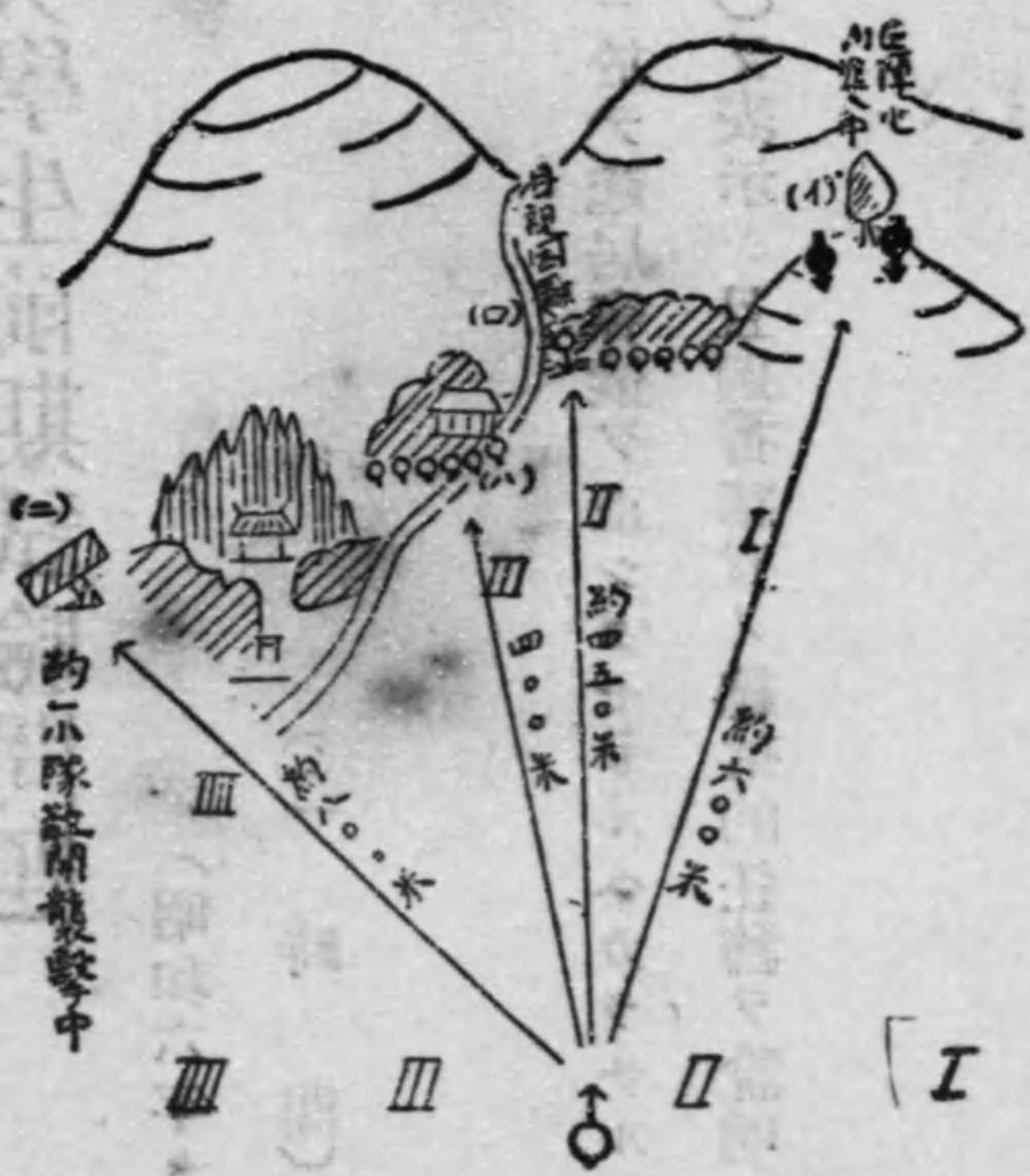
- (イ) 敵陣内ノ紛戦ニ方リ指揮及ハサル場合
- (ハ) 瓦斯攻撃ヲ受ケシ時
- (ニイ) 敵陣地ニ對スル突撃準備ニ於テ小銃分隊長ノ爲スヘキ事項ヲ舉ケ及此際ニ於ケル敵情地形ノ偵察事項ニ就テ記述セヨ
- (ロ) 負傷セル場合
- (三) 所屬部隊ヲ失ヒタル場合

- (ロ) 火線分隊長ノ獨斷突撃ヲ決行スヘキ場合ノ適例三ヲ舉ケヨ
- 三、輕機關銃分隊長トシテ戰鬥間故障ノ豫防排除ニ關シ注意スヘキ事項ヲ述ヘヨ
- 四、左圖ノ如キ目標ニ對シ射撃セントスルトキ輕機關銃分隊長ノ射撃號令ヲ問フ
- II III等相當番號ノ下ニ記入セヨ

### 陣中要務令

(二一時間)

一、左記報告文ヲ要圖ト對照シ訂正補足セヨ



### 第一斥候報告

補第一大隊長殿 九月二十九日午前八時 於 勝 山

豊教上等兵

- (イ) 敵ハ巨下ニ縱隊トナリ豊川右岸道及B村A村道ヲ南進中ナリ其右縱隊ハ約一中隊ニシテ七時四十分柳生橋西端ヲ通過セリ又左縱隊ハ同時其先頭B村前端ニ達シタルモ其兵力不明ナリ旭山ニハ七時頃歩兵一小隊到着セリ
- (ロ) 此附近ノ水田ハ部隊ノ通過容易ナリ
- (ハ) 斥候ハ尙現在地ニ於テ敵情地形ノ搜索ヲ續行シ大隊主力ノ來著ヲ待タントス

### 情況

旭山附近ノ敵情搜索ノ爲南軍大隊ヨリ派遣セラレタル第一斥候(豊教上等兵以下五名)ハ九月二十九日午前七時三十分勝山ニ達シ要圖ノ如キ情況ヲ知

豊橋 第四期 第二次 前期





リ大隊長ニ筆記報告セリ但正規ノ通信紙ハ携行シアラス

二、斥候ニ就テ左ノ件ヲ述ヘヨ

(イ) 徒歩斥候ノ他ノ斥候ヨリモ有利ナル點

(ロ) 敵地ニ於テ休憩スル場合ノ注意

(ハ) 敵意ヲ有スル地方ニ行動スル場合ノ注意

三、舍營ニ於ケル警報ノ種類ヲ擧ケ各警報ニ對スル歩兵(機關銃隊歩兵砲隊及衛兵ヲ除ク)ノ動作ヲ述

ヘヨ

四、舍營衛兵ト舍營ニ於ケル部隊衛兵トノ任務上ノ差異及其隸屬關係ヲ述ヘヨ

### 射撃教範及兵器

(一) 時間

一(イ) 平坦地ニ於テ三八式歩兵銃ヲ以テ酷熱ノ際射撃スル場合照尺度ニ應スル射距離ハ如何ニナルヤ但氣壓ハ七百六十耗ノ場合トス

(ロ) 射撃ニ方リ縦風ハ通常修正ヲ要セサル理由ヲ問フ

二(イ) 銃ヲ右ニ傾ケテ照準ナシ射撃スル時ハ彈著ハ如何ニナルヤヲ圖解セヨ

(ロ) 左ノ圖ニ於テ問フ所ヲ述ヘヨ

銃据ケル於テ射 左側面

其銃据ケル於テ射 左側面



此角度ノ開閉ハ何ヲ考慮シテ定ムルヤ(ロ)

此左手ノ位置ハ何ヲ考慮シテ定ムルヤ(イ)

三、時計ニヨル目標指示ノ一例ヲ圖示説明セヨ

四、十一年式輕機關銃規正子ノ用途及分畫ノ種類ヲ問フ

### 作業

(一) 時間

一、左記事項ヲ記セ

(イ) 散兵壕ニ據ル兵卒ノ體格ニ應スル設備

(ロ) 小銃彈、野砲彈子破片竝野砲全彈ノ尋常土ニ對スル侵徹量

二、鐵條網ノ高サニ就キ説明セヨ

### 其他

(一) 時間三十分

- 一(イ) 水平曲線ノ種類ヲ圖示説明セヨ
- (ロ) 未知ノ土地ニ於テ磁針ヲ有セサルトキ地圖ト現地トヲ對照合致セシムル方法ヲ述ヘヨ
- 二、左ノ件ヲ述ヘヨ
  - (イ) 聯隊長練兵場ニ來レルトキ部下軍隊ノ敬禮法
  - (ロ) 軍隊行進間軍旗ヲ有スル軍隊ニ行キ遭フタルトキノ敬禮法
  - (ハ) 晝間小銃、輕機關銃及機關銃ノ空包發火ヲ爲スニ方リ嚴守スヘキ距離

### 國語作文

(一時間三十分)

- 一、左ノ文章ヲワカリ易ク説明セヨ
- (イ) 己所不欲。勿施於人。 (ロ) 瓜田不納履。李下不整冠。
- 二、左ノ語句ニ讀假名ヲ附シ解釋セヨ
  - 減殺。從容自若。私淑。虚心坦懷。塗炭の苦
- 三、左ノ文中片假名ノ部分ヲ漢字ニ改メヨ
- (イ) 刀の「ツカ」を握りて「ハイゲイ」す
- (ロ) 敵港の「ヘインク」及敵前の「スイライチンチ」を試む

(ハ) 竹刀「カツカツ」と火花を散らし「シノギ」を削る

### 數學

(一時間三十分)

- 1.  $1\frac{1}{4} + 4\frac{3}{8} + 1\frac{1}{11} - \frac{15}{22} \times \frac{2}{3}$
- 2. 甲乙兩人同額ノ金ヲ出シテ土地ヲ買ヒシニ之ヲ分配スルニ當リ甲ハ乙ヨリモ300平方米多ク取リタルヲ以テ甲ハ乙ニ3000圓ヲ支拂ヘリト云フ此土地一平方米ノ價幾何ナルカ
- 3. 牛馬豚合計395頭。牛ハ馬ヨリ25頭多ク豚ハ牛ヨリ60頭少シト云フ牛馬豚各何頭カ

### 物理化學

(一時間)

- 1. 三八式歩兵銃中弾性ヲ利用セルモノヲ指摘セヨ
- 2. 慣性ノ法則ヲ述ヘ其例ヲ三ツアケヨ
- 3. 火光ヲ見テヨリ砲撃ヲ聞ク迄ニ6秒ヲ要シタリトスレハ砲迄ノ距離ハ何程カ

### 豊橋教導學校第四期第二次學生後期試験問題

(昭和七年四月)

#### 服 務

(二 時 間)

一、一等兵A日曜外出時刻ニ十分遅レ表門歩哨ノ前ニ立ツ

問 歩哨ノ處置 答

内務班長ハ心配ノ餘リ當時表門ニ來リ歩哨ノ傍ニ在リ

問 内務班長ノ處置 答

衛兵司令ハ之ヲ目撃ス

問 衛兵司令ハ如何ニスルヤ 答

問 中隊週番下士官ノ處置 答

中隊長ハ取調ノ結果經營倉二日ニ處シ週番下士官ニ其手續ヲ命ス

問 週番下士官ノ處置 答

Aハ週番下士官ヨリ風紀衛兵司令ニ引渡サル

問 風紀衛兵司令ノ處置 答

二、左ノ件ヲ説明セヨ

(イ) 軍紀ハ軍隊成立ノ大本タル所以及軍紀ト服従トノ關係

(ロ) 帝國在郷軍人會ノ目的

三、左ノ件ヲ説明セヨ

(イ) 中隊兵器掛下士官ノ兵器手入材料ノ受領及支給ノ要領

(ロ) 日報ノ目的

(ハ) 衛戍勤務ニ服スル者カ兵器ヲ使用シ得ル場合

四、左ノ件ヲ説明セヨ

(イ) 溫食給養ヲナス爲ニ内務班長トシテ執ルヘキ手段方法

(ロ) 被服愛護心向上ノ爲號文數ノ適合カ必要ナル理由

#### 歩兵操典及戰鬪綱

(二 時 間)

一、獨斷專行ノ意義ヲ述ヘ且攻撃戰鬪間分隊長ノ獨斷專行スヘキ場合ノ一例ヲ圖示セヨ

二、左記各項ニ就キ小銃及輕機兩種分隊ヲ比較シテ差異アル點ヲ述ヘヨ

(イ) 敵火ノ下ニ於ケル前進法 (ロ) 射撃目標ノ選定

三、晝間夜間ノ攻防ニ於ケル中隊豫備隊ノ用途ヲ述ヘヨ

四、夜間攻撃ニ於ケル中隊ノ接敵及攻撃隊形選定ノ要旨ヲ述ヘ且攻撃隊形ノ一例ヲ圖示セヨ

### 陣中要務令

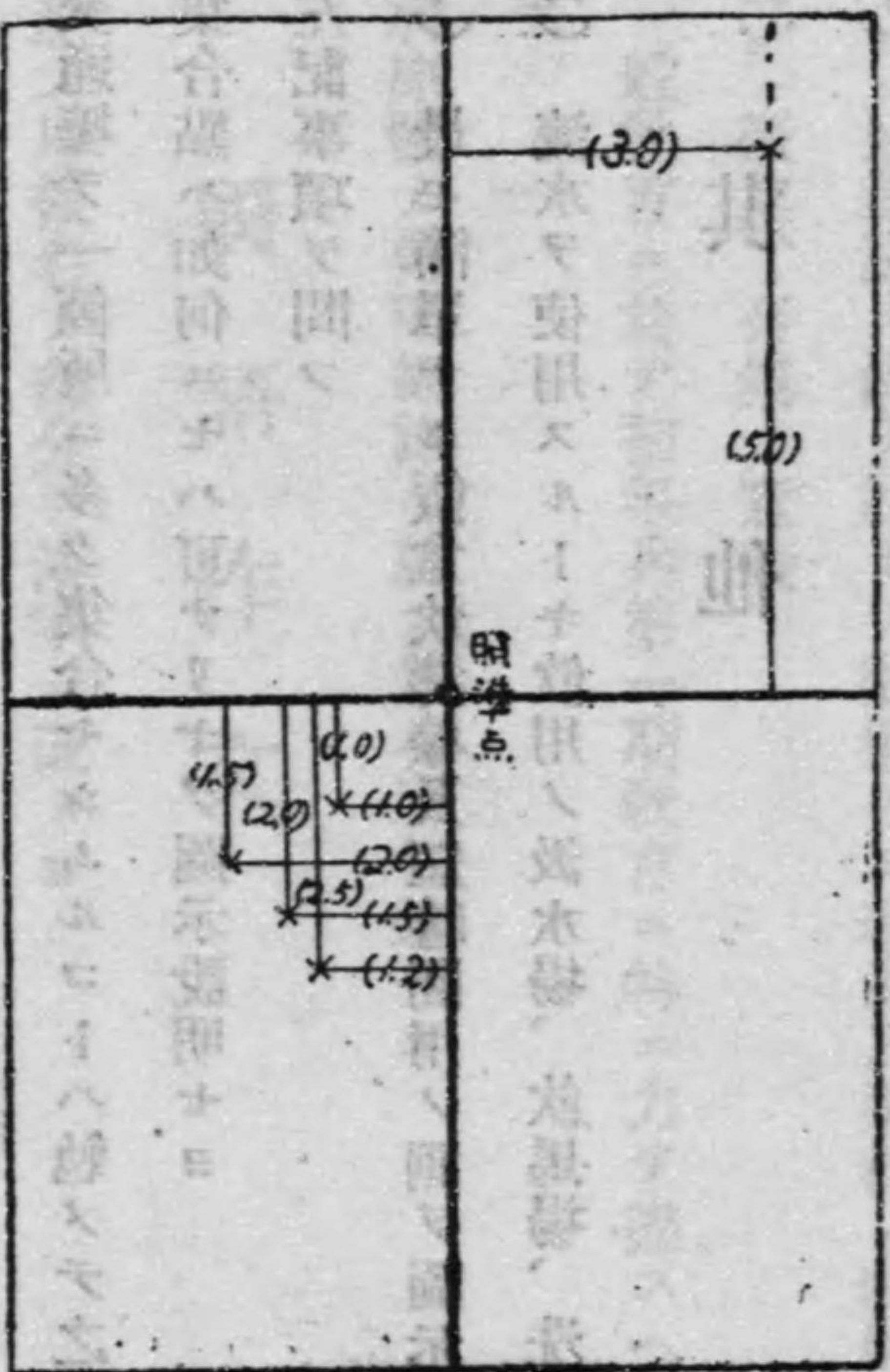
(二時 間)

- 一、搜索及警戒ノ目的ヲ述ヘ且搜索ト警戒トノ關係ヲ例ヲ舉ケテ説明セヨ
- 二、軍機保護及宣傳ニ關シ左ノ件ヲ述ヘヨ
  - (イ) 戦地ヨリノ通信文ニ記載ヲ避クヘキ事項
  - (ロ) 内地ヨリノ通信ニ對スル幹部ノ注意
  - (ハ) 敵地ニ於ケル一般住民ニ對スル注意
- 三、側敵行ニ於ケル側衛行動ノ準據ヲ述ヘ且駐止シテ主力ノ通過ヲ掩護スル場合ヲ圖示説明セヨ
- 四、前哨本隊前哨中隊小哨及潜伏斥候駐止斥候ノ關係位置ヲ圖示シ且各其任務ヲ説明セヨ

### 射撃教範及兵器

(二時 間)

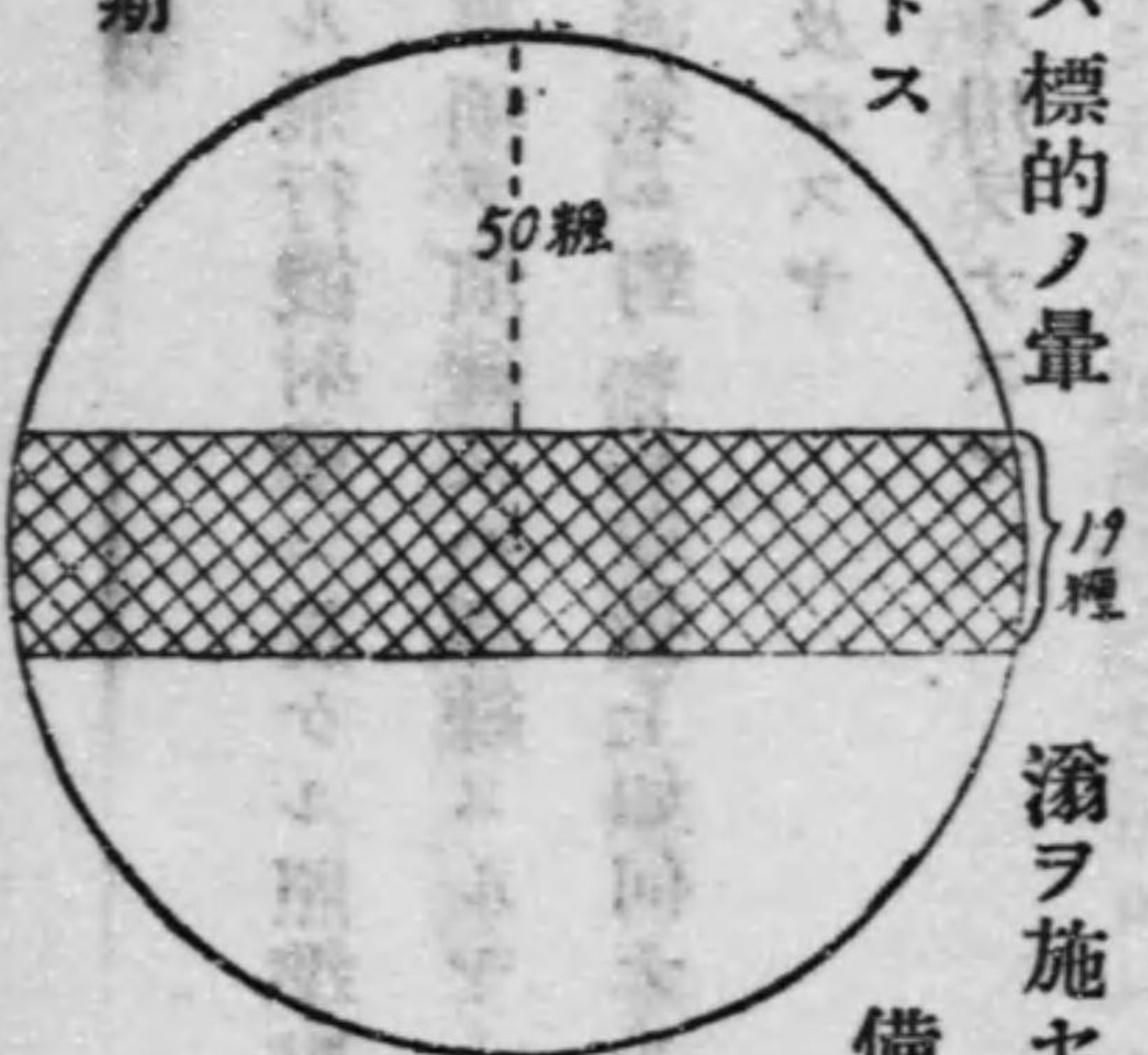
- 一、左圖彈著點ニヨル平均彈著點ヲ求メヨ  
但發射彈ハ五發トス
- 二、圖上×ハ彈著點、單位ハ種トス



平均彈著點 (照準點ヨリ)			
右	左	下	上

答 解

- 二、單一ノ三八式歩兵銃ヲ以テ左圖ノ如キ垂直標的ニ對シ射距離三百米ニテ九十發ヲ射撃シ其平均彈著點ハ標的ノ中央ニアリ然ル時ハ標的ノ暈氣溫攝氏十五度氣壓七百六十耗トス



射距離三百米ニテ單一ノ三八式歩兵銃ヲ以テスル射撃ノ半數必中界次ノ如シ  
備 考  
垂直 一九糎 水平 一八糎

- 三(イ) 小銃及輕機關銃ヲ以テスル飛行機射撃ニ於ケル照準點ヲ問フ
- (ロ) 分隊戰鬪射撃ハ如何ナル事項ヲ演練又ハ訓練スルヤ
- 四(イ) 八七式防毒面ノ吸收罐ハ濕氣ニ對シ其取扱上如何ナル注意ヲ要スルヤ又吸收罐内ニ水浸入スル時ハ吸收劑ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤ
- (ロ) 小銃彈丸ノ被甲ハ如何ナル用ヲナスヤ

### 作 業

(一 時 間)

一、交通壕ヲ一箇所ニ多ク集合セシムルコトハ勉メテ之ヲ避クヘシト云フ其理由及己ムヲ得サル場合其集合點ハ如何ニセハ可ナリヤヲ圖示説明セヨ

二、左記事項ヲ問フ

- (イ) 最モ簡單ナル飯盒炊爨壕及短時間用ノ廁ヲ圖示シ其幅員記入
- (ロ) 流水ヲ使用スルトキ飲用ノ汲水場、飲馬場、洗濯場ハ何レノ位置ニ設クルヲ適當トスルヤ

### 其 他

(一 時 間 三 十 分)

一、左記事項ヲ問フ

- (イ) 抽籤法ニ依リ壯丁ヲ徵集スル理由及服役ノ特例ニ就キ知得セル事項
- (ロ) 徵集、召集ノ意義
- 二、一般教育ニ於テ初年兵第一期教育ニ特ニ力ヲ盡スヘキ理由及第二年兵ニ對スル本期教育ノ重點ヲ問フ
- 三、病原體ノ傳染經路ニ就テ知ル所ヲ述ヘヨ

### 國 語 作 文

(一 時 三 十 分)

- 一、左ノ片假名ノ部分ヲ漢字ニ改メヨ
  - (イ) 熱心に指導イウエキセリ
  - (ロ) 金ノウムケツの國體
  - (ハ) ギセイ的精神
  - (ニ) 急阪をヨぢ氣息喘々熱汗シボるが如き時に方りロバウの樹蔭に清泉をキクしてイコヘ
  - (ホ) 良將のチウボウ宜しきを得たり
- 二、左ノ語句ヲ解釋セヨ
  - (イ) 心膽寒し
  - (ロ) 俯仰天地に愧ぢず
  - (ハ) 日を同じうして語らず
  - (ニ) 懦夫をして立たしむ
  - (ホ) 適材を適所に置く
- 三、左ノ文章ヲ單簡ニ説明セヨ

浮世の塵を遠く離れし此生活の楽しさは木にも舌を見流るる小川を書籍とし石にも法の教ありて物とてよからぬはなむ

### 數 學

(一時三十分)

1. 行軍長徑 100 米ノ中隊カ毎分 85.5 米ノ速度ニテ進行ナル時ハ長サ 242 米ノ鐵橋ヲ幾分ニテ通過シ終ルカ
2. 或書物アリ毎日 25 頁宛讀メハ豫定ノ日ヨリモ 1 日多クカカリ若シ又 30 頁宛讀メハ豫定ノ日ヨリモ 2 日早ク讀ミ終ルト云フ豫定ノ日數及書物ノ頁數何程ナルカ (算術, 代數何レニテ解クモ可)
3. (イ) 次ノ方程式ヲ解ケ  $3(x+5)-10=25-2x$   
(ロ) 四角形ノ相對スルニ角カ各直角ナルトキハ他ノニ角ハ五ニ補角ヲナスコトヲ證明セヨ

### 物 理 化 學

(一 時 間)

1. 左ノ物ノ軍事上ノ用途ヲ記セ (イ) 水素 (ロ) 黃磷 (ハ) 硬鉛
2. 硫黃ノ性質及用途ヲ問フ
3. 毒瓦斯ハ其ノ作用ニヨリ如何ニ分類セララルカ

## 豊橋第五期第一次學生前期試驗問題

(昭和七年四月)

### 服 務

(二 時 間)

- 一、左ノ諸問ニ答ヘヨ
  - (イ) 中隊某工務兵(元ノ工卒ノコト)休暇ニテ歸省セル場合週番下士官ノ處置
  - (ロ) 週番下士官衛兵検査ノ要領
- 二、内務班長トシテ左ノ件ヲ説明セヨ
  - (イ) 班員ニ命令ヲ確實ニ服行セシムル爲メノ指導法
  - (ロ) 初年兵入營後最初ノ内務検査ニ於テ初年兵ニ説明スヘキ検査ノ主眼及之ニ對スル心得
- 三、左ノ件ヲ説明セヨ
  - (イ) 營内居住下士官ノ外出ニ關スル規定
  - (ロ) 風紀衛兵司令服就中入倉者ニ其所屬内務班長面會ニ來リシ場合司令ノ處置
  - (ハ) 風紀衛兵司令服務中營内居住下士官ニシテ定時限外ニ入門セルモノアリ之ニ對スル處置

四(イ) 左記事項ヲ問フ

- 1 軍衣及夏衣ヲ洗濯スルトキノ注意
- 2 編上靴ニ保革油ヲ過多ニ塗リタルトキノ害
- (ロ) 辱職ノ罪及違令ノ罪ニ該當スル犯行各々一ヲ舉ケヨ

歩兵操典、戦闘綱要 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊 (二) 時間

- 一、地形地物ヲ利用スル膝肘ノ應用姿勢ノ種類ヲ述ヘ且之ヲ應用スヘキ場合ノ各一例ヲ附記セヨ
- 一、機關銃陣地選定ノ要旨及銃位置選定上ノ著眼ヲ述ヘヨ
- 二、戦闘間輕機關銃分隊カ小銃ヲ使用スル場合ヲ列舉セヨ
- 二、機關銃射撃ニ於テ目標指示ヲ的確簡明ニシテ且速ニ之ヲ了解セシムヘキ方法ヲ列舉セヨ
- 三、左記事項ヲ問フ
  - (イ) 攻撃ニ於テ火戰ニアル分隊ノ射撃開始時機
  - (ロ) 敵火ノ下ニアル火戰分隊ノ前進時機
  - 三、平射歩兵砲分隊長トシテ戦闘加入ニ方リ豫メ進出スヘキ地域ニ在ル關係部隊トノ連絡協定スヘキ事項ヲ述ヘヨ

- 四、防禦ノ際小隊長カ各分隊ニ射撃區域ヲ指示スルニ方リ注意スヘキ事項ヲ述ヘヨ
- 四、戦闘間ニ於ケル曲射歩兵砲分隊長ノ責務ヲ述ヘヨ

陣中要務令 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊 (二) 時間

- 一、報告文ヲ記スルニ方リ左ノ記述法ヲ述ヘヨ
  - (イ) 著名ナラサル地名 (ロ) 漢字ヲ用フル外國ノ地名 (ハ) 道路
  - (ニ) 地區 (ホ) 標高點
- 二、歩兵對空射撃部隊ノ兵力動作竝注意ヲ述ヘヨ
- 三、徒歩斥候及歩兵ノ小部隊ヲ以テスル搜索ノ價值ヲ述ヘ且斥候ノ搜索手段ヲ説明セヨ
- 三、五寒時ノ行軍ニ於ケル凍傷ノ豫防法ヲ述ヘヨ
- 四、下士哨及復哨ヲ配置スヘキ位置竝其設備ニ就キ説明セヨ
- 四、舍營地ノ警備ニ關シ左ノ件ヲ述ヘヨ
  - (イ) 銃(砲)廠ノ監視法
  - (ロ) 非常警報ノ際ニ於ケル機關銃中隊及歩兵砲隊下士官及兵ノ動作

### 射撃教範兵器 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(二時間)

○一(イ) 輕機關銃射撃ニ於ケル分隊長ノ射手ニ照準點ノ修正ノ命シ方ヲ述ヘヨ

(ロ) 小銃及輕機關銃射撃ニ於テ彈著ノ景況ハ如何ナル場合ニ於テ良好ナリトイフヤ

●一、機關銃射撃ニ於テ彈著ノ遠近修正ノ要領ヲ説明セヨ

○二(イ) 射撃豫行演習ニ於テ「豫言」ハ何故必要ナルヤ

(ロ) 射撃教育上狹窄射撃ノ有利ナル理由ヲ説明セヨ

(ハ) 輕機關銃射撃ニ於ケル故障「突込」ノ主ナル原因ヲ列舉セヨ

●二、平射及曲射歩兵砲ノ基本教育ニ於テ射撃技能練磨上特ニ意ヲ用ヒ教育スヘキ事項ヲ問フ

○三、左記狀況ニ於テ敵陣地ノ幅ハ何米ナルヤ

狀 況

某伍長ハ斥候長トナリ敵陣地偵察ノ爲派遣セラレ薄暮敵陣地ノ中央前ニ達シ左ノ件ヲ知ル

(イ) 敵陣地中央ヨリ射撃セル火光ヲ見テ一秒半後ニ音響ヲ聞ケリ

(ロ) 敵陣地ノ幅ハ百八十密アリ

●三、左記事項ヲ問フ

(イ) 機關銃射撃ニ於ケル霰射ノ角度、及霰射速度

(ロ) 機關銃及平射歩兵砲ノ彈著ヲ觀測シ得ル距離

○四(イ) 小銃ニテ射撃シ引鐵ヲ引キアル場合積桿ノ起キサルハ何故ナリヤ

(ロ) 輕機關銃射撃ノ擊發直後活塞ト遊底トカ同時ニ後退セサルハ如何ナル機能ニヨルヤ

●四、左記事項ヲ問フ

(イ) 三年式機關銃ニ於テ碍子ハ如何ナル作用ヲナスカ

(ロ) 十一年式平射歩兵砲閉鎖機ノ自動開栓作用

### 作 業 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(一時間)

○一、散兵壕ヲ構築スル場合ニ於ケル一齊作業法ヲ述ヘヨ

●一、機關銃膝射用掩體ノ斷面圖(平面圖不要)ヲ描キ之レニ主要部ノ寸度ヲ記入シ且前脚部ノ位置設  
備ニ就キ注意スヘキ件ヲ附記セヨ

○●二、左記事項ヲ説明セヨ

(イ) 偽工事ノ目的及構設ニ當リ注意スヘキ事項

(ロ) 鐵條網ノ偽裝要領



其他

(一時間三十分)

- 一(イ) 水平曲線ノ種類ヲ圖示セヨ
- (ロ) 寫景圖描畫ニ方リ測手ノ位置選定上ノ注意ヲ述ヘヨ
- 二(イ) 體操實施ニ方リ外傷豫防上ノ注意スヘキ諸件ヲ述ヘヨ
- (ロ) 劍術ノ目的及其效果ヲ述ヘヨ
- 三(イ) 皮膚ノ作用ニ就テ述ヘヨ
- (ロ) 左ノ事項ヲ述ヘヨ
  - 1 歩兵一人ノ必要水量
  - 2 歩兵一人一日ノ必要水量

國語作文

(一時間三十分)

- 一、左ノ片假名ノ部分ヲ漢字ニ改メヨ
- (イ) 敵軍キヨウクラウバイして逃ぐ
- (ロ) 自己の誠實をヒレキス
- (ハ) 作戰キカン無くシンチヨクす
- 二、左ノ語句ヲ解釋セヨ

- (イ) 琴線に觸る
  - (ロ) 物のあはれを知る
  - (ハ) 上の好む所下これが風をなす
  - (ニ) 戦況伏奏の寵遇を荷ふ
  - (ホ) 大森の下に凱旋す
  - 三、左ノ文章ヲ單簡ニ説明セヨ
- 一生の經營事業永く後世を徳し其の流風遺韻遠く子孫を動かす

數學

(一時間三十分)

- (1) 彈丸若干發ヲ甲、乙、丙、ノ三組ニ分ツニ甲組ニハ全體ノ $\frac{2}{5}$ ヲ與ヘ乙組ニハ其殘リノ $\frac{3}{5}$ ヲ與ヘタルニ丙組ノ取前ハ600發ナリト云フ全體ノ彈丸數ヲ求メヨ
- (2) 兵士24人カ15日間ニ或作業ノ $\frac{3}{4}$ ヲ仕上ケタリ今此ノ剩ニテ殘業ヲ前ト同シ日數ニテ仕上ケンニハ兵士幾人ヲ増スヘキカ
- (3) 直角三角形ノ斜邊カ29糧、他ノ一邊カ21糧ナルトキ其面積ハ何程ナルカ (算術、代數何レニヨルモ可ナリ)

物理化學

(一時間)

- (1) 乘馬ニテ疾走中急ニ停止スレハ前方ニ落馬セントスル理由如何

- (2) 橋上ヨリ石ヲ落セシニ三秒ニシテ水面ニ達スルヲ見タリ橋ヨリ水面マテノ距離概略何程ナルカ
- (3) 極寒ノ地ニ於テナルヘク水筒ノ水ヲ凍ラサル様ニスルニハ如何ニスレハ可ナルカ、併セテ其理由ヲ説明セヨ

(1) 橋上ヨリ石ヲ落セシニ三秒ニシテ水面ニ達スルヲ見タリ橋ヨリ水面マテノ距離概略何程ナルカ

(2) 極寒ノ地ニ於テナルヘク水筒ノ水ヲ凍ラサル様ニスルニハ如何ニスレハ可ナルカ、併セテ其理由ヲ説明セヨ

(十時三十分)

一、左ノ件ヲ問フ

(イ) 軍隊ニ於ケル命令傳達ノ本旨

(ロ) 聯、大、中隊ニ於ケル命令傳達ノ責任者

(ハ) 中隊内ニ於ケル命令傳達ノ方法

(ニ) 當日不在ナル兵ニ對シテハ如何ニシテ傳達スルヤ

二、左ノ件ヲ問フ

1 曹長不在中週番下士官トシテ料金追徴ヲ要スル電報ヲ受ケタル場合ノ處置

2 臨時點呼ノ際左記箇所ハ誰カ立會點呼スルヤ

(一) 中隊

(二) 將校集會所

### 豊橋第五期學生第一次後期試験問題 (昭和七年九月)

#### 服 務

(二 時 間)

- 一、左ノ件ヲ問フ
- (イ) 軍隊ニ於ケル命令傳達ノ本旨
- (ロ) 聯、大、中隊ニ於ケル命令傳達ノ責任者
- (ハ) 中隊内ニ於ケル命令傳達ノ方法
- (ニ) 當日不在ナル兵ニ對シテハ如何ニシテ傳達スルヤ
- 二、左ノ件ヲ問フ
- 1 曹長不在中週番下士官トシテ料金追徴ヲ要スル電報ヲ受ケタル場合ノ處置
- 2 臨時點呼ノ際左記箇所ハ誰カ立會點呼スルヤ
- (一) 中隊
- (二) 將校集會所
- 三、學校卒業歸隊後左記狀況ノ下ニ風紀衛兵トシテ服務スルモノト想定シ別紙報告用紙(用紙ノ様式ハ軍隊内務書附表ニ在ルヲ以テ略ス)ニ衛兵司令トシテ所要ノ記入ヲセヨ
- 1 風紀衛兵ノ編成左ノ如シ

司令伍 長高師 廣 軍旗歩哨 表門歩哨 彈藥庫歩哨  
 衛舎掛 上等兵 伊良湖進 一等兵 高山 登 一等兵 吉田 城 一等兵 長篠 碧  
 歩哨掛 上等兵 福岡 武 一等兵 豊川 流 一等兵 高山 近 一等兵 本地 曉  
 歩哨掛 上等兵 岩屋 高 一等兵 石巻 緑 一等兵 渥美 遠 一等兵 千種 巖  
 喇叭手 一等兵 吹時 正

- 2 服務ハ昭和七年十二月十二日午後四時ヨリ翌十三日午前五時迄トシ歩哨ノ交代ハ一時間毎トス
- 3 衛兵服務間ノ巡察ハ五回ト假想シ其時刻巡察長人員等ハ適宜決定スヘシ
- 4 服務中ノ出来事左ノ如シ
  - (イ) 午後四時四十分二等主計二川涉金櫃ヲ開閉ス
  - (ロ) 右ト同時聯隊長小池二郎衛兵所ニ立寄ラル
  - (ハ) 第二中隊ハ午後十一時三十分迄 第九中隊ハ午後十時迄延燈スル旨通報ヲ受ク
  - (ニ) 午後五時十分週番副官第三中隊特務曹長老津三郎、午後十時四十分週番士官第四中隊鳥井強、午前二時週番司令第一中隊長長久手勝巡視ス
  - (ホ) 午後十一時三十分所屬中隊曹長佐藤元教育ノ爲巡視ス
  - (ヘ) 午後十時表門歩哨渥美遠發熱ノ爲一等兵空池守ト交代ス

(ト) 午後十時十五分第十中隊二等兵野依重營倉三日ニ處セラレ入倉ス依テ新ニ營倉歩哨トシテ直ニ左記ノ者ヲ増加セラル

- 一等兵 大崎 游 一等兵 田原 宏 一等兵 牟呂 保
- (チ) 午後十一時三十分第五中隊夜間演習終了中隊長引率ノ許ニ歸營セリ
- (リ) 午後十一時四十分第七中隊軍曹天泊尙休暇歸省中ノ處歸營ス又午後十一時五十分第六中隊一等兵三河盛臨時外出ノ爲出門ス

(又) 午前二時兵營附近民家ヨリ出火シ彈藥庫ハ目塗土ヲ使用ス  
 午前三時鎮火セリ  
 同時消防隊ハ赴援ノ爲出動セリ

(ル) 巡察中第十一中隊ノ火鉢ハ現物ト員數ト一致セス又第五中隊洗面場ノ水栓ハ放水ノマ、放置シアリタリ

注 意

- 一、學校及聯(大)隊ノ内務規定ハ顧慮スルニ及ハス
- 二、記載ニ方リテハ衛戍勤務令及軍隊内務書ノ規定ニ依リ處理スヘシ
- 四、委任經理ハ如何ナル經理方法ナルヤ其要旨及利益ヲ述ヘ一例ヲ舉ケテ説明セヨ

歩兵操典、戦闘綱要 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊 (二時間)

- 一、地形地物ヲ利用スル小銃射撃ニ於テ兵ノ陥リ易キ過失ヲ例ヲ擧ケテ説明セヨ
- 一、地形地物ヲ利用シ機關銃及歩兵砲ヲ据ウルニ方リ銃(砲)ノ位置決定上主要ナル著眼事項ノミヲ列擧セヨ

○二、戦闘間輕機關銃ニ故障ヲ生シタル場合竝之ヲ破壊セラレタル場合ニ於ケル該分隊長ノ動作ヲ述ヘヨ

●二、防禦ニ於テ獨立シテ使用セラレタル機關銃分隊長ノ爲スヘキ處置ヲ概ネ其實施ノ順序ニ從ヒ簡單ニ記述セヨ

○三、第一線小隊長トシテ突撃準備ノ爲實施スヘキ事項ヲ述ヘヨ

●三、戰車ニ對スル平射歩兵砲射撃ノ要領ヲ説明セヨ

○四、障碍物ヲ有セサル敵陣地ニ對スル中隊ノ夜間突撃實施要領ヲ述ヘヨ

●四、曲射歩兵砲射撃ニ於テ偏流ノ修正法及其修正量指示ノ要領ヲ問フ

陣中要務令 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊 (二時間)

○一、舍營間ニ於ケル警報ノ種類ヲ擧ケ且此等警報ニ對スル歩兵(MGi 及特別勤務者ヲ除ク)ノ動作ヲ述ヘヨ

●一、電話視號及口頭ニ依ル命令通報報告傳達上ノ注意ヲ述ヘヨ

○二、駐軍間ニ於ケル對空監視哨ト前哨ニ於ケル下士哨トノ異ル點ヲ説明セヨ

●二、鐵道輸送馬匹搭載ニ方リ左ノ件ヲ述ヘヨ

- 1 馬匹搭載前ノ處置
- 2 馬匹牽入方
- 3 搭載後ノ馬匹ノ處置

○三、亟寒ノ際ニ於ケル徒歩部隊幹部トシテ行軍實施上ノ注意ヲ述ヘヨ

●三、亟寒時ニ於ケル機關銃隊歩兵砲隊幹部トシテ行軍實施上ノ注意ヲ述ヘヨ

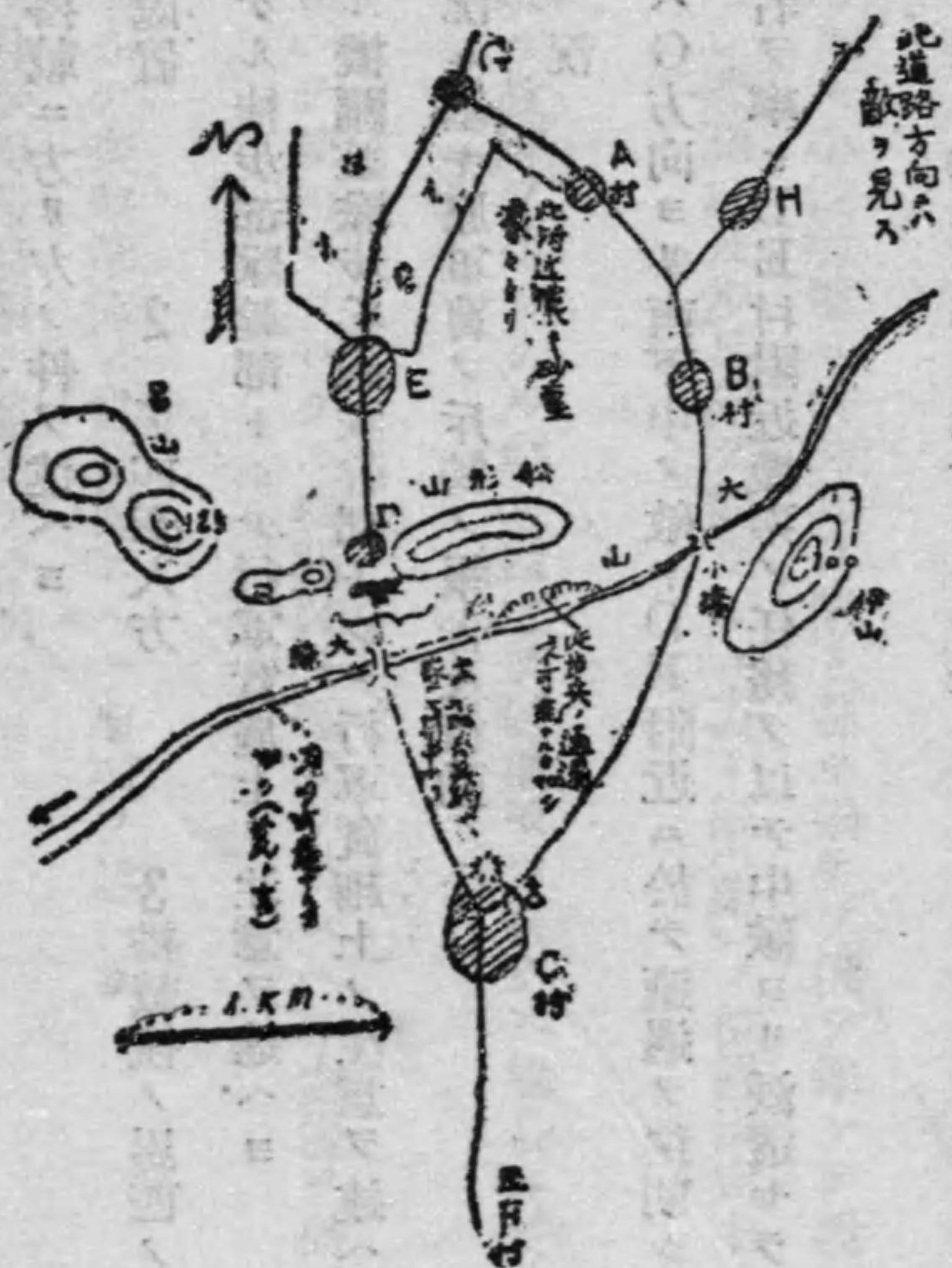
○四、左記要圖ノ狀況ニ基キ原軍曹ノ斥候ノ報告及行動

狀況

- 一、南軍尖兵中隊ハG方向ヨリ南下中ノ敵トDE附近ニ於テ遭遇ヲ豫期シテ前進中ナリ
- 二、原軍曹ハ兵六名ヲ率ヒDE村附近搜索ノ任務ヲ以テ中隊ヨリ派遣セラレ午前九時C村北端ニ達ス
- 三、斥候長ハ要圖ノ如キ狀況ヲ知り報告スルニ決ス

時ニ午前九時五分ナリ

注意 報告文ハ文章ヲ以テ答解紙(通信紙ヲ有セサルモノトシテ)ニ記入セヨ



●四、機關銃歩兵砲彈藥補充系統ヲ圖示セヨ

射撃教範兵器

○ハ一般中隊

●ハ機關銃隊

(二 時間)

○一 射撃術教育ノ要諦ヲ述ヘヨ

2 危険界、遮蔽界ノ意義ヲ問フ

●一、機關銃隊及歩兵砲ノ射撃ニ方リ定偏修正ノ要否及之カ修正法ニ就キ説明セヨ

○二一 飛行機ノ目視ノ景況ニ依ル距離ノ判定標準ヲ述ヘヨ

2 輕機關銃ヲ以テ飛行機ヲ射撃スル場合ニ於ケル採用照尺、照準點、照準法及射法ヲ述ヘヨ

●二、飛行機射撃ニ關シ左ノ件ヲ問フ

1 飛行機ノ目視ノ景況ニ依ル距離ノ判定

2 機關銃ヲ以テ飛行機射撃ノ爲照尺、照準點ノ選定及射撃ノ方法

○三、輕機關銃射撃ニ於テ姿勢及動作上左記缺點ヲ有スルモノニ付五發點射、彈著ノ景況ヲ圖示セヨ

(イ) 射撃姿勢ニ於テ角度深キモノ

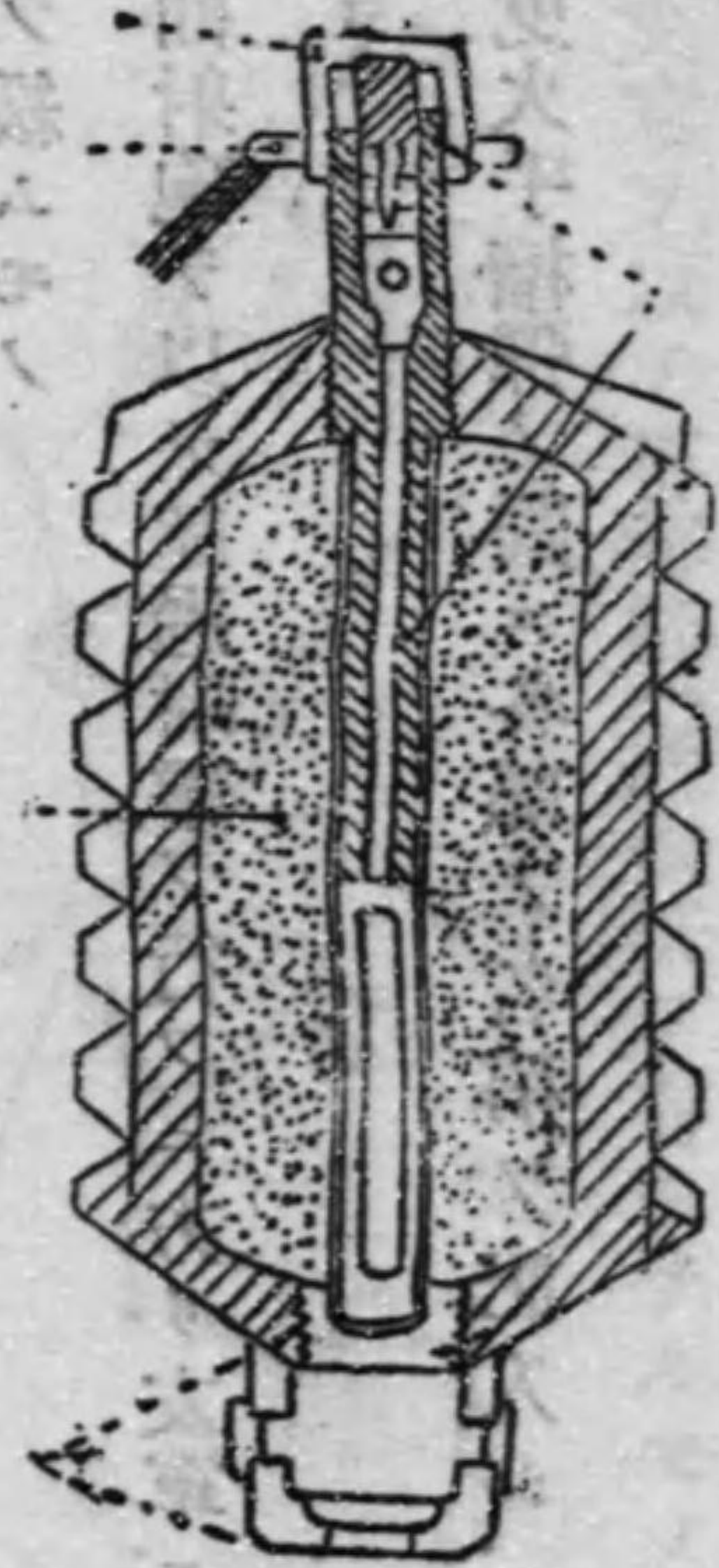
(ロ) 射撃中肩突ヲナスモノ

(ハ) 射撃中据銃ノ緩ムモノ

●三、平射歩兵砲及曲射砲ヲ以テ超過射撃ヲ行フニ方リ友軍ニ危害ヲ及ホササル爲ノ限界ヲ圖示シ所要ノ説明ヲ附記セヨ

○四、左記十一年式曳火手榴彈ノ圖ニ各部ノ名稱ヲ記入シ、且擲彈筒射撃ニ依ル爆發作用ヲ説明セヨ

ヨ



●四、機關銃ノ故障ニ於テ遊底後退不能ノ主ナル原因及之カ排除ノ爲分隊長ノ動作ヲ問フ

作 業 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊 (一時間)

○一、左記事項ヲ問フ

- 一、輕機關銃銃座ノ半徑及脚桿ノ位置設備
- 二、側防ニ任スル輕機關銃ノ位置竝設備ニツキ著意スヘキ事項
- 一、重要ナル掩蓋銃座ヲ構築スルニ當リ注意スヘキ事項ヲ述ヘヨ
- 二、夜間敵ニ近迫シテ作業シアル場合敵ノ照明、射撃竝敵襲ヲ受ケタル場合ノ動作ヲ述ヘヨ
- 二、展望孔、銃眼、潛望鏡ノ掩蔽、假裝ノ要領及之等ニ使用スル天然物料ニ對スル注意事項ヲ問フ

其 他

(一時間三十分)

一、充員召集ト演習召集トニツキ知ル所ヲ述ヘヨ

二、左記事項ヲ問フ

- 1 軍隊教育ノ目的及主眼
  - 二 紛戦ノ審判ニ於テ一般ニ如何ナルモノヲ勝者トシ如何ナルモノヲ敗者トスヘキヤ
  - 3 對空通信ニ於テ布板又ハ標示幕ヲ布置スル場合ノ注意事項
- 三、左記事項ヲ問フ
- 1 肺結核患者ノ初期症狀
  - 2 喝病患者ノ救急處置

(一時間三十分)

國 語 作 文

下 左ノ語句ヲ解釋セヨ

- 三 1 舊ニ泥ミ故ニ慣ルルコト莫シ
- 2 日ヲ同ジクシテ語ルベカラズ
- 3 謗難の唇を翻すべきにあらず
- 二 下 左ノ熟語ニ讀假名ヲ附シ且ツ解釋セヨ

一七

- 1 銜枚
  - 2 逡巡
  - 3 地祇
  - 4 懿德
  - 5 清濁
  - 6 翻弄
  - 7 零碎
  - 8 翻絆
  - 9 左袒
  - 10 蘇生
- 三、左ノ文中片假名ノ部分ヲ漢字ニ直セ
- 1 我國ミゾウノヘンカクヲ爲サントシ朕躬ヲ以テ衆ニ先ンシ天地神明ニ誓ヒ大ニ斯コクゼヲ定メ萬民保全ノ道ヲ立テントス衆亦此シシユニ基キケフシンドリヨクセヨ
  - 2 是れヒツキヤウ少佐殿のキンゲン己れを持しオンコウ人に交りセキセイ人に接しセイレン潔白にして古武將の風ありし結果なり

數 學

(一時間三十分)

- (1) 四邊形ノ各邊ノ中點ヲ順次ニ結フ直線ハ平行四邊形ヲ作ル、而シテ其周ハ原四邊形ノ對角線ノ和ニ等シキコトヲ證明セヨ
- (2) 歩兵ノ一隊甲地ヨリ乙地ニ行クニ速歩ニテハ1時間42分ヲ要セリ、然ラハ此行程ヲ駈歩ニテ進ミ途中15分間休マハ前者ニ比シ幾分早キカ、又遅キカ
- (3) 底邊34纏高サ25纏ノ三角形ト底邊35纏高サ12纏ノ平行四邊形ト比較シ其面積何レカ何程大ナルカ

物 理 化 學

(一 時 間)

- (1) 坑道爆破作業直後坑道内ニ入 場合ニハ如何ナル注意ヲ要スルカ
- (2) ベグネシウムノ性質及軍事上ノ用途ヲ問フ
- (3) 黃燐ノ性質及軍事上ノ用途ヲ記セ

豊橋第五期第一次後期

### 豊橋第五期學生第二次前期試験問題 (昭和七年九月)

#### 服 務

(二 時 間)

- 一、風紀衛兵司令トシテ左ノ件ニ對スル處置ヲ問フ
  - 1 兵ニ面會ヲ求ムルモノアルトキ
  - 2 遅刻シテ歸營シタルモノアルトキ
  - 3 地方官公吏ニシテ兵慰問ノ爲來營シタルトキ
  - 4 衛兵中診斷ヲ願出ルトキ
- 二、週番下士官トシテ左ノ場合ノ處置ヲ問フ
  - 1 諸官退營後將校當番外出セントスルトキ
  - 2 營倉入ノモノアルトキ
  - 3 兵ニ面會人アルトキ
- 三、十一年式輕機關銃ノ射撃前後ノ手入ヲ問フ
- 四、左記事項ヲ記セ
  - 1 被服品洗濯ノ爲石鹼使用上及使用後ノ注意
  - 2 日常使用スル編上靴ノ手入及皮革油、塗油要領

#### 歩兵操典、戰鬪綱要

(二 時 間)

- 一、地形地物ヲ利用スル射撃ニ於テ輕機關銃ヲ据ウル爲ノ著眼ヲ述ヘヨ
- 二、火線ニ在ル分隊長トシテ散兵誘導ノ爲左ノ件ヲ問フ
  - 一、歩度選擇ノ要旨
  - 二、躍進距離決定ノ要旨
  - 三、火線ニ在ル小銃分隊ノ前進時機ノ選定及此際著意スヘキ事項ヲ述ヘヨ
  - 四、輕機關銃分隊ノ各種射法ヲ擧ケ之ヲ用フヘキ場合ノ各一例ヲ圖示シ各々其號令ヲ記セ

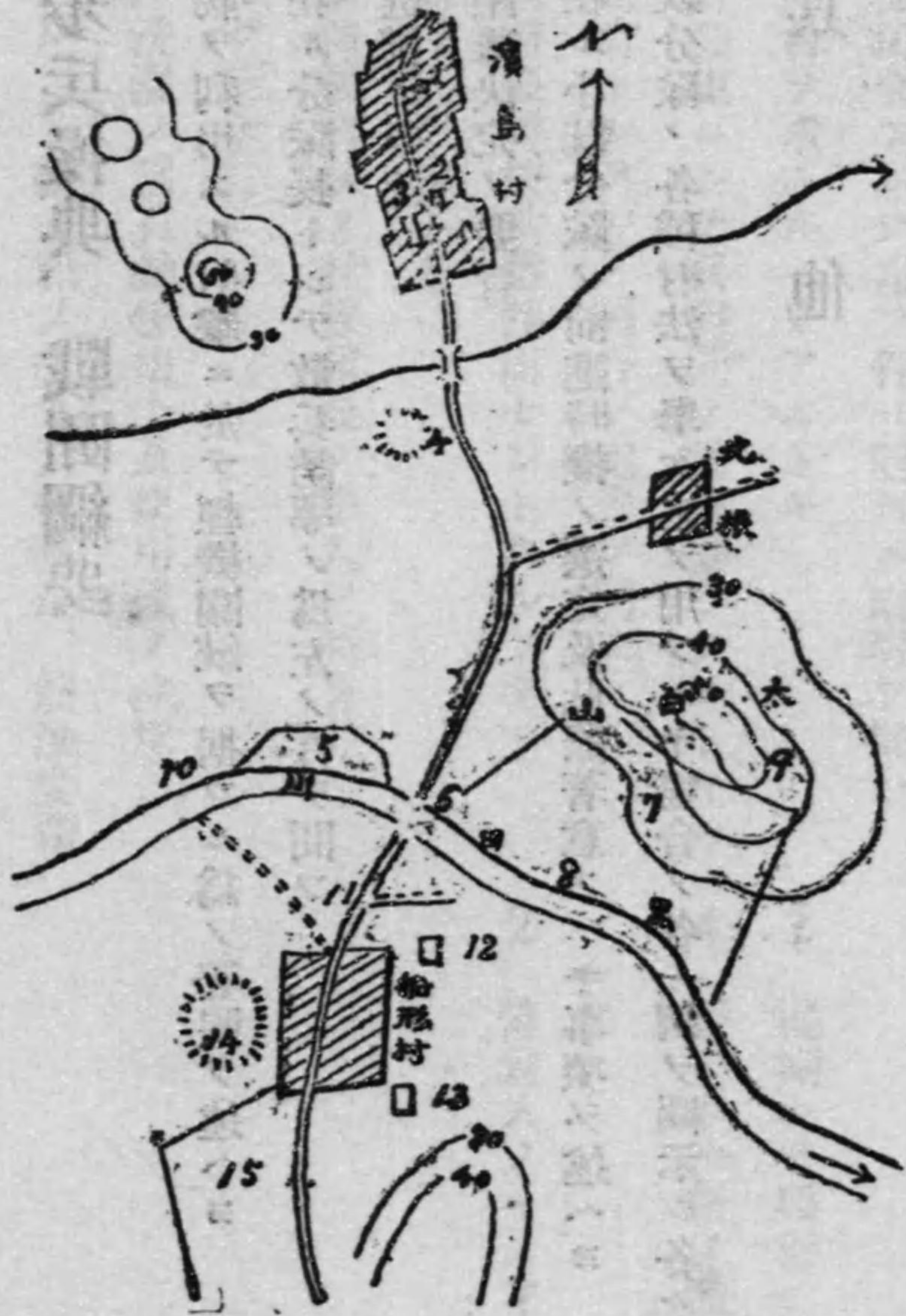
#### 其 他

(一 時 間 三 十 分)

- 一、體操ヲ實施スルニ方リ運動配合ノ要領ヲ述ヘヨ
  - 2 劍術ノ目的及必勝ノ要訣ヲ述ヘヨ
- 二、練兵場ニ於テ教練中飛行機練兵場ノ上空ニ飛來シ不時著陸セントスルノ状態ヲ示シタル場合部隊ハ如何ニスルヤヲ説明セヨ
- 三、左記各項ノ記號若ハ註記ヲ圖上相當番號ノ位置ニ圖式ニヨリ記入セヨ



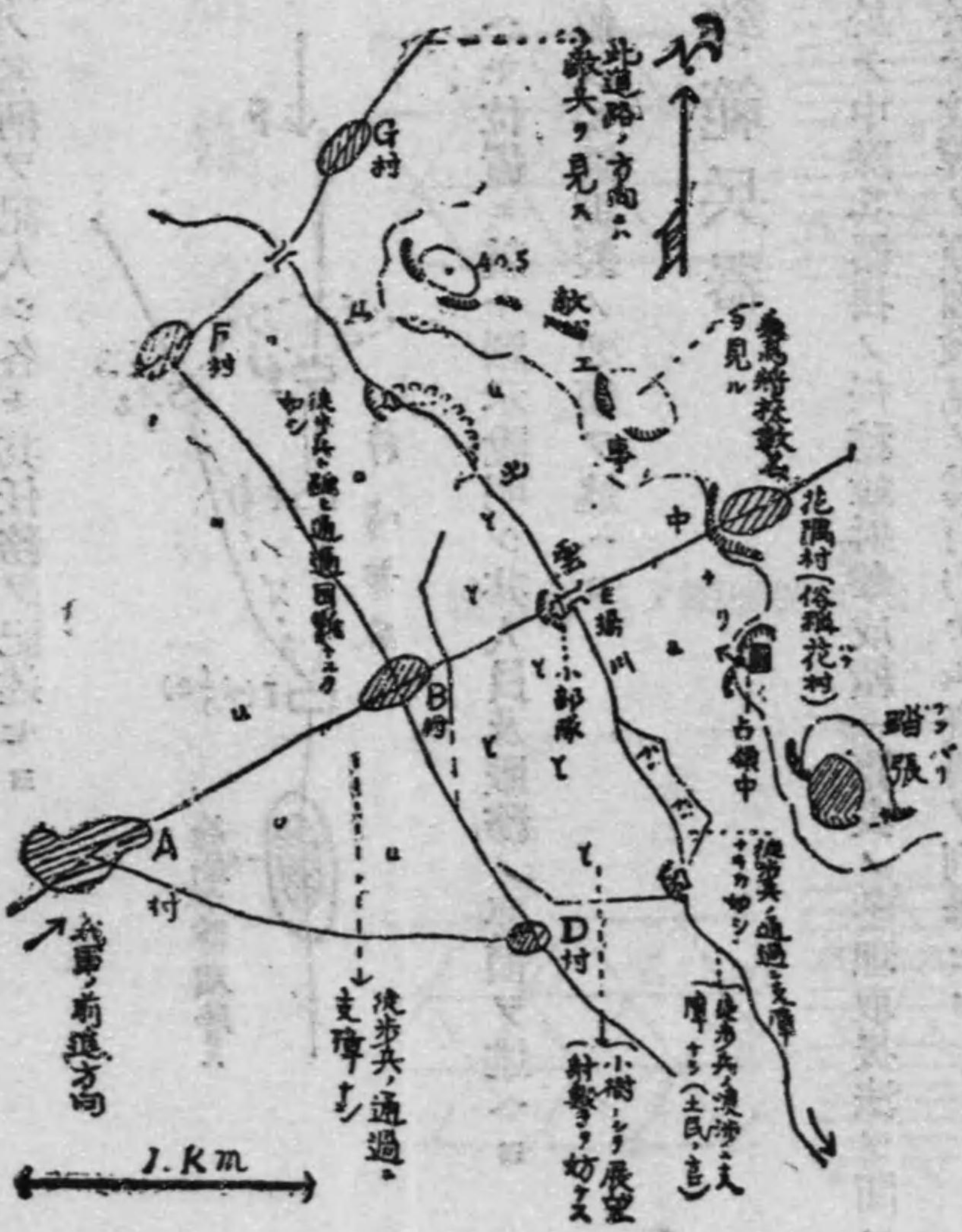
- 1 神社
- 2 役場
- 3 学校
- 4 堆土(比高五米突)
- 5 竹林
- 6 堤工橋
- 7 鍼葉樹林
- 8 水深(深サ一米突五十纏)
- 9 三角標高(六十五米突三十纏)
- 10 徒涉所
- 11 水準標高(二十米突五十纏)
- 12 煉瓦焼場
- 13 製造工場(周圍ニ堤工橋ヲ有シ且煙突アリ)
- 14 城 墟
- 15 潤葉樹林



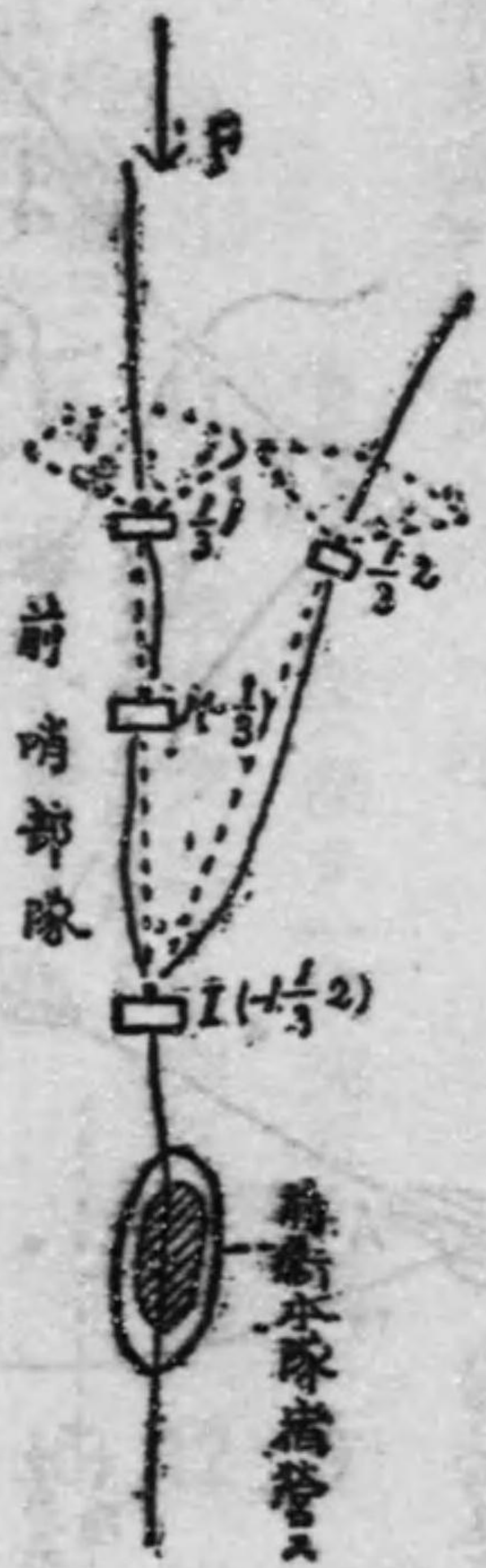
陣中要務令

(二時間)

一、十月一日午前八時五分要圖上ニ記シアル狀況ヲ知リタルモノトシテ文書記述ノ通則ニ從ヒ文章ヲ以テ別紙通信紙ニA斤候ノ報告ヲ記入セヨ(通信紙略ス)



二、左圖ニ前哨各部ノ名稱ヲ記入シ各々其任務ヲ記述セヨ



- 三、下士哨ヲ配置スヘキ位置ニ就キ圖示説明シ其人員及服務ノ要領ヲ述ヘヨ
- 四、要圖寫景圖ノ價值及要圖調製ノ要領ヲ述ヘヨ

### 射撃教範兵器

(二時間)

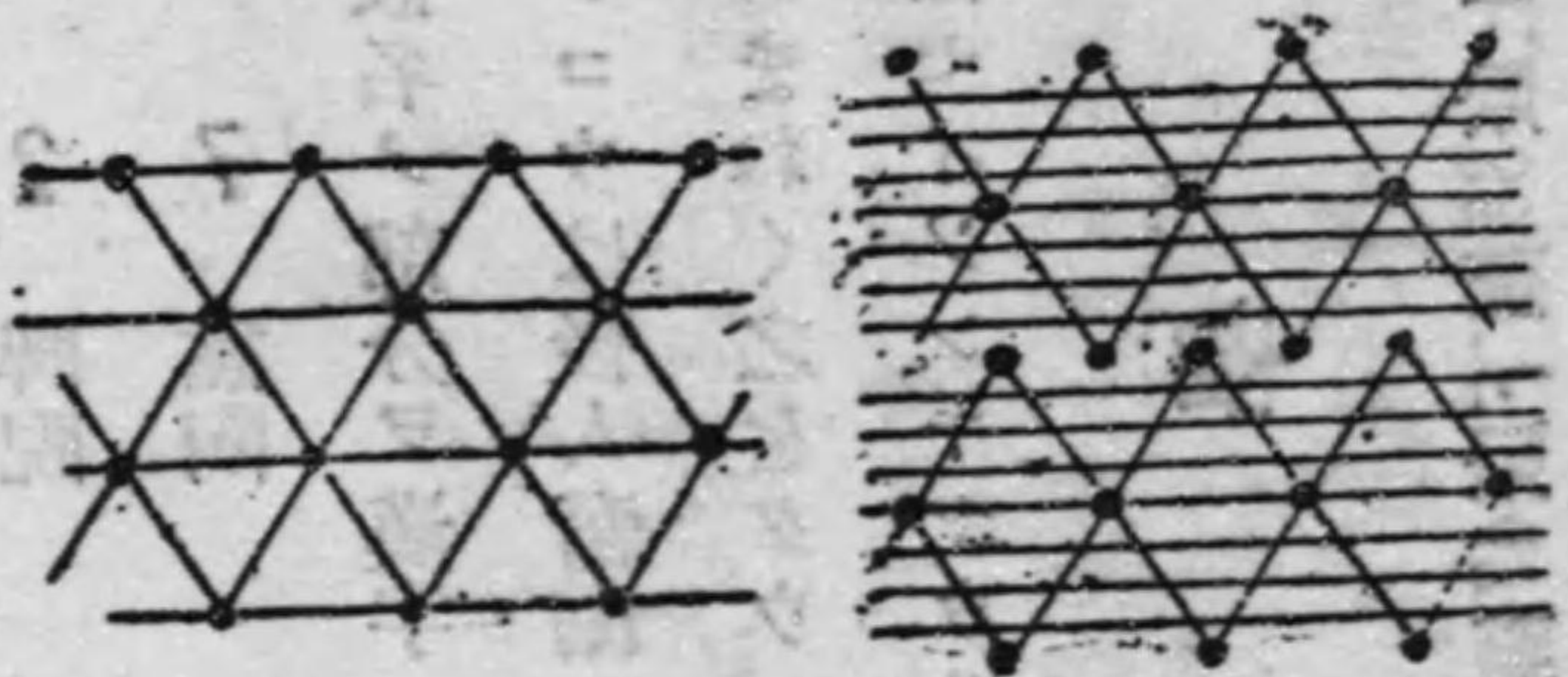
- 一、射撃場ノ勤務ニ於テ中隊兵器掛ノ任務並射撃成績一覽表ノ整理取扱法ヲ問フ
- 二、輕機關銃射撃ニ於テ故障ノ原因發見ノ爲有力ナル資料ヲ列舉セヨ
- 三、輕機關銃ノ夜間射撃ニ於テ故障ノ豫防及排除ノ爲肝要ナル事項ヲ述ヘヨ
- 四、十一年式擲彈筒ノ射撃動作ニ於テ危險豫防上注意スヘキ事項ヲ列舉セヨ

### 作業

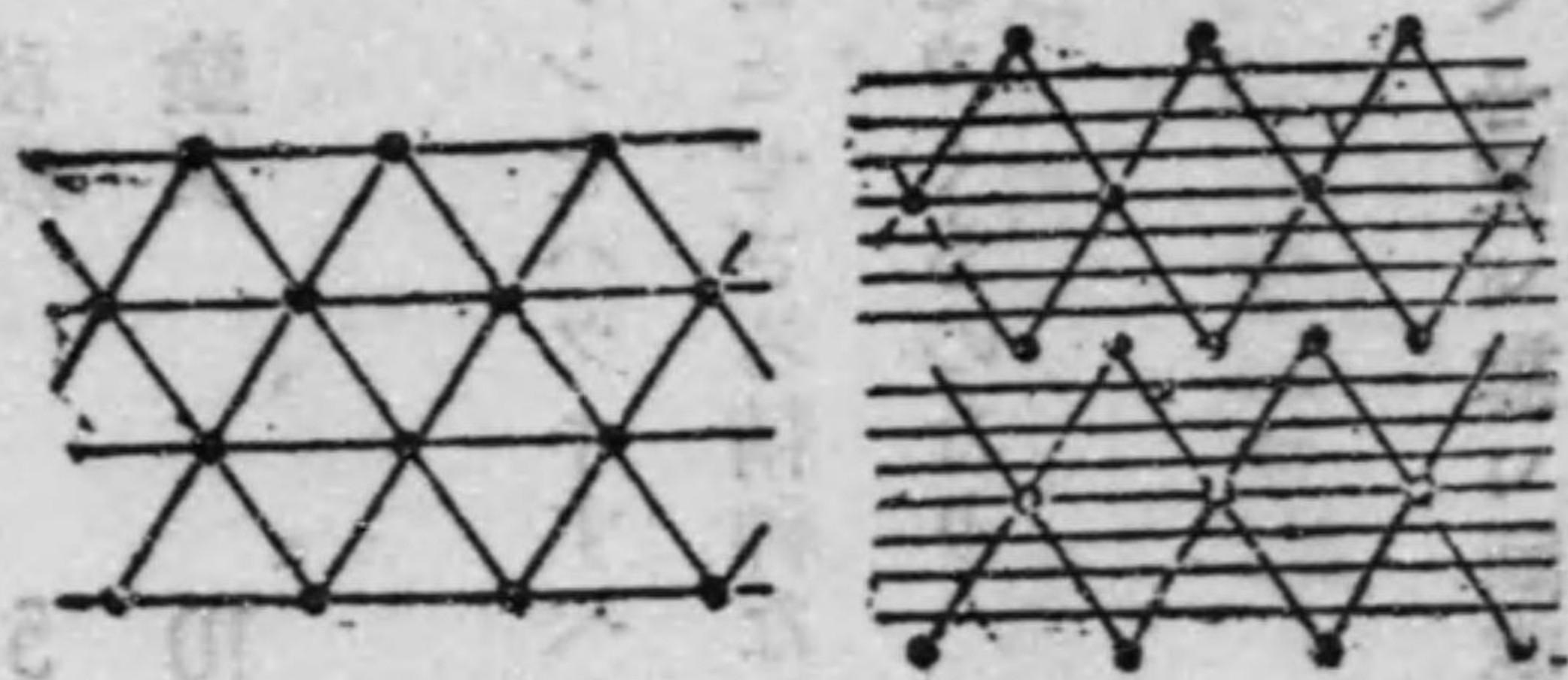
(一時間)

- 一、胸牆、背牆ノ高サハ如何ナル要旨ニヨリテ決スヘキヤ且其厚サヲ問フ
- 二、器具ニ依ル鐵條網ノ隱密破壊ト強行破壊トニ於ケル缺斷部位ヲ左圖ニ記入セヨ

器具ニ依ル鐵條網ノ隱密破壊



器具ニ依ル鐵條網ノ強行破壊



### 國語作文

(一時間三十分)

一、左ノ語句ヲ解釋セヨ

1. 義因勇行 勇因義長

豊橋 第五期 第二次 前期

- 2 已所不欲 勿施於人
  - 3 男兒學ばざれば則ち已む學ばば則ち當に群を超ゆべし
  - 4 弓矢執る身は死すべき處を遁れぬれば中々最後の恥あるなり
- 二、左ノ熟語ニ讀假名ヲ附シ且ツ解釋セヨ

- |      |      |      |      |       |
|------|------|------|------|-------|
| 1 蹶起 | 2 睥睨 | 3 敬虔 | 4 私淑 | 5 天稟  |
| 6 巧緻 | 7 薰陶 | 8 諫言 | 9 塗炭 | 10 堪能 |

三、左ノ文中片假名ノ部分ヲ漢字ニ直セ

- 1 祖先のクンコウは後人奮勵のレウたり子孫のメイヨシンをハツキすべきコウフンザイたり
- 2 千山萬水あまねく之をタウハシ人生のカウロナンを苦とせざる精神なかるべからずハクシジヤ  
クカウの徒はセイソンキヤウサウの世に立つべき資格をかくものなり

### 數 學

(一時間三十分)

- (1) 梯形アリ、上底35種下底47種ナラハ平行ナラサルニ邊ノ中點ヲ結フ直線ノ長サヲ計算セヨ  
但シ説明ヲ附記セヨ
- (2) 二等邊三角形ノ頂角ノ二等分線ハ底邊ヲ垂直ニ二等分スルコトヲ證明セヨ

- (3) 或中隊ニ於テ彈丸若干發ヲ三個小隊ニ分ツニ第一小隊ヘハ全彈丸ノ $\frac{2}{5}$ 第二小隊ヘハ $\frac{1}{3}$ 第三小隊ヘハ其殘リ700發ヲ與ヘタリト云フ、全彈丸幾發ナリシカ(簡單ナル説明ヲ附セ)

### 物 理 化 學

(一 時 間)

- (1) 重キ背囊ヲ負ヒタルトキ不動ノ姿勢ニ於テ體ヲ幾分前方ニ傾クルハ何故カ
- (2) 廻轉體ノ特性ヲ述ヘ軍事上ニ利用セルモノヲ記セ
- (3) 輻射熱ノ特性ト之カ利用ニツキテ記セ

熊本教導學校第四期學生前期試驗問題目次

服務	一	體操、劍術、通信教範	一一
步兵操典	二	測圖學	一二
陣中要務令	五	軍隊衛生學	一四
射擊教範	九	國語作文	一四
兵器	一〇	數學	一五
作業	一〇	物理化學	一六

熊本第四期學生後期試驗問題目次

服務	一七	作業	一六
步兵操典、戰圖綱要	一一	國語作文	一八
陣中要務令	二三	數學	一九
射擊、兵器	二四	物理化學	二〇

熊本教導學校第五期學生前期試驗問題目次

服務	一	射擊教範、兵器	九
步兵操典	四	作業	一一
陣中要務令	五	其他ニ關スル事項	一二

國語作文……………一三  
 物理化學……………一五  
 數學……………一四

### 熊本教導學校第五期後期試驗問題目次

服務……………一七  
 其他ニ關スル事項……………一八  
 步兵操典、戰鬥綱要……………一八  
 國語作文……………二一  
 陣中要務令……………二〇  
 數學……………二二  
 射擊教範、兵器……………二三  
 物理化學……………三三  
 作業……………二六

### 熊本第四期學生前期試驗問題目次

國語作文……………一三  
 物理化學……………一五  
 數學……………一四  
 其他ニ關スル事項……………一八  
 國語作文……………二一  
 陣中要務令……………二〇  
 數學……………二二  
 射擊教範、兵器……………二三  
 物理化學……………三三  
 作業……………二六

## 熊本教導學校第四期學生前期試驗問題

昭和六年五月

### 服 務

(一 時 間)

#### 一、左記事項ニ就テ答ヘヨ

- 1 一般休日ニ就業患者及犯行取調中ノ者ハ外出シ得ルヤ
- 2 一般休日ニ外出スル兵ハ外出證ヲ誰ヨリ受領シ歸營後誰ニ返納スルヤ
- 3 中隊ニ於テ外出證ヲ兵ニ交付スル迄ニハ何人ノ手ヲ經ルヤ
- 4 左記内務班長ノ任務中誤リアラハ訂正ノ上其右側ニ併記シ且ツ〔 〕内ニ所要ノ記入ヲ爲スヘシ

内務班長ハ兵卒ヲ愛護シ相互ノ和親ヲ圖リ諸規定及上官ノ命令意圖ノ實施ヲ監督シ且ツ特務曹長ノ旨ヲ奉シ自ラ儀表ト爲リ〔 〕シテ確實ニ内務ヲ實施セシムルヲ任トス又兵卒ノ〔 〕

〔 〕ヲ熟知シ其勤惰ヲ監督シ〔 〕等ニ關スル事項ヲ上申ス

(二イ) 一等兵熊本城吉ハ銃工兵ニシテ日曜外出ニ酩酊ノ上歸營時限ニ五分遅刻シ顔色蒼然トシテ表

- (二) 門歩哨ノ前ニ立ツ
- (問) 歩哨ノ處置
- (口) 内務班長ハ心配ノ餘リ當時表門ニ來リ歩哨ノ傍ニ在リ
- (問) 内務班長ノ處置
- (ハ) 衛兵司令ハ歩哨ノ報告ト本人ノ届告トニ依リ之ヲ承知ス
- (問) 衛兵司令ハ如何ニスルヤ
- (問) 此ノ通報ヲ受領セル週番下士ハ如何ニスルヤ
- (二) 熊本一等兵ハ班長及週番下士ニ伴ハレ中隊事務室ニ至ル
- (問) 熊本一等兵ハ如何ニスルヲ至當トスルヤ
- (ホ) 中隊長ハ以上ノ情況ヲ知り直ニ中隊ニ出頭取調ノ結果涙ヲ振テ輕營倉一日ニ處シ翌朝出勤、中隊長ハ課業開始時ニ至ルモ營倉ニ於テ懇々本人ヲ訓諭シツツアリ
- (問) 週番下士處置アリヤ

步兵操典戰闘綱要 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊 (二時 間)

一、左記事項ニ就テ述ヘヨ

- 1 教練ノ課目變換ニ就テ願慮スヘキ要件
- 2 小銃擔銃ニ於テ銃ノ位置ニ就テ操典ニ要求シアル事項ヲ左圖ニ註記セヨ

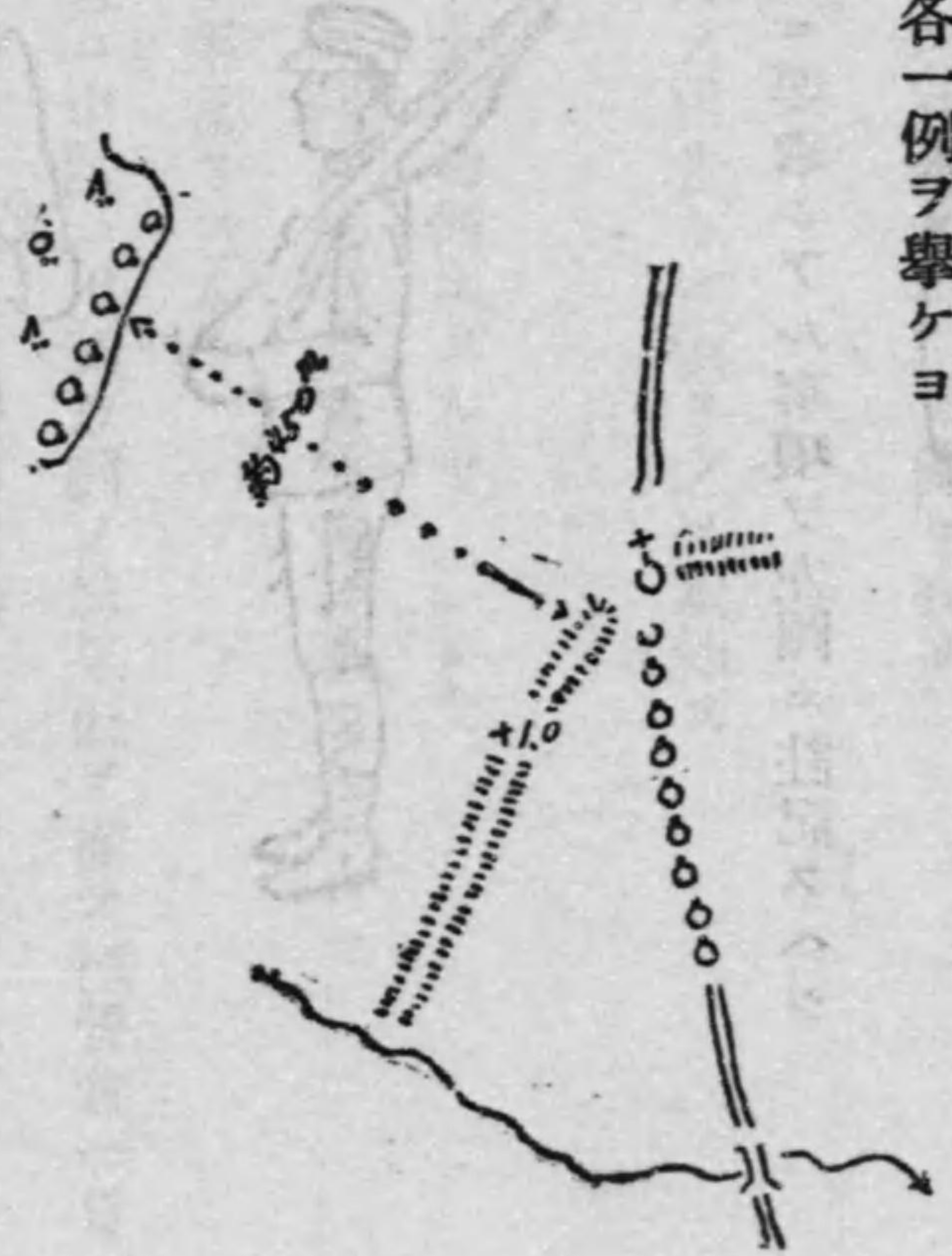


● 2 徒手不動ノ姿勢ニ就テ操典ニ要求シアル事項ヲ左圖ニ註記スヘシ

〇二、左記諸項ニ就テ述ヘヨ

- 1 戦闘ノ爲ノ前進間小隊疎開後ノ分隊ノ隊形ノ選定、前進停止ハ誰ノ命ニヨルカ
- 2 輕機關銃射法ノ種類及其號令ノ各一例ヲ擧ケヨ
- 3 左圖ノ場合分隊長ノ號令如何  
狀況、分隊ハ左火線分隊トシテ  
前進中

分隊長ハ要圖ノ狀況ヲ知  
リ小隊長ノ命令ニヨリ堤  
防線ニ三步間隔ニ散開シ  
直ニ左前方ノ敵ヲ射撃ス  
ルニ決ス



- 二一 攻撃ニ於ケル機關銃ノ射撃目標ハ如何ナルモノヲ選擇スヘキヤ
- 2 機關銃分隊ノ夜間射撃ノ設備ニ於テ特ニ注意スヘキ事項ヲ述ヘヨ
- 〇三、輕機關銃分隊ノ有スル小銃ヲ使用スヘキ場合ヲ列擧セヨ
- 三一 攻撃ニ於ケル機關銃分隊陣地變換ニ方リ分隊長以下ノ動作ニ就テ注意スヘキ件ヲ述ヘヨ

2 機關銃分隊長ハ陣地進入ニ先タチ銃手ニ  
對シ如何ナル指示ヲナスヘキヤ

〇四一 突撃準備ニ於テ小銃分隊長ノ爲スヘキ事  
項ヲ述ヘヨ

- 2 防禦ノ際散兵ノ射撃ヲ適切ニシ且分隊ノ  
射撃指揮ヲ容易ナラシムル爲小銃分隊長ト  
シテ射撃開始前講スヘキ手段ヲ列擧セヨ
- 四、機關銃分隊ハ下圖ノ如キ目標ニ對シ I II III  
……等ノ順序ニ射撃セントス分隊長ノ號令ヲ記  
スヘシ

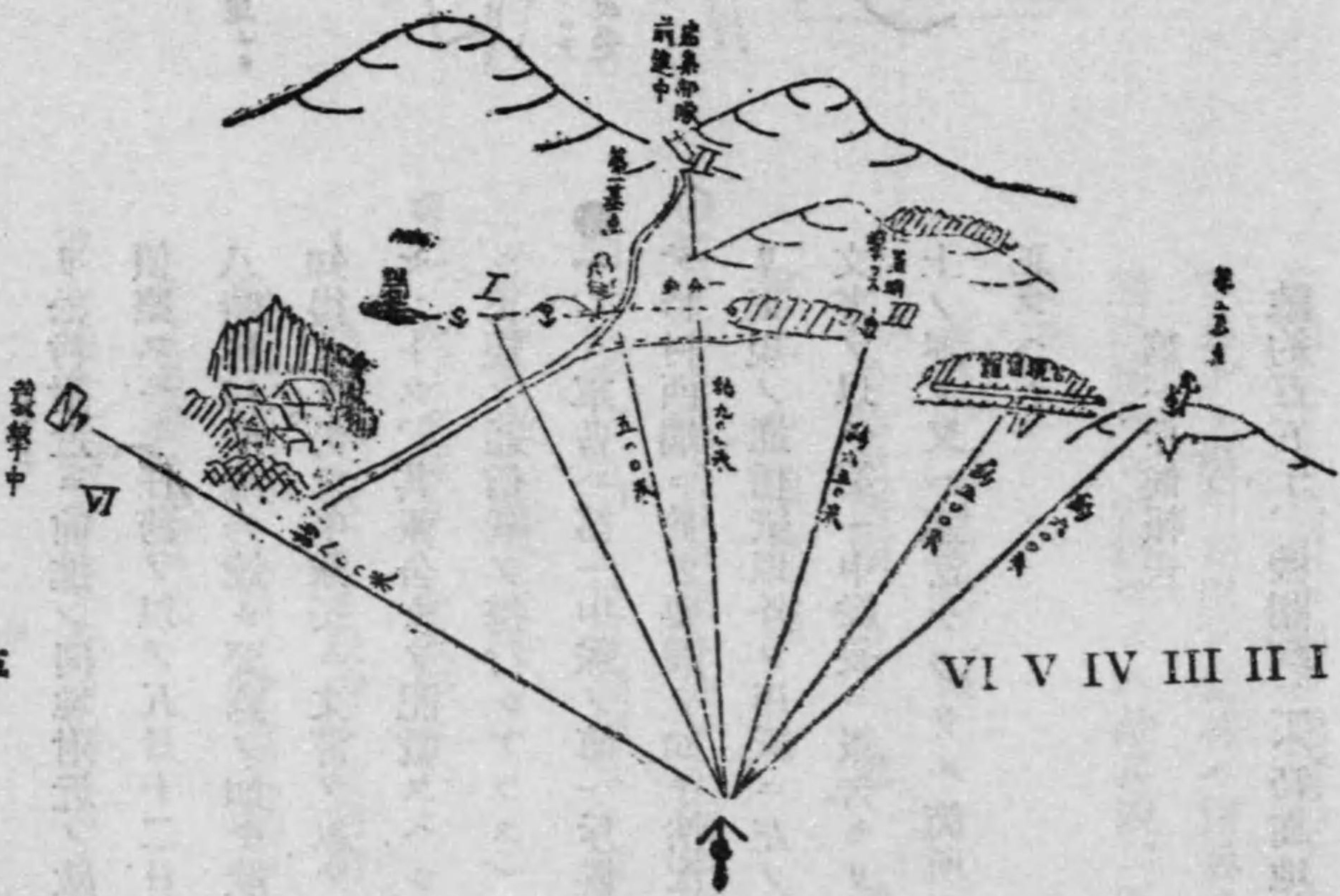
陣中要務令

〇ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(二一 時 間)

〇一、A軍曹ハ第一中隊ノ第一斥候トシテ梅村ヨ

熊本 第四期 前期



松村附近敵情地形要圖

(五月二十二日午前八時頃於ケル)



第一斥候報告

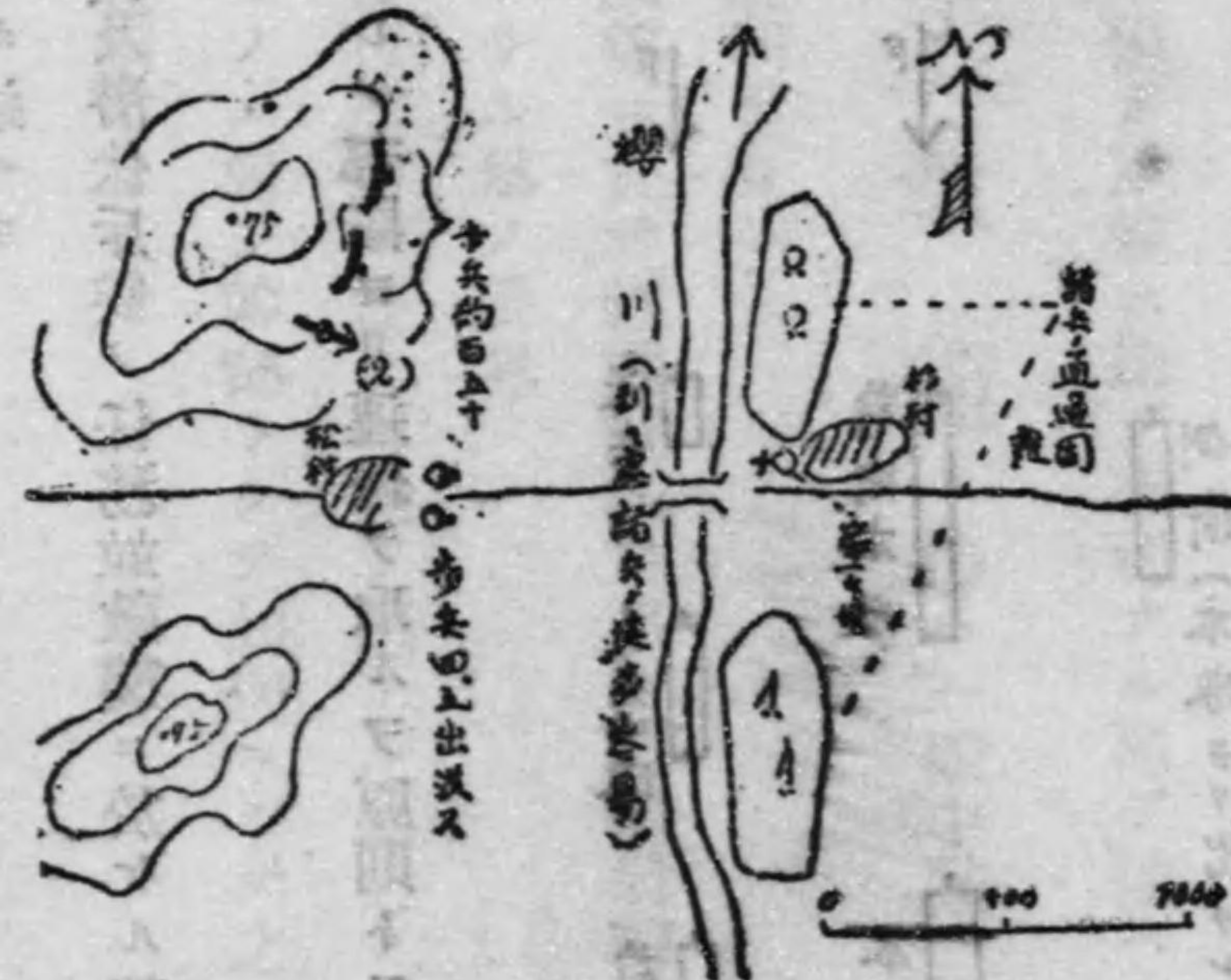
敵約百五十、機關銃二、八七五高地上ヲ

リ松村附近ニ前進シ同地附近ノ敵情ヲ偵察スヘキ任務ヲ以テ五月十二日午前八時杉村西端ニ達シ要圖ノ如キ狀況ヲ知得セリ仍テ中隊長ニ文書ヲ以テ報告セントス、其報告文ヲ記載スヘシ(但シ正規ノ通信紙ヲ携行シアラス)

●一、A軍曹ハ第一中隊ノ第一斥候トシテ杉村西端ニ於テ要圖ノ如キ情況ヲ知リ正規ノ通信紙以外ノ用紙ニ左ノ如キ文書ヲ以テ第一中隊長ニ報告セリ記述上ノ誤リ又ハ適當ナラサル箇所ヲ訂正スヘシ

松村附近敵情地形要圖

(五月二十二日午前八時頃於ケル)



占領シアリ櫻川ハ到ル處諸兵ノ徒涉容易ナリ櫻川左岸ノ森林ハ諸兵ノ通過困難ニシテ松村ニハ敵兵四、五出沒ス

五月十二日午前八時  
於杉村西端 A 軍曹  
第一中隊長殿

●二、下士哨ト駐軍間ニ於ケル對空監視哨ニ於テ位置、人員及隸屬スル指揮官ニツキ比較記述セヨ

●一、第一線ニ於ケル複哨ト銃前哨トニ於テ、任務、人員、位置及動作ニ就テノ差異ヲ述ヘヨ

2 傳令ニ示スヘキ件ヲ舉ケヨ



○三、行軍間「途歩」ノ號令アリタル後ニ於テ指揮官以下次ノ各項ニ就キテノ處置及動作ヲ述ヘヨ

- 1 服裝
- 2 道路ノ行進法

●三、次ノ事項ニツキ述ヘヨ

- 1 駐(停)止斥候及潜伏斥候ノ任務並敵襲ニ於ケル報告ノ處置
- 2 巡察ノ任務

○四一 次ノ場合何レノ部隊ヨリ連絡ヲ取ルヲ原則トスルヤ矢印(↑)ヲ以テ連絡ヲ取ル方向ヲ示スヘシ



- 2 敵情搜索ノ斥候トシテ次ノ各場合ニ於ケル動作又ハ著意ヲ述ヘヨ
  - (イ) 途中遭遇セル敵ノ斥候若ハ小部隊ニ對スル動作

(ロ) 敵地ニ於ケル休憩ノ場合ノ著意

(ハ) 敵意ヲ有スル住民地通過ニ際スル著意

●四一 搜索任務ヲ有スル者ノ速ニ指揮官ニ報告スヘキ事項ヲ述ヘヨ

- 2 徒歩斥候ノ他ノ斥候ニ比シ有利ナル點ヲ述ヘヨ

### 射撃教範 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(一) 時間

○一、左記事項ヲ説明セヨ

- 1 下圖ノ如キ關係ニ於テ輕機關銃ヲ以テ間隙射撃ヲ行ハントス友軍ニ危害ヲ及ササル爲ノ限界
- 2 小銃、射撃豫行演習ニ於テ引鐵ヲ壓スル爲力ヲ加フル要領ヲ十分理解セサルモノニ對シ幹部トシテ如何ニシテ之ヲ教育スルヤ



●一、左記事項ヲ説明セヨ

- 1 平均點躲避
- 2 雜射ノ角度及速度
- 二、輕機關銃ノ射撃ニ方リ故障發生ノ主ナル原因及幹部並ニ射手トシテ之カ豫防上特ニ注意スヘキ

要件ヲ述ヘヨ

- 二、機關銃射擊豫行演習ニ於テ特ニ意ヲ用ヒテ教育スヘキ事項ヲ述ヘヨ
- 三、齒弧轉輪ノミニ依ル彈著修正ノ教育要領ヲ述ヘヨ
- 四、機關銃射擊ニ於テ瓦斯壓ト活塞運動トノ調和ノ必要ナル所以竝ニ之カ爲特ニ如何ナル點ニ注意スヘキヤ

兵器 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(一時間)

○一、三八式步兵銃ニ於テ安全裝置トシタルトキ槓桿ヲ扛起スル能ハサル理由ヲ問フ

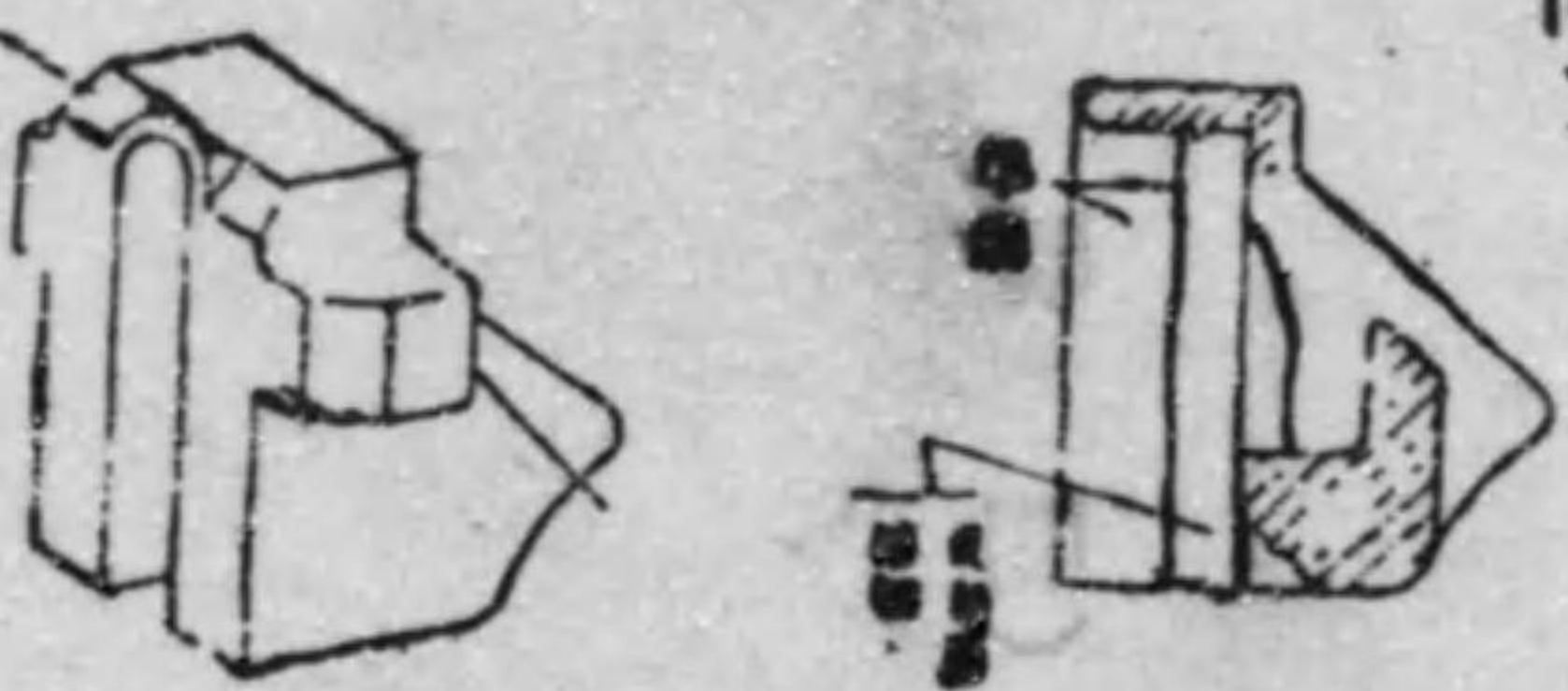
●二、下圖ニ示ス×印ノ部位ノ用途ヲ記入セヨ

○三、十一年式輕機關銃ノ活塞ノ後退ニ伴ヒ左記部品ハ如何ナル關係ニ依リ運

動スルヤヲ説明セヨ

彈送座 上部彈送 下部彈送

●二、十一年式平射步兵砲ノ安全裝置及其作用ニ就テ述ヘヨ



(一時間三十分)

作業

一、左ノ各項ニ就テ答ヘヨ

- 1 散兵壕ノ射擊設備ニ於テ照準高ハ何程カ
- 2 散兵壕ノ臂坐ハ何ノ用ニ供スルカ
- 3 内斜面ヲ急峻ナラシムル理由
- 4 横牆ヲ設クル理由及高サ(通常ノ場合)長サ、厚サハ何程カ
- 二一 鐵條網ニ就テ左ノ事ヲ答ヘヨ
  - (イ) 網形鐵條網ト屋根形鐵條網トノ利害
  - (ロ) 折疊鐵條網ヲ使用スル場合及其形式ニ依ル名稱如何
- 2 偽裝ノ目的ヲ述ヘヨ

體操、劍術、通信教範

(二時間)

二、體操實施ニ方リ外傷豫防上特ニ注意スヘキ件ヲ舉ケヨ

二、左ノ件ニ就テ答ヘヨ

1 劍術演習後ニ體操ヲ行フ目的

2 試合ノ教習及試合後ニ行フ基本動作ハ如何ナル效有リヤ

- 3 撃突返撃突ニ於ケル交叉ハ習技者ニ何ヲ教フルヤ
- 4 勝利ヲ得ヘキ要訣

- 一、布板又ハ標示幕ヲ布置スルニ方リ注意スヘキ件ヲ答ヘヨ
- 二、左ノ手旗通信常用略符號ノ意味ヲ記セ

カ( ) マ( ) ト( ) ミ( ) ク( )

### 測 圖 學

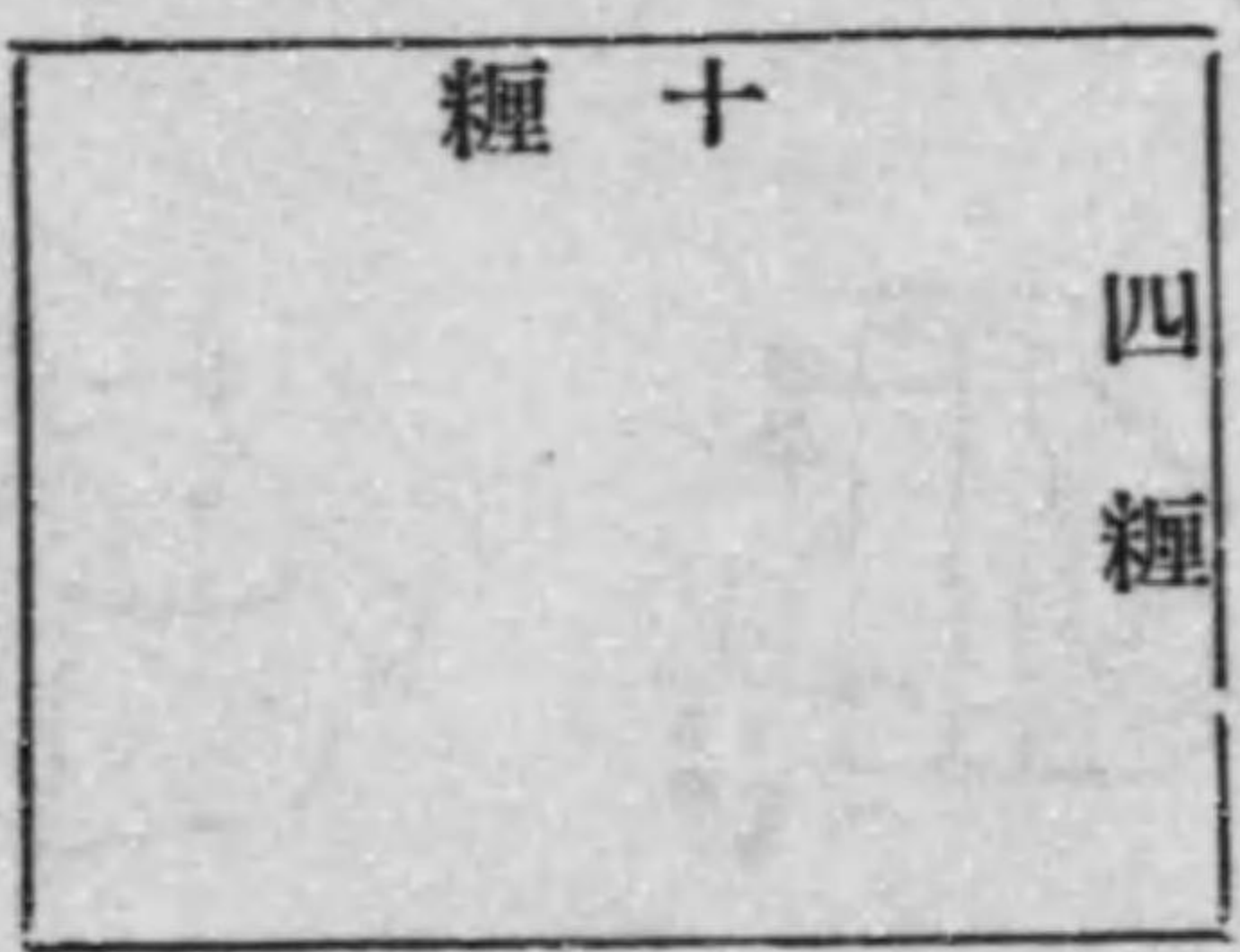
(一時間三十分)

- 一 下ノ區劃内ニ五百米平方ノ地域ヲ成ルヘク大キク描畫ントス、其梯尺ヲ作製シ圖面相當位置ニ現ハセ

- 2 水平曲線ノ種類及是等ハ如何ナル線ニテ現ハスヤヲ記セ

- 二、某斥候長トシテ左記事項ヲ目撃ス、時間ノ餘裕少ナキ場合ニ於ケル要圖調製ノ要領ニヨリ「答解ノ部」番號ノ位置ニ圖示セヨ

但シ紙ノ上部ヲ北トシ「大サ、形ヲ」示シアラサルモノハ隨意ニ定メ左記事項以外ハ一切現ハスニ及ハス



- 1. 點ノ北側ニ榎ノ獨立樹アリテ其西側ニ敵ノ機關銃一銃アリ

- 9. 約三十軒ノ部落ニシテ「中山」ト言フ、點ノ位置ハ其中央トス

- 10. 9ノ部落ノ東南側及10ノ點ヲ過キ其南方ニ至ル鐵道線路アリ

- 2. 桑畑ニシテ其南側ニハ敵ノ散兵隊アリテ歩兵小銃一分隊占領シアリ

- 7. 7ノ點東北方ヨリ7ノ點及5ノ學校南側ヲ過キ其西方ニ向ヒ流ル、小川アリ
- 7ト5トノ中央附近ニ諸兵種ノ通過ヲ許ス橋アリ

- 3. 墓地ニシテ南端ニ敵ノ輕機關銃一銃アリ

- 4. 3ヨリ5ノ方向ヘ敵ノ下士斥候三名前進中ナリ

- 5. 學校アリ

- 8. 1ノ榎南側ヨリ8ノ點ヲ過キ其南方ニ通スル道アリ

- 6. 獨立高地ニシテ某斥候長ハ此高地ニアリ

(答解ノ部ニ白紙ニ右ト同位置ニ同符號ヲ記シタルモノアルモ略ス) 圖略

### 軍隊衛生學

(一時間三十分)

- 一、靴傷ノ豫防ニ就テ知レル所ヲ述ヘヨ
- 二、腹腔内ニ於ケル主ナル臓器ノ名稱ヲ述ヘヨ

### 國語作文

(二時間)

- 一、次ノ文章ヲ解釋セヨ  
神武天皇以來二千五百九十一年、連綿たる一系の皇室を戴いて、順序正しい進歩を續けて來た我が國は、世界現存の何れの國家に比べても、最も古い歴史を持つて居る。歴史は古い、併しながら日出づる國の國民は常に若々しい心を持つて居る。大化の改新も明治の維新も、皆この若々しい心から生れたのである。日出づる國の國民は、常に若々しい心を以て、天壤と俱に窮なき國運の發展を期すべきである。
- 二、左ノ文章中ノ漢字ニモレナク讀ミ假名ヲツケヨ  
日の出は夜の暗黒を破る點から文明の魁を示し燦爛として輝く光景から文化の全盛を思はしむ
- 三、次ノ假名ニテ書キタル熟語ヲ漢字ニナホシ括弧内ニカケ

こ だ ち ( ) つ ま さ き ( ) た め い き ( )  
か の こ ま だ ら ( )

#### 四、左ノ熟語中ノ誤字ヲ正セ

- 氣候 祭神 衝動 巍然
- 常緑 超越 眞心 剌那 衆庶 橋梁 印象 淺膚 接觸 協力

### 數 學

(二時間)

- (1) 甲一人ニテハ36日ヲ要シ、乙一人ニテハ45日ヲ要スル仕事ヲ兩人協力シテサハ幾日ヲ要スルカ
- (2) 元金250圓、1年8箇月ノ元利合計300圓ナルトキハ年利率何程ナルカ
- (3) 567009ノ平方根ヲ求ム
- (4) 輕機關銃5挺歩兵銃3挺ノ重サ合計63挺ニシテ、輕機關銃3挺歩兵銃5挺ノ重サ合計50.6挺ナリ、輕機關銃歩兵銃各一挺ノ重サ如何
- (5)  $+5+(-3)-(+7)-(-2)$ ヲ計算セヨ

- (6)  $7a^2 - 5a - 2 + (a^2 + 3a - 4) - (4a^2 + 2a - 6)$  を計算せよ
- (7)  $a^2 + 2ab + b^2$ 、 $a^2 - 2ab - b^2$  の積を求めよ

### 物理化学

(二時間)

- (1) 次の術語を説明せよ
  - A 重力 B 比重 C 物質 D 弾性 E 速度
- (2) 「守るも攻むるも鐵の浮べる其の城」ト歌ハレシ帝國軍艦カ俣風堂々四海ヲ壓シテ大海ニ浮ヘルハ如何ナル理由ニ基クカ
- (3) 毎時四哩ノ速度ヲ有スル流水ヲ横キリテ之ニ直角ニ毎時三哩ノ速度ニテ漕ク舟ノ一時間内ニ於ケル合運動ヲ求めよ
- (4) 花火ヲ打上ケシ瞬間ヨリ五秒ノ後ニ爆發スルヲ見タリ、其ノ上昇セル高サヲ問フ
- (5) 凸レンズノ作ル像ヲ圖示シテ説明せよ

### 熊本第四期學生後期試験問題

昭和六年十月

### 服 務

(一時間半)

- 一、左記諸項ニ就キ其答解ヲ記セヨ
  - 1 曹長不在中週番下士トシテ料金追徴ヲ要スル電報ヲ受ケル場合ノ處置
  - 2 營内居住下士兵卒中外出ニ當リ辨當ヲ携行セントスル者在リタル時ノ手續如何
  - 3 左記各項ハ誰カ規定又ハ許可スルヤ
    - A 下士ニ居室掃除等ノ爲當番ヲ使用セシムルコト
    - B 蚊帳ヲ張ル時刻
    - C 外出ノ際學術技藝ニ關スル講演會ニ臨席セントスル時
  - 4 臨時點呼ノ際左記各所ハ誰カ立會ヒテ點呼スルヤ
    - A 中隊 B 酒保
  - 5 日報ノ目的

- 二、週番下土トシテ兵卒ニ面會人ノ通報ヲ風紀衛兵ヨリ受領シタル時ノ處置ヲ記セヨ
- 2 歩兵聯隊内ニ於ケル命令傳達ノ主任者ヲ記セヨ
- 三、班長トシテ左記兵員ノ質問ニ對シ所要ノ答解ヲ爲スヘシ

1 初年兵ヨリ

(問) 前盒ニ附着セル泥土含水布ヲ以テ拭淨スルモ除去シ得ス如何ニスヘキカ

(問) 軍衣(絨製品)ニ泥土附着シタル時直ニ絨刷ヲ掛ケテ可ナリヤ

2 二年兵曰ク

(問) 望遠鏡硝子面ノ拭淨材料ニハ如何ナルモノヲ用ヒテ可ナリヤ

3 幹部候補生曰ク

(問) 飯盒ニヨリ晝食ヲ携行スル際飯ノ上ニ梅干ノ轉カリ居ルハ何故不可ナリヤ

(問) 營外居住者野營演習出張中ノ糧食ハ自辨カ官給カ

四、諸子ハ原隊復歸後十二月十日定時ヨリ風紀衛兵トシテ左記狀況ノ下ニ服務セルモノト想定シ別紙報告用紙ニ衛兵司令トシ所要ノ記入ヲナスヘシ

左記

1 當日ノ衛兵ノ編成左ノ如シ

司令、伍長	熊本城吉	軍旗御眞影	歩哨	彈藥庫	歩哨
衛舍掛、上等兵	春田花吉	一等兵	南山守一	一等兵	小松庫三
歩哨掛、上等兵	秋山青吉	上等兵勤務	大石勉	同	北山嚴
歩哨掛、上等兵	夏冬吉	一等兵	大川守次	二等兵	日中立夫
喇叭手、一等兵	吹田時中	一等兵	北川寒三	二等兵	大井成一

2 服務ハ十二月十日午後四時ヨリ翌十一日午前五時迄トシ歩哨ノ交代ハ一時間毎トス

3 衛兵服務間ノ巡察ハ七回ト假想シ其時刻時機等ハ各人毎ニ適宜決定スヘシ

4 服務中ノ出來事左ノ如シ

A 午後四時三十分一等主計杉本弘金櫃ヲ開閉ス

同時聯隊長衛兵所ニ立チ寄ラル

B 第一中隊ハ午後十一時三十分迄第五中隊ハ午後十時迄延燈スル旨通報ヲ受ク

C 午後五時二十分週番副官第一中隊特務曹長守山次郎午後十時五十分週番士官第六中隊中尉菊

地武光午前二時週番司令第七中隊長大尉細川忠一巡視ス

D 午後十一時所屬中隊特務曹長杉山光教育ノ爲巡視ス

E 午後十時表門歩哨一等兵大川守次腹痛ノ爲一等兵青山實ト交代ス

F 午後十時十分第三中隊一等兵人見赴重營倉三日ニ處セラレ入倉ス依テ新ニ營倉歩哨トシテ直ニ左記ノ者ヲ増加セラル

一等兵 石橋正 一等兵 杉山高 二等兵 大西來

G 午後十一時第一中隊ハ夜間演習終了中隊長引率ノ許ニ歸營セリ

H 午後十一時二十分第七中隊軍曹西村八郎休暇歸省中ノ所歸營ス又午後十一時三十分第九中隊一等兵中村五郎臨時外出ノ爲出門ス

I 午前三時屯營附近民家ヨリ出火シ彈藥庫ハ目塗土ヲ使用ス午前四時鎮火セリ  
同時消防隊ハ急援ノ爲出動セリ

J 巡察中第九中隊ノ火鉢ハ現物ト員數表ト一致セス又第二中隊洗濯場ノ水栓ハ放水ノマ、放任シアリタリ

注意

- 1 聯隊又ハ學校内務規定ハ顧慮スルニ及ハス
- 2 右想定記載ニ方リテハ衛戍勤務令及軍隊内務書ノ規定ニ依リ處理スヘシ  
(別紙略ス)

步兵操典、戰鬪綱要 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊 (二時間半)

○一、防禦ニ於ケル援隊ニ就テ左記諸項ヲ問フ

- 1 用途
  - 2 援隊タル分隊ノ長トシテ爲スヘキ設備
  - 3 戰鬪ノ進捗ニ伴ヒ分隊ノ使用セラルル場合ヲ顧慮シ如何ナル準備ヲ整ヘ置クヘキヤ
- 一 機關銃射撃ニ必須ノ要件ヲ問フ
- 1 機關銃射撃ニ於テ機關銃中距離以上ノ射撃ヲ行フ場合如何
  - 2 攻撃ニ於テ機關銃中距離以上ノ射撃ヲ行フ場合如何

○二、左記事項ニ就テ述ヘヨ

- 1 輕機關銃ヲ直接地物ニ依托シテ射撃スル場合ノ注意
  - 2 小銃輕機關銃ヲ以テアル對戰車射撃ノ要領
  - 3 防禦ニ於ケル輕機分隊彈藥手ノ配置
- 二 1 機關銃ノ目標指示ヲ的確簡明ニシ且速ニ之ヲ了解セシムヘキ方法ヲ述ヘヨ
- 2 敵陣内攻撃ニ於ケル機關銃ノ動作ヲ述ヘヨ
- 三、輕機關銃射撃効果ヲ發揚スルニハ射撃中故障ヲ生セシメサルコト特ニ緊要ナリ之カ爲分隊長及

○射手ノ處置ヲ述ヘヨ

●三、攻撃ニ於ケル陣地進入ニ際シ平射砲及曲射砲ノ位置選定上顧慮スヘキ要件ヲ述ヘヨ

○四、左記事項ヲ問フ

1 分隊散開教練ノ主眼

2 監視部隊ノ任務

●四、平射歩兵砲試射ノ方法ヲ列舉シ且其用フル場合ヲ述ヘヨ

○五、左記各項ヲ問フ

1 中隊縦隊ノ直行進ニ於ケル嚮導ノ行進要領

2 小隊ノ攻撃ニ於テ火線ニ用フル兵力ハ狀況ニ依リ決定スヘキモノナルモ當初ハ成ルヘク之ヲ節

約スルヲ可トスル理由

3 火線ノ構成ニ方リ輕機分隊相互ノ間隔ハ多クノ場合五十米ヲ標準トスト其理由

●五、防禦ニ於ケル機關銃ノ用法中左記各項ニ就キ晝間及夜間ノ動作ヲ區別シテ答ヘヨ

1 重要ナル任務 (火力配置) 2 分置

3 陣地ト火線トノ關係

4 陣地ニ配置スル時期

### 陣中要務令 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(二時間半)

○一 前哨中隊及小哨ノ各直接警戒法ヲ述ヘヨ

2 飛行機ト地上部隊トノ通信連絡手段ノ種類ヲ舉ケヨ

●一 夜行軍ヲ行フ場合ヲ問フ

2 行軍縦隊内ニ在ル歩兵ノ中隊、大隊、聯隊後ニ存スヘキ距離竝此等ノ距離ヲ存スヘキ目的ヲ述

ヘヨ

○二 行軍縦隊内ニ在ル歩兵ノ中隊、大隊、聯隊後ニ存スヘキ距離竝此等ノ距離ヲ存スヘキ目的ヲ

述ヘヨ

2 夜行軍實施中後續部隊ヲシテ進路ヲ誤ラシメサル爲ノ處置ヲ述ヘヨ

●二、鐵道輸送ノ下車點ニ於ケル馬匹ノ卸下要領竝卸下直後ノ處置ヲ述ヘヨ

○三、舍營衛兵ト部隊衛兵トノ差異ヲ次ノ區分ニ從ヒ記入スヘシ

1 隷屬スル上級指揮官 2 哨兵ヲ配置スヘキ位置 3 任務

●三、次ノ諸勤務員間ニハ如何ナル隷屬關係アリヤ——ヲ以テ其系統ヲ示セ

舍營司令官、部隊日直將校(下士)、舍營日直將校



舍營衛兵、部隊營兵 對空監視哨

對空射擊部隊、巡察將校(下士)

○四、舍營間次ノ警報アリタル場合ニ於ケル步兵一般中隊下士以下ノ動作ヲ述ヘヨ

1 非常警報 2 飛行機警報 3 瓦斯警報

●四、徒涉場通過ノ要領ヲ述ヘヨ

○五、鐵道輸送ニ關シ次ノ事項ニツキ述ヘヨ

(イ) 列車運行中一般ノ心得 (ロ) 列車運行中非常ノ場合ニ於ケル處置

射擊兵器 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊 (二時間三十分)

○一、輕機關銃ノ左記故障ノ主ナル原因ヲ問フ

(イ) 送彈不良 (ロ) 突込(打殼藥莖藥室內ニ在ル場合)

●一、機關銃ノ左記故障ノ主ナル原因ヲ問フ

(イ) 突込(抽筒不能ニ因ル場合) (ロ) 活塞後退不足

○二、輕機關銃射彈ノ觀測修正ニ於テ左記事項ニ就テ説明スヘシ

1 遠近ノ修正方法 2 分隊長ノ照準點ノ修正ヲ命スル方法

●二、平射步兵砲ヲ以テ運動中ノ戰車ニ對スル射擊ノ要領ヲ記述セヨ

○三、距離目測ノ方法ヲ舉ケ其利害並用所ヲ記述セヨ

●三、步兵砲射擊ニ於テ折半試射ニ依ル概定表尺ノ決定要領ヲ記述セヨ

○四、三八式步兵銃ノ擊發ノ瞬時ニ於テ避害筒頭ハ如何ナル位置ニアリヤ又如何ナル作用ヲナスヤ

●四、左記事項ヲ説明スヘシ

1 微雜射ニ於ケル銃口微動ノ範圍

2 曲射步兵砲ノ射擊ニ於テ危害豫防上、各種托筒ニ應スル射

距離ノ限界

○五、下圖(十一年式輕機關銃圓筒)中×印ヲ施セル部ノ效用ヲ記

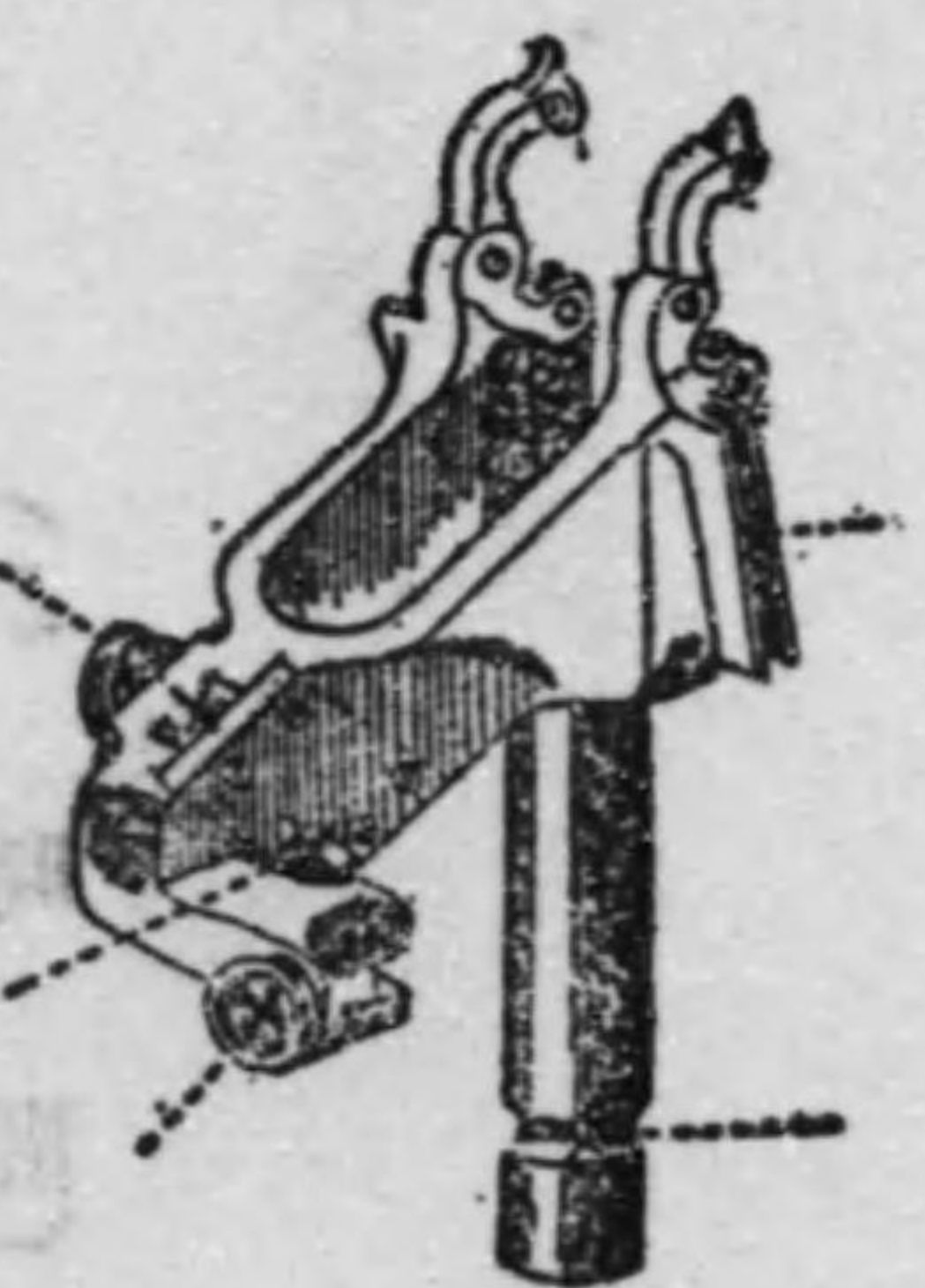
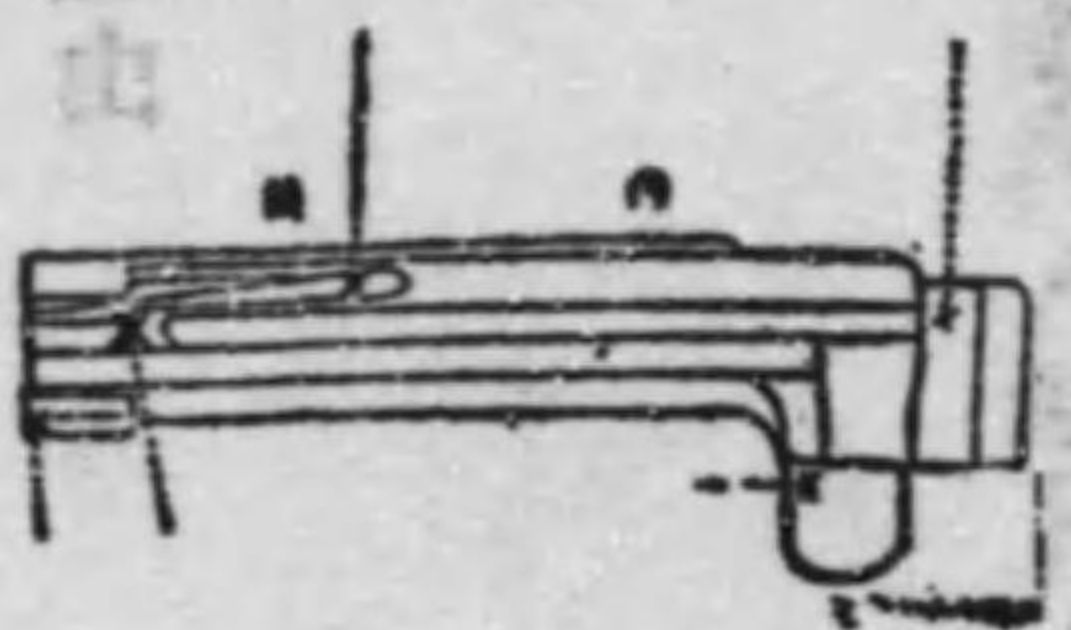
入セヨ

●五、下圖(三年式機關銃銃耳托架)中×印ヲ施セル部ノ效用ヲ記

入セヨ

●六、十一年式平射步兵砲閉鎖機ノ閉栓作用ニ就テ知レルトコロ

ヲ記セ



作業 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

二六 (二)時間

- 一 野戰築城ノ目的ヲ述ヘヨ
- 2 戰車ニ對スル障碍物ノ種類五ツヲ舉ケヨ
- 二 散兵壕經始線ノ標示法ニ關シ左ノコトヲ答ヘヨ

  - 1 夜間ニ於テハ目標ノ認識ヲ容易ナラシムル爲如何ニ行フヤ
  - 2 繩ニテ標示スル場合ニ在リテハ適宜ノ長サニ區分シテ行フヲ可トスル理由
  - 3 内頂ノ高サヲ標示スル爲如何ニ行フヲ有利トスルヤ

- 三 1 氷ノ厚サ十分ナラサルトキノ氷上通過ノ設備ヲ述ヘヨ
- 2 氷上通過ニ方リ人馬ノ滑走ヲ防ク設備ヲ述ヘヨ
- 四 獨立シテ設クル輕機關銃ノ立射用掩體ノ断面(一般ノ標準)ヲ圖示シ所要ノ寸度ヲ記入セヨ
- 四 廣キ射界ヲ要セサル場合ニ設クル輕機關銃ノ立射用掩體ノ断面(一般ノ標準)ヲ圖示シ所要ノ寸度ヲ記入セヨ

其他ニ關スル事項

(三)時間

一、測圖學

- 1 目算測圖及路上測圖ニ於テ使用スル器具ヲ記セ
- 2 眼目高及腕長ヲ利用スルニハ如何ナル要件ニ習熟シアルヘキヤヲ述ヘヨ
- 但シ之方決定ノ方法ヲ述フルニ及ハス
- 3 梯尺五萬分一ノ地形圖圖上ニ於テA村トB村トノ距離512.5ナルトキ兩村ノ地上ノ距離ハ何程カ

二、通信教範

筆記電話ノ通話要領ヲ述ヘヨ

三、軍制學

- 1 兵役法ノ根本主義ヲ述ヘヨ、但説明ヲ要セス
- 2 充員召集及臨時召集ノ差異ヲ述ヘヨ
- 3 中隊ノ分任官トハ如何

四、教育令

左記事項ヲ説明スヘシ

- 1 一般教育ノ目的

2 歩兵隊ニ於テ特業者ト稱スルハ如何ナルモノナリヤ

五、衛生學

- 1 主要ナル榮養素ノ名稱ヲ問フ
- 2 野外ニ於ケル給水ニ就テ知レル所ヲ記セ

國語作文

(二時間)

一、次ノ文章ヲ解釋セヨ

抑、此の桶狭間といふ處は、山のはさま深田の邊にて高み卑み打茂り、足場何れも切所なれば、逃行く者ども一入に途方を失ひ悉く討取られぬ。味方の若者ども追附き、首二つ三つ宛討取り、御前へ参りけるを、餘の首は清洲にて御實檢あるべしとて、義元の首ばかりを御一覽なされ、御馬の先に其の首を持たせ勝鬨を作つて、其の日の申の刻に、清洲を指して御凱陣あり。

二、左ノ文章中ノ漢字ニ讀ミガナヲツケヨ

大將夫妻の死は、宛も先帝大喪儀の最も莊嚴悲哀なる誄歌を合奏したるものなり。かくの如くして乃木家閨門、皆國事王事に斃れぬ。

三、次ノ語句ヲ説明セヨ

- (イ) 亂離塗炭の苦 (ロ) 一騎打の細道なり
- (ハ) 醉生夢死 (ニ) 蟲の聲しげくして雨に似たり
- 四、左ノ語ノ中ノ誤字ヲ正セ
- (イ) 電話 (ロ) 長持 (ハ) 柳行李 (ニ) 被服
- 五、次ノ文章中ノ片假名ニテ記シアル部分ヲ漢字ニ改メテ括弧内ニ書ケ
- 日本武士道のセイクワ ( ) はカンジョウ ( ) をハツロ ( ) するにあらずしてこれをアツサク ( ) するにありき。

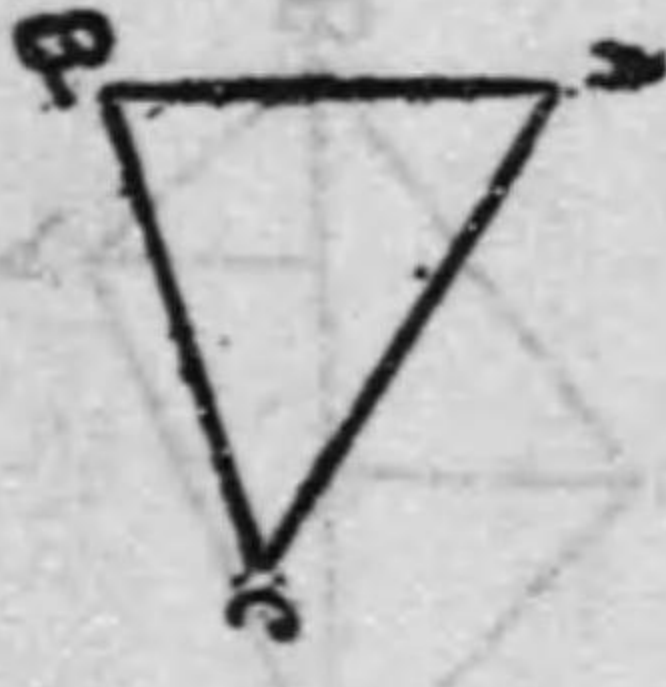
數

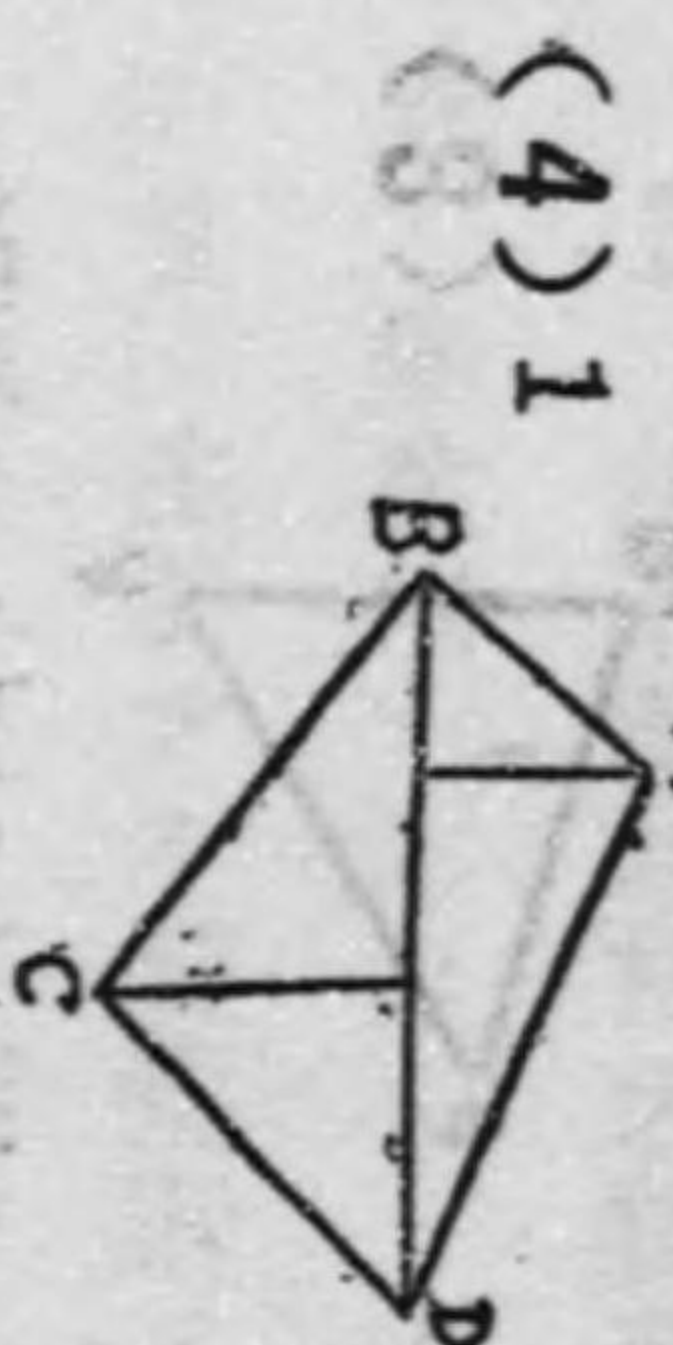
學

(二時間)

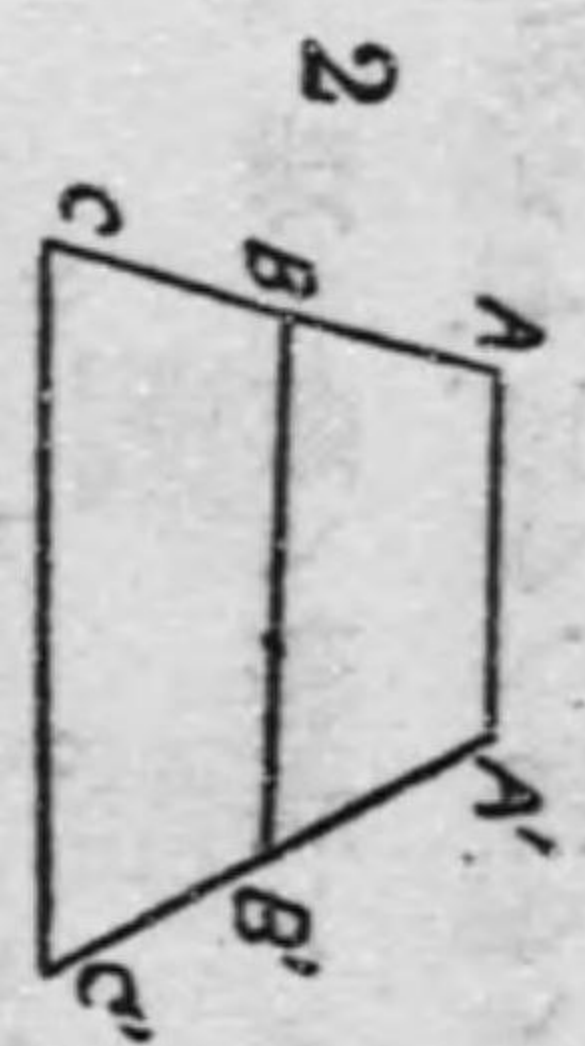
(1)  $\frac{x+1}{3} + \frac{3x-4}{5} = x-1$  ヲ解ケ

(2) 散兵壕ヲ構築スルニ歩兵15名, 工兵10名協力スルモ, 又歩兵18名, 工兵8名協力スルモ一日中ニ完成スト云フ, 然ラハ此作業ヲ歩兵ノミニテ一日中ニ完成センハ幾名ヲ使用スヘキカ

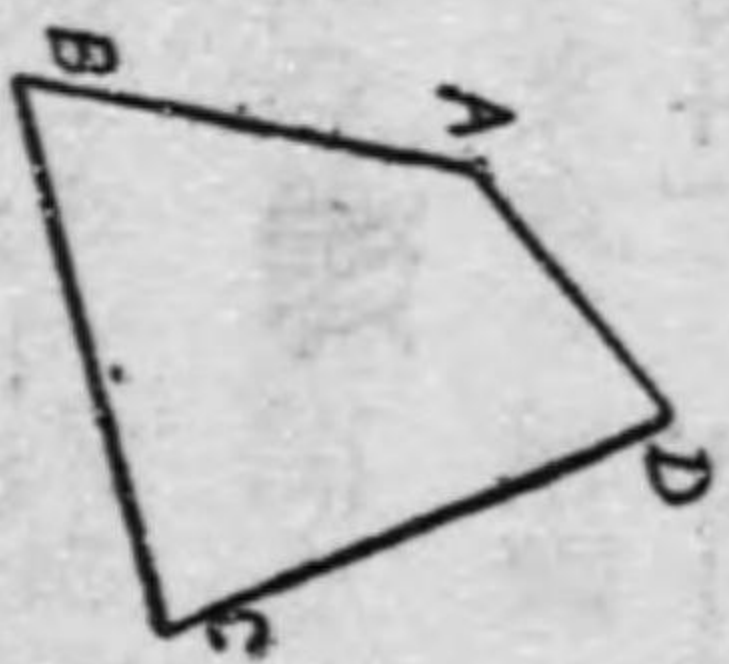
(3)   $\triangle ABC = \text{於テ } \hat{A} = 55^\circ = \text{シテ } \angle B \text{ ノ } \frac{2}{3} \text{ ナリト云フ, } B, C \text{ ノ度数如何}$



(4) 1 四角形ノ一ツノ對角線ハ22米ニシテ二ツノ角頂ヨリ此ノ對角線ニ下セル垂線  
カ7米ト9米ナルトキ其面積如何



(5) 2 左圖ニ於テ  $AA' \parallel BB' = CC'$   
 $AB = BC = 11, CC' = 21$  ナレハ  $BB'$  ノ長サ如何



(5) 1 與ヘラレタル四角形ABCDト等積ナル三角形ヲ作レ

### 物理化學

(二 時 間)

- (1) 電氣抵抗「オーム」ノ針金ニテ乾電池(1.5ボルト)ノ兩極ヲ連結スレバ何「アンペア」ノ電流ヲ通スルカ
- (2) 變壓器トハ如何ナル構造ヲ有シ又如何ナル場合ニ使用セララルモノナルヤ
- (3) 黃燐ノ性質及用途ヲ記セ

- (4) 化學兵器中
  - 窒息性瓦斯( )
  - 催淚性瓦斯( )
  - 癩爛性瓦斯( )
  - 噴嚏性瓦斯( )
  - 中毒性瓦斯( )

=就テ各一ツ宛( )内ニ瓦斯名或ハ化學名ヲ記入セヨ

- (5) 硝酸ノ製法ヲ記シ且ツ硝酸ヲ原料トセル火藥名ヲ三ツ擧ゲヨ

# 熊本教導學校第五期學生前期試驗問題

昭和七年六月

## 服 務 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(二 時間)

○●一、左記事項ニ就テ答ヘヨ

内務班長トシテ班員ノ行狀ヲ識別知悉スル爲注意スヘキ件ヲ左記區分ニ依リ述ヘヨ 但シ入隊前ノ行狀及入隊後ノ身上調査事項ハ顧慮スルニ及ハス

(イ) 營内(教練ヲ除ク)起居ノ間ニ於テ注意スヘキ重要事項十種ヲ列記セヨ

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

(ロ) 眞ニ兵ノ行狀ヲ知悉スル爲最大要訣ハ何カ

○●二、左記各項ニ就テ述ヘヨ 但シ聯隊及學校内務規定ハ顧慮スルニ及ハス

(イ) 内務班長トシテ班内初年兵中、母病氣ノ爲郷里ニ歸ラントスルモノ有リ左記情況ニ於テ如何ナル外出ヲ中隊長ニ願出シメントスルヤ

- 1 四十八時間以内ニ於テ事足ルモノ

2 日曜祭日二日連続スル時ニ遭遇セルモノ

3 又右兩場合ノ外出ニ於テ兵ハ如何ナル證ヲ營門通過ノ際歩哨ニ示スヘキヤ

(ロ) 中隊週番下士トシ、風紀衛兵ヨリ兵ニ面會人アルコトノ通報ヲ受ケタル場合ノ處置ヲ述ヘヨ

○三、第九中隊所屬内務班長トシ左記命令ヲ班員ニ傳達スル目的ヲ以テ下欄ニ所要ノ事項ヲ拔萃シ且ツ所要ノ注意ヲ附記スヘシ

五月九日 命令

一、 第二大隊長陸軍歩兵少佐 高島 進

右ハ中少尉現地戰術地理實查ノ爲五月十二日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ久留米附近ニ出張ヲ命ス

二、 昭和七年三月十日陸達第五一七號ヲ以テ陸軍服制中戰軍隊ノ裝具制式ニ關シ一部改正即日ヨリ施行ヲ命セラル

三、

陸軍歩兵中尉 東

光

免第一中隊附命第五中隊附

陸軍歩兵大尉

南 滿 吉

免聯隊附命第九中隊長

陸軍一等計手

石 野 計 次

給一等給

四、 來ル十二日午前九時ヨリ第九中隊長南滿吉ニ對スル命課布達式ヲ施行ス依テ左ノ通り心得ヘシ

1 聯隊ハ同日午前八時五十分迄ニ營庭恒例ノ位置ニ南面縱隊橫隊ノ一線ニ整列スヘシ

聯隊指揮官ハ歩兵中佐北川武トス

2 一般ニ乘馬者ハ下馬トシMG隊ハ小銃編成ニテ第三大隊ノ左翼ニ整列スヘシ

第一中隊ヨリ喇叭手一ヲ整列時迄ニ聯隊副官ノ許ニ出スヘシ

3 服裝ハ一般ニ略裝トス但シ第九中隊ノ者ハ儀式ノ場合ノ軍裝トシ下士官以下第二裝用被服ヲ

著用スヘシ

五、 前項命課布達式ノ爲中隊ハ同日午前八時四十分迄ニ中隊兵舍前ニ整列スヘシ

(下欄ノ餘白ハ省略)

○ 四、 風紀衛兵司令トシ日夕點呼ヨリ日朝點呼時限直前迄ニ於テ業務實施ノ要項ヲ列記セヨ

但シ聯隊及學校内務規定ハ顧慮スルニ及ハス

● 五、 左記事項ヲ問フ

(イ) 健康馬平靜時ニ於ケル脉搏數、呼吸數及體溫

(ロ) 切藁ノ寸度

(ハ) 切葉ノ良否判別要領

### 歩兵操典 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(二時間三十分)

- 一、散開セル小銃分隊ヲ區分シテ前進セシムル場合分隊長ノ處置如何
- 一、左記事項ニ就テ答ヘヨ
  - (イ) 馬匹ニ關スル機關銃隊幹部以下ノ心得
  - (ロ) 防禦ニ於ケル機關銃分隊長以下ノ覺悟
  - 二、散兵ノ歩度ノ選擇及一躍前進スヘキ距離ハ如何ナル著意ヲ以テ決定スヘキヤ
  - 二、(イ) 目標指示ノ基點ハ如何ニ選定スルヲ可トスルヤ
  - (ロ) 中距離以上ノ射撃ヲ行フ場合如何
  - (ハ) 攻撃ニ於ケル機關銃ノ目標選擇要領ヲ述ヘヨ
  - 三、輕機關銃分隊ノ攻撃及防禦ニ於テ敵ノ集中火ヲ避ケ損害ヲ減少スル爲ニハ如何ナル著意ヲ必要トスルヤ
  - 三、(イ) 防禦ニ於ケル機關銃ノ陣地選定中敵ノ集中火ヲ避クル爲ノ處置
  - (ロ) 機關銃、防禦ニ於テ射撃圖ヲ調製スル目的及記載スヘキ要件ヲ問フ

○四、各個教練ノ教育ニ於テ左記事項ヲ問フ

- (イ) 教練ヲシテ形式ニ陥ラス眞ニ戰鬥
- (ニ) 適スル如クスル爲緊要ナル事項
- (ロ) 熟練ヲ得シムルニハ如何ニスヘキヤ
- 四、A高地ニ在ル機關銃分隊ハ要圖ノ如ク射撃セシメ下スルニシテ
- 各目標ニ對スル射撃號令ヲ記スヘシ
- I II III IV V

### 陣中要務令

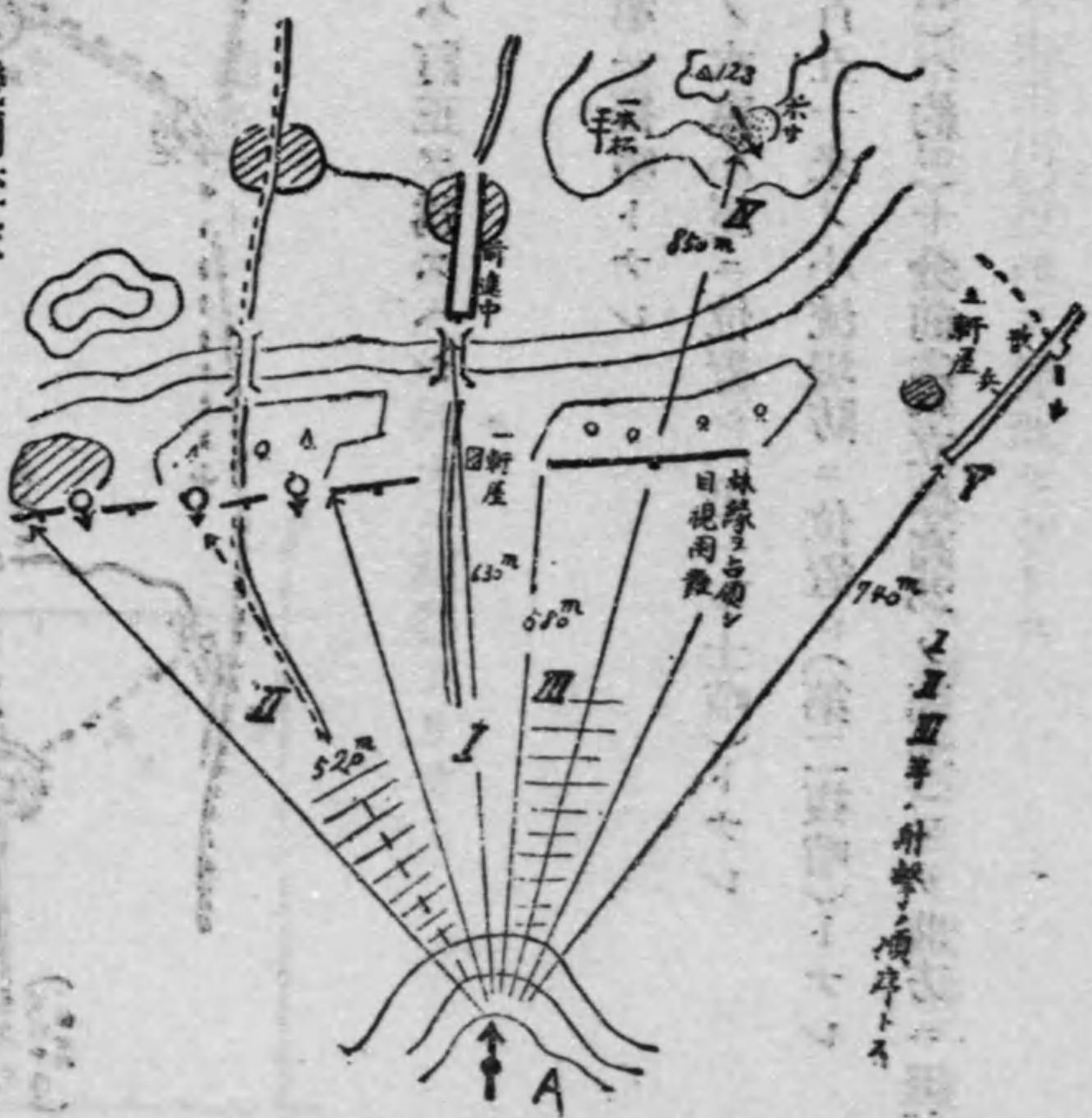
○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

●ハ機關銃隊

(二時間三十分)

- 一、旅次行軍中ノ機關銃隊、歩兵砲隊ノ將校以下ノ各幹部及銃(砲)手、彈藥小(分)隊ノ兵ハ行軍部隊ノ何レニ位置シテ行進スルヤ

○一、新田附近第二小隊警戒配備要圖 (五月九日午後四時ニ於ケル)



第二小哨長ハ五月九日午

後四時新田北端ニ於テ下

要圖ノ如ク警戒配備ヲ爲

セリ

之ヲ左ノ如ク命令文ニ記

述シタリトセハ如何ニ訂

正スルヤ

( ) 内ニ記述ノ順序ヲ示

ス數字ヲ、( ) 内ニ必要ナル字句ヲ記入シ又ハ訂正ヲ爲スヘシ

第二小哨命令 ( )

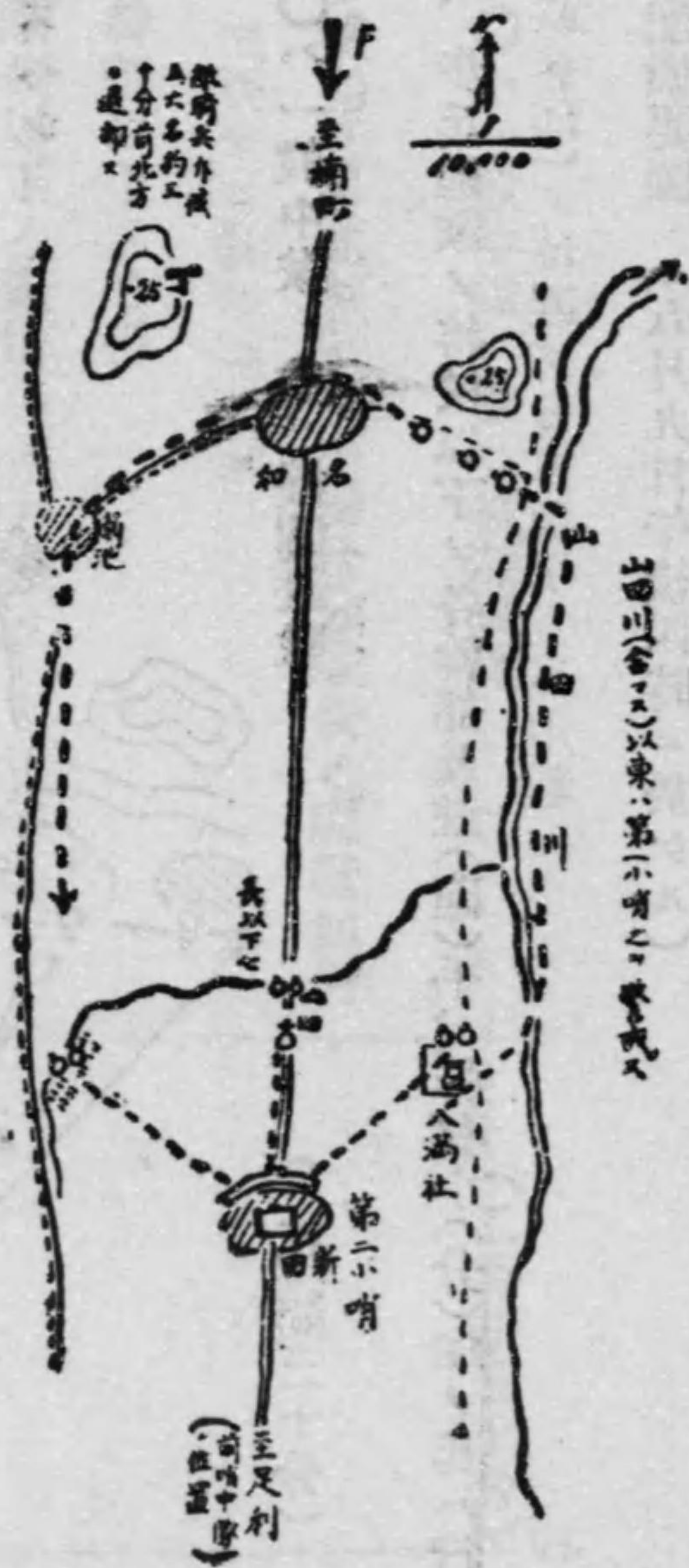
( ) 某上等兵ハ兵六名ヲ以テ八満社ニ位置シ第一複哨トナレ

( ) 某伍長ハ兵六名ヲ以テ新田北方約二百米ノ水車小屋ニ位置シ(第一下士哨)トナレ

( ) 某上等兵ハ兵六名ヲ以テ新田西北方約二百五十米ノ小流堤防ニ位置シ(第二複哨)トナレ

( ) 敵ノ主力ハ楠町ニ停止シアリ(敵五、六名)ハ約三十分前(獨立標高25ノ高地)ヨリ北方ニ退却セ

リ



( ) 當小隊ハ第二小哨トナリ現在地ニ位置シ(山田川)以西ヲ警戒セントス

( ) 某上等兵ハ兵三名ヲ率ヒ斥候トナリ(山田川左岸)ニ添ヒ前進シ名和、菊池附近ノ敵情ヲ搜索シ

約一時間ノ後小哨ニ歸還スヘシ

( ) 小哨長ハ特別守則ヲ付與ノ爲第一複哨ヨリ巡視ス

○ニ、(イ) 歩哨ノ位置ニ關シ次ノ事項ニツキ述ヘヨ

1 位置ノ高低ニ依ル利害

2 晝夜位置ヲ變更スルコトハ往々必要ナリ其理由如何又如何ナル利益アリヤ

(ロ) 次ノ事項ハ誰カ之ヲ命スルヤ

1 歩哨ノ位置ニ工事ヲ施スヲ要スル時之ヲ施スコト

2 歩哨ノ交代法

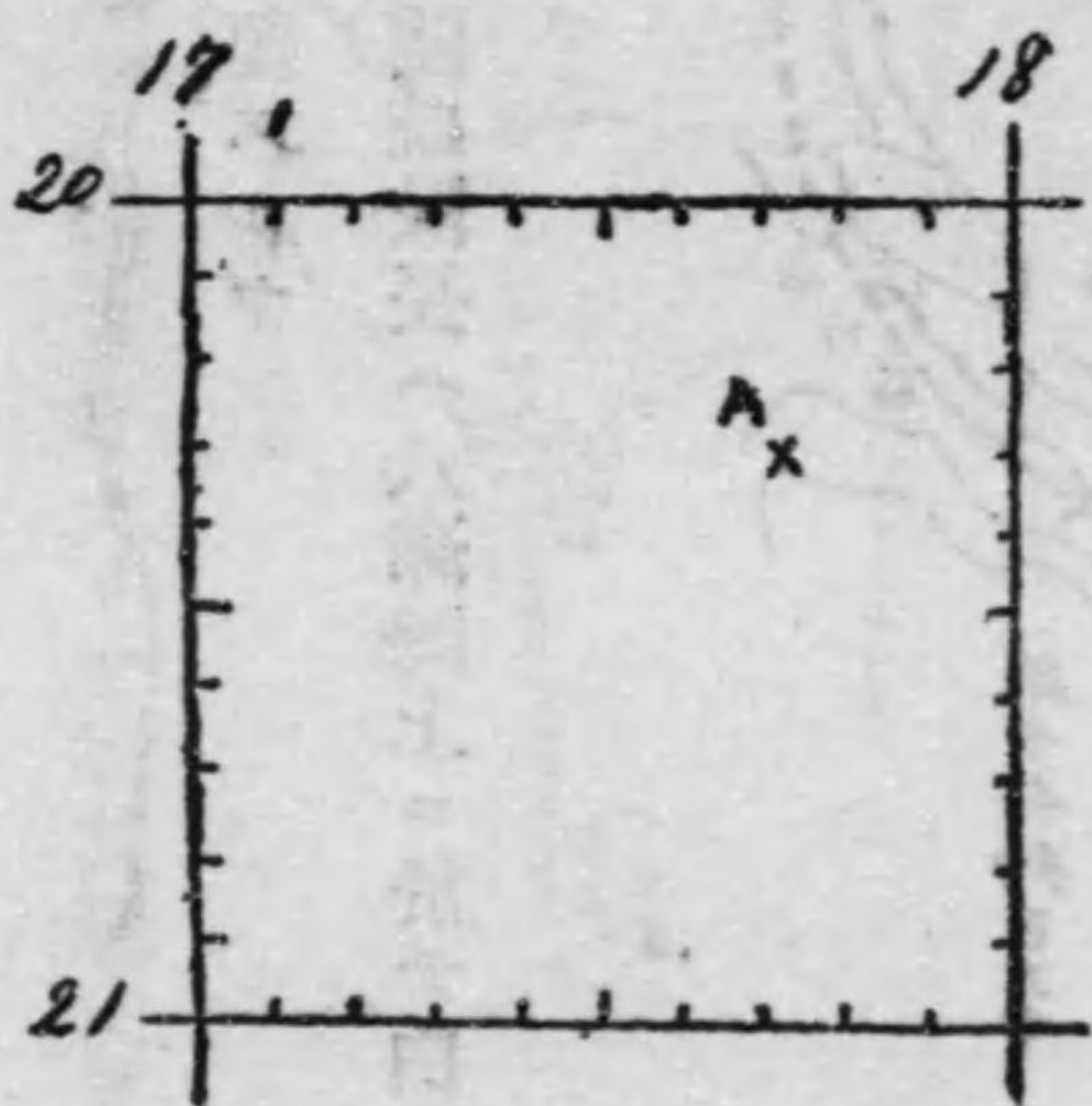
3 小哨ヲ掩蔽下ニ入ルルヤ否ヤニ關スルコト

●ニ、(イ) 文章記述ニ方リ受信者ノ誤解ヲ減少スル爲ニハ記

述後如何ナル注意ヲ要スルヤ

(ロ) 次ノ座標ニ依リA地點(X印)ノ位置ヲ日本數字及算用數

字ニテ示セ





○三、旅次行軍中ノ步兵大隊ニ於テ步兵中隊ニ屬スル將校以下ノ各幹部、看護兵及喇叭手ハ中隊ノ何レニ位置シテ行進スルヤ

○四、(イ) 電話ヲ以テ通報ヲ受クル際受話者ハ如何ニ動作スルヲ要スルヤ

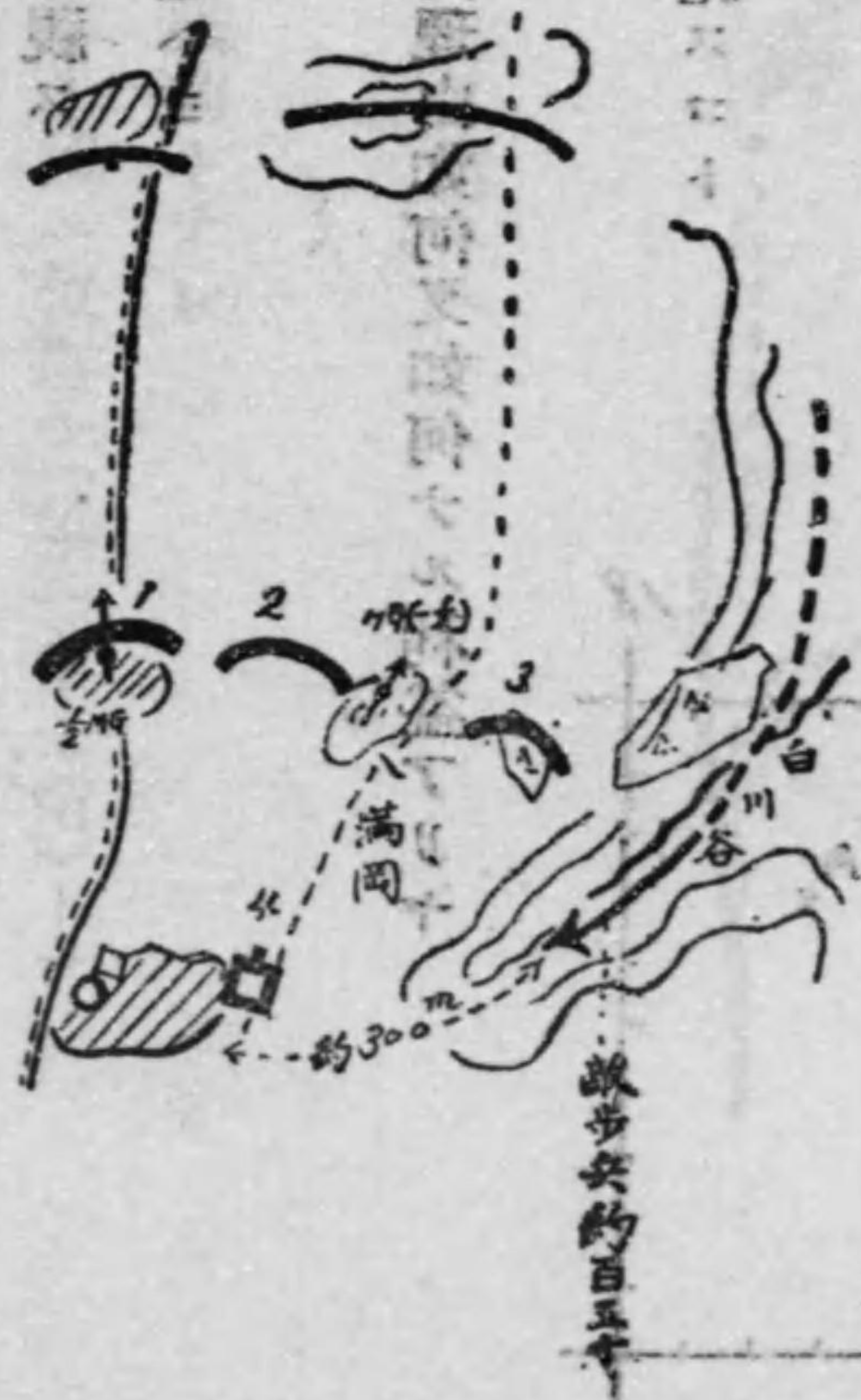
(ロ) 步兵第一聯隊第一大隊ハ要圖ノ如ク陣地ヲ占領シアリシカ機關銃隊長ハ八滿岡上ニ於テ百川谷方向ヨリ敵歩兵ヲ急襲シ來ルヲ發見シ他ノ指揮官ニ連絡セントス

次ノ事項ニツキ解答スベシ

(一) 機關銃隊長ヨリ通報(又ハ報告)セントスル指揮官ノ順序

二、右通報(又ハ報告)ニ敵情以外ニ附記シ

○五、(イ) 隊號布板、標示幕ノ用途ヲ述ベ



(ロ) 隊號布板ヲ有セザル時飛行機ヨリ通信筒ヲ投下スルノ形勢ヲ示シタル場合地上部隊ハ如何ニスルヤ

●三、對空監視哨ニ於テ次ノ事項ニツキ述ヘヨ

(イ) 人員

(ロ) 右人員ノ區畧

(ハ) 特別守則トシテ與ヘラルル事項及其順序

### 射擊教範兵器

○ハ一般中隊

●ハ機關銃隊

(二)時間三十分

○一、輕機關銃射擊ニ於ケル活塞後退ノ不足ノ原因並活塞後退不足ニ起因スル主ナル故障ヲ問フ

●一、機關銃觀測教育ニ就テ左記事項ヲ問フ

(イ) 觀測教育ノ目的

(ロ) 初年兵ニ對スル觀測教育ノ要領

○二、左記事項ヲ問フ

(イ) 一密位トハ如何

(ロ) 据銃ノ場合ノ遊標幅ハ幾密位ニ相當スルカ

(ハ) 小銃射擊ノ射彈觀測ニ於テ如何ニ觀測シ得タル場合ニ其射擊ノ狀態良好ナリヤ竝其理由ヲ記

●二 述セヨ

● 二、機關銃射撃ニ於ケル故障發生ノ主ナル原因竝之カ對策ニ就テ記述セヨ

○ 三、擲彈筒ニ就テ次ノ件ヲ問フ

(イ) 回轉筒ノ任務

(ロ) 下方分畫ノ用途竝分畫數

(ハ) 上方分畫ノ用途竝分畫數

● 三、左ノ狀況ノ下ニ垂球規尺ニ依リ射撃ヲ實施シ敵ヲ急襲セントス  
分隊長竝三番ノ動作ヲ問フ

射距離 八百米

目標 輕機關銃

地形 適當ナル遮蔽物ヲ有シ垂球規尺ノ使用ニ便ナリ

○ 四、十一年式輕機關銃ヲ以テ彈丸ヲ發射セル場合遊底ハ常ニ彈丸銃口ヲ離レタル後始メテ開カレ  
火藥瓦斯ヲシテ藥室ヨリ後方ニ噴出セシメサル理由ヲ問フ

● 四、三年式輕機關銃ノ左記各部ノ用途ニ就テ知ル所ヲ記セ

(イ) 活塞駐子 (ロ) 規整子

● 五、三年式機關銃ヲ以テ彈丸ヲ發射セル場合遊底ハ常ニ彈丸銃口ヲ離レタル後始メテ開カレ火藥

瓦斯ヲシテ藥室ヨリ後方ニ噴出セシメサル理由ヲ問フ

### 作業 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(二) 時間

○ 一、(イ) 作業ヲ迅速ニ竣工スヘキ要訣ヲ述ヘヨ

(ロ) 急速ニ既設ノ散兵壕ヲ利用シテ輕機關銃ノ射撃ヲ行フ爲ニハ如何ニ設備スルヤ

● 一、(イ) 機關銃ノ廣キ射界ヲ要セサル場合ニ設クル立射用掩體ニ於テ左ノコトヲ答ヘヨ

1 銃座ノ兩側ニ底幅四〇糎ノ壕ヲ掘開スル理由

2 銃座ノ前方ニ幅三〇糎ノ自然地ヲ存置スル理由

(ロ) 乾燥セル細砂ノ土地ニ構築セル機關銃掩體ノ爲其銃口部ニハ如何ナル設備ヲ行フヤ其方法及理由如何

(ハ) 既設ノ壕ヲ利用シ平射歩兵砲ノ掩體ヲ設備スルニ方リ前、後脚ノ位置ハ如何ニ設備スルヲ要スルヤ

○ 二、鐵條網ニ就テ左ノコトヲ答ヘヨ

(イ) 鐵條網ヲ構築スルニハ通常如何ナル作業班ヲ設ケ又前後縁ノ何レノ部分ヨリ逐次ニ作業スルヤ

(口) 土地凍結シ植杭困難ナルカ或ハ敵前ニ於テ隱密ニ植杭ヲ要スルトキノ植杭方法如何

(ハ) 杭ノ配置及杭ノ高サニ就テ注意スヘキ事項如何

● 二、(イ) 監視所及觀測所ハ何ノ爲ニ設クルヤ

(口) 左ノ事項ニ就キ答ヘヨ

(1) 障礙物ノ目的

2 鐵條網ハ何故ニ多ク使用セラルルヤ

(ハ) 陣地内ニ設クル彈藥置場ハ如何ナル位置ニ設備スルヤ

### 其他ニ關スル事項

(三) 時間

#### 一、體操教範

基本體操ニ於ケル運動ノ速度ハ如何ナルコトヲ顧慮シ如何ナル要領ニ依リ定ムヘキヤ

#### 二、劍術教範

(イ) 擊突奏功ノ要訣ヲ述ヘヨ

(口) 習技者擊突ヲ行フニ方リ教官トノ距離小ナルトキ又ハ距離大ナルトキハ如何ナル害アリヤ

#### 三、測圖學

(イ) 百米ニ於テ七〇複歩ナル場合一萬分一ノ梯尺ヲ圖示セヨ

(口) 眞等距離竝圖上等距離ヲ説明セヨ

#### 四、通信教範

手旗通信及單旗通信ニ於ケル通信距離ノ標準ヲ記セ

#### 五、衛生學

左記事項ヲ問フ

(イ) 繻帶包ノ内容品ヲ列記セヨ

(口) 平時ニ於ケル歩兵一人ノ一日平均必要溫量(カロリー)ヲ問フ

六、戰鬪用毒瓦斯患者ノ救急處置ヲ問フ

### 國語作文

(二) 時間三十分

一、左ノ文ヲ二ツツ組ミ合セテ意味ノワカル如キ短文トナセ

(イ) 我が國民は善を好む

(口) 我が國民は正に就く

(ハ) 我が國民は強を挫く

(ニ) 我が國民は曲を嫌ふ

(ホ) 我が國民は邪を排す

(ヘ) 我が國民は弱を扶く

(ト) 我が國民は惡を憎む

(チ) 我が國民は直を愛す

(一) (二) (三) (四)

二、「明治神宮」ノ文章ノ作者カ參拜シタル季節ハイツカ且ツ其ノ季節ヲ證スルニ足ルヘキ同文章中ノ材料ヲ列擧スヘシ

三、次ノ御製ヲ謹解セヨ

國といふ國の鑑となるはかりみかけますらを大和魂

四、左ノ熟語ニ讀ミ假名ヲ施セ

黒白 塗炭 蠹賊 綽々

五、次ノ語ヲソレソレ漢字ニテ括弧内ニ書ケ

ギテツ( )

フトン( )

コクウ( )

シダ( )

### 數 學

(二時間三十分)

(1)  $(7\frac{4}{11} + 2\frac{1}{4} - 8\frac{7}{22}) + (1\frac{1}{4} - \frac{10}{11})$  ヲ計算セヨ

(2)  $\begin{cases} 15:16 \\ 24:a \end{cases} = 105:84$  ヲリノ値ヲ求メヨ

(3) 音樂會ニ於テ入場券1圓50錢ノモノヲ1割引ニテ賣リ、賣上高1620圓アリタリト云フ、入場券ノ枚數ヲ問フ

(4)  $(-12) \div (+4) + (-2) \times (-3) - (+5)$  ヲ計算セヨ

(5)  $4x^2 - 3x + 1 + (x^2 - 4x - 3) - (2x^2 - 5x - 2)$  ヲ計算セヨ

(6) 355216 ノ平方根ヲ求ム

(7) 或人甲地ヨリ乙地ニ定時刻ヲ行カントスルニ毎時4軒ノ速サナレハ乙地ヨリ2軒手前ニテ定刻トナリ、又毎時4, 8軒ノ速サナレハ定刻ヨリ30分早ク乙地ニ到着スト云フ、甲乙兩地間ノ距離ハ何程ナルカ

### 物 理 化 學

(二 時 間)

(1) 水壓機ノ原理、構造ト作用、用途ニ就キテ略述セヨ

(2) 氣壓トハ毎平方糎ニ何瓦ツツノ重サナルカ

(3) フリasmus入リノ望遠鏡ノ作用ト特長トヲ記セ

(4) 光波ト電波ト音波トノ差異ニ就キ簡單ニ述フヘシ

(5) 次ノ器具ニ就キ知レルトコロヲ説明セヨ

- (イ) 電燈
- (ロ) 乾電池
- (ハ) ゼンマイ秤
- (ニ) 虫眼鏡(凸レンズ)
- (ホ) 受話機(レシーバー)

### 熊本第五期後期試験問題

昭和七年九月

#### 服 務 ○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(一時間半)

- 一、有事ノ日一令ノ下欣然トシテ部下ヲ死地ニ就カシムル爲ニハ上官トシテ又内務班長トシテ特ニ平素如何ニ部下ニ對スヘキヤ
- (ニイ) 風紀衛兵服務者ノ覺悟ヲ述ヘヨ
- (ロ) 某伍長ハ司令以下十六名ヨリ成ル衛戍衛兵司令トシテ服務中(四名ハ立哨中、衛舎掛及哨兵一ハ巡察中)衛兵所附近ノ空家ニ遁ケ込ミタル窃盜犯人逮捕ノ爲憲兵ヨリ成ルヘク多數至急援助アリ度シトノ請求ヲ受ケ要求ニ應シテ援助スルニ決ス司令ノ處置如何
- (ニイ) 馬ハ如何ナル心情トキ左ノ表情ヲナスヤ
  - 1 耳ヲ鋭敏ニ動カストキ
  - 2 耳ヲ後方ニ伏ストキ
  - 3 鼻翼ヲ開張シ荒キ呼吸ヲ爲ストキ
  - 4 前搔キヲナストキ
- (ロ) 左ノ習癖ノ原因及其取扱ニ關シ特ニ注意スヘキ事項ヲ述ヘヨ

1 獸癬 2 咬癬

- 三(イ) 鋼ノ素地部ニ生シタル錆ハ如何ニシテ除去スルヤ及之ニ就テ特ニ注意スヘキ件ヲ問フ
- (ロ) 寒氣甚シク兵器草具ノ表面ニ脂油滲出シテ結晶狀ヲ呈シタルトキハ如何ニ處置スルヤ
- (ハ) 泥土ノ附着シタル絨製品ハ如何ニ手入スルヤ
- (ニ) 雨ニテ潤ヒタル軍靴ハ如何ニ手入スルヤ
- 四(イ) 内務班長カ初年兵入營當初内務班ニ於テ班員ト臥寢ヲ共ニスルトキハ如何ナル利益アリ
- (ロ) 班員某ハ明日曜日實家ニ歸リ晝食不要ナル旨申出テタリ内務班長トシテ處置如何
- (ハ) 左記場合ニ於テ週番下士ハ特ニ何ニ注意シテ巡察スルヤ
- 一、風烈シキ日
- 二、炎熱酷シキ夜半
- (二) 某中隊週番下士諸官退營後某兵ヲ公務外出セシメントス特務曹長不在ナルモ數分前中隊附將校宅ヨリ歸營セル傳令ノ返納セル公用證ヲ所持シアリ、該公用證ハ週番下士カ特務曹長ヨリ受領シテ交付セルモノナリ週番下士ノ處置如何

步兵操典、戰鬥綱要 ○八一 般中隊 ●ハ機關銃隊 (三) 時間

- 一、中隊防禦ニ於ケル監視部隊ニ就テ左記事項ヲ問フ
- (イ) 任務 (ロ) 撤退ノ時機ハ誰カ示スカ (ハ) 動作
- 一、左記要圖ノ狀況ニ於テ機關銃ノ射撃スヘキ目標(三)ヲ其順序ニ記シ且各目標ニ對スル射法並射法決定ノ理由ヲ附記スヘシ



射撃順序	射法	射法選定ノ理由

- 二、左記事項ヲ問フ
- (イ) 攻撃ニ於ケル小銃分隊長ノ射撃目標ノ指示法
- (ロ) 射撃目標ノ指示ニ當リ分隊長トシテ特ニ注意スヘキ要件

- 二、機關銃ノ夜間射撃ノ設備ニ於テ特ニ注意スヘキ要件ヲ記セヨ
- 三、防禦ニ於ケル輕機關銃分隊ノ陣地占領ニ就テ左記事項ヲ問フ
  - (イ) 別ニ射撃位置ヲ設クルヲ必要トスル理由
  - (ロ) 彈藥手ノ配置ニ於テ如何ナル顧慮ヲ必要トスルヤ
- 三、左記事項ヲ問フ
  - (イ) 攻撃ニ於テ機關銃ノ陣地變換ヲ必要トスル場合
  - (ロ) 陣地變換ニ際シ特ニ注意スヘキ事項
- 四、夜間攻撃ニ於テ我企圖ヲ秘匿スル爲中隊長以下各幹部ノ特ニ著意スヘキ事項ヲ記セヨ
- 四、平射砲射撃ニ於テ左記事項ニ就テ知ル所ヲ記セ
  - (イ) 射撃中不發アリタル場合ノ分隊長以下ノ動作
  - (ロ) 射撃ニ於テ特ニ習熟セシムルヲ要スル事項
- 五、突撃準備ニ於テ小隊長ハ部下分隊並擲彈筒ヲ如何ニ部署スルヤ
- 五、曲射砲射撃間ニ於ケル分隊長ノ責務ヲ問フ

陣中要務令 ○八一 一般中隊 ●ハ機關銃隊

○●一、夜行軍ニ於テ部隊間ノ連絡ヲ失セサル爲ノ處置ヲ述ヘヨ

○●二、某斥候ハ十月八日午前十時二十五分標高二七、六高地ニ於テ別紙要圖ノ如キ情況ヲ發見シ直

チニ左記ノ如ク報告セリ

左記報告文ニ於テ文書記述上不良ナル個所アラハ之ヲ訂正スヘシ

報 告 於△二七、六高地  
十月八日午前十時二十五分

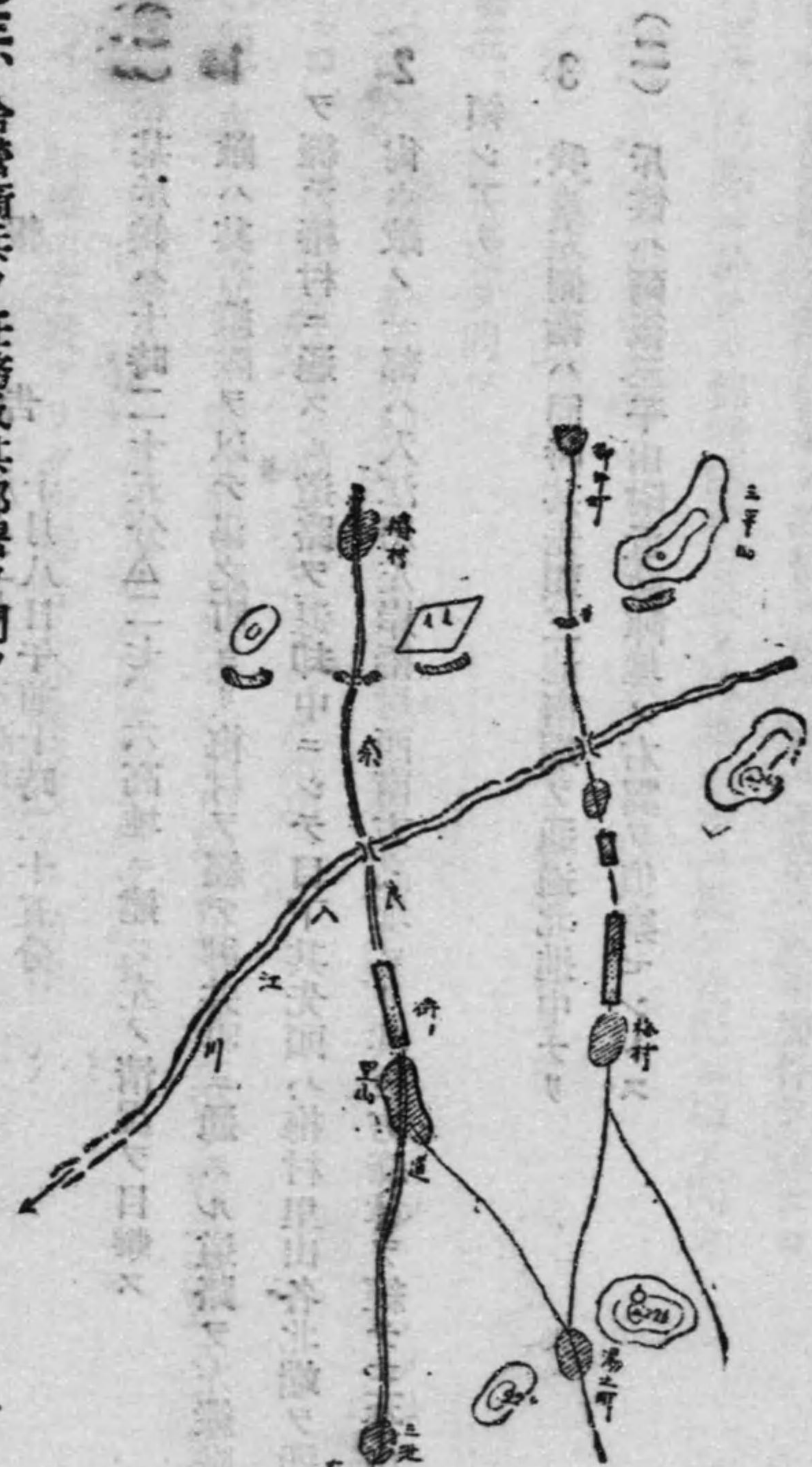
(一) 某斥候ハ十時二十五分△二七、六高地ニ達シ左ノ情況ヲ目撃ス

1 敵ハ其右縱隊ヲ以テ湯之町ヨリ梅村ヲ經テ御井町ニ通スル道路ヲ左縱隊ヲ以テ三池ヨリ里山ヲ經テ椿村ニ通スル道路ヲ退却中ニシテ目下其先頭ハ梅村里山各北端ヲ通過中ナリ

2 尙ホ敵ノ一部ハ入江川左岸椿村西南方高地ヨリ其東方森林ヲ經テ三平山ニ互ル間ニ陣地ヲ占領シアリ

3 我カ左側衛ハ同時其先頭三池南端ヲ通過北進中ナリ

(二) 斥候ハ爾後三平山附近敵陣地ノ右翼ヲ偵察セントス



- 三、舍營衛兵ノ任務及其部署ヲ問フ
- 三、舍營間ニ於ケル各種警報ノアリタル時ノ機關銃隊、歩兵砲隊下士官以下ノ動作ヲ述ヘヨ
- 四、携帶口糧ニ就キ左ノ件ヲ問フ
  - (イ) 定量
  - (ロ) 使用スル場合
  - (ハ) 携行法
- 四、亟塞ノ際ノ行軍ニ於ケル凍死凍傷豫防法ヲ問フ

- 五、小哨ニ於ケル左ノ事項ヲ問フ
  - (イ) 又銃ヲナス時機如何
  - (ハ) 背囊ハ誰ノ命ニ依リ卸スカ
  - (ホ) 指揮官及兵力

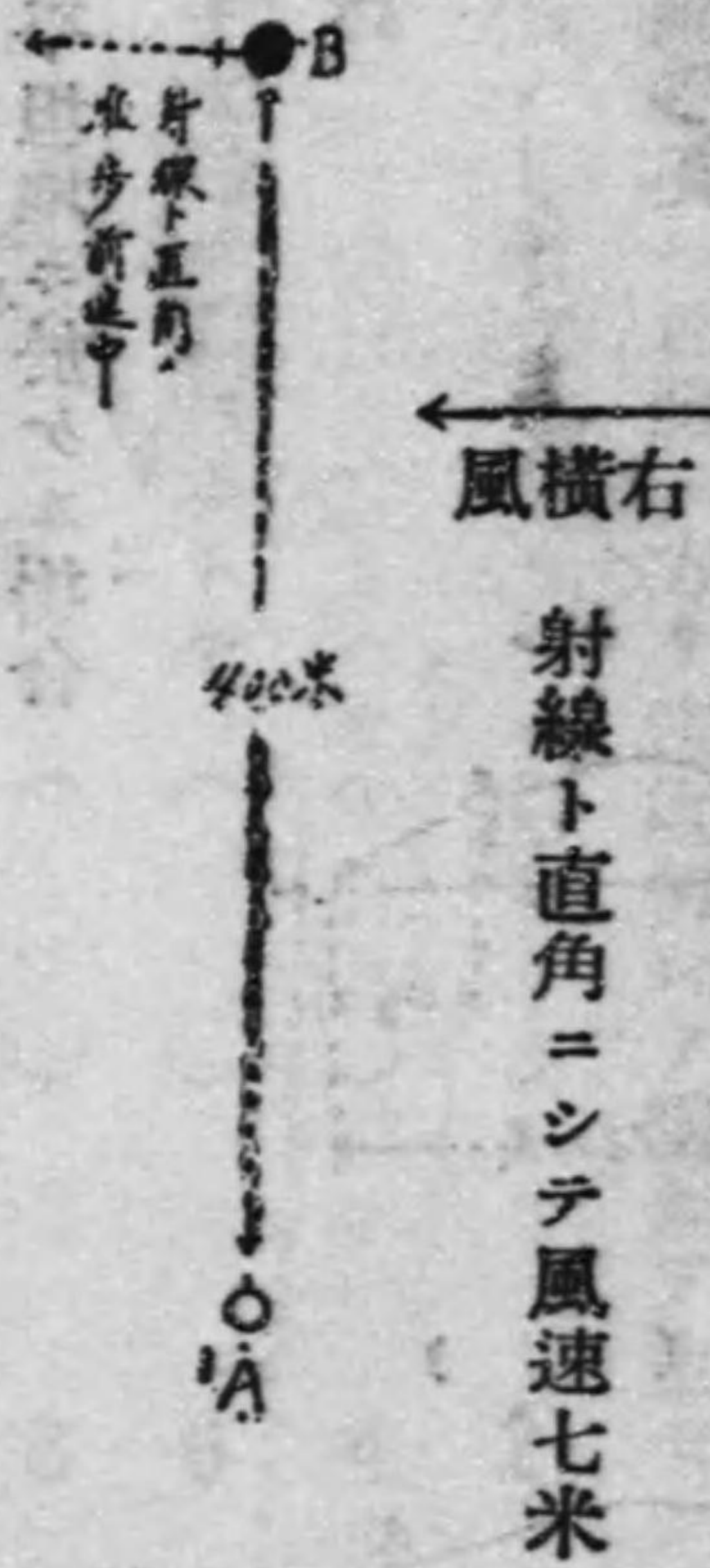
- (ロ) 戦備ノ度ハ誰レカ規定スルヤ
- (ニ) 銃前哨ノ數如何

### 射撃兵器

○ハ一般中隊 ●ハ機關銃隊

(二時間半)

○一、A上等兵ハB徒歩將校ノ狙撃ヲ命セラレタリ當時ノ狀況左ノ如シ



A上等兵ノ小銃ハ四百米ニ於ケル照準點右三十種ナリ

A上等兵ハ何處ヲ照準セントスルヤ

備考

1 横風一米ニヨル方向偏差量ハ射距離四百米ナルトキ八十種ナリ

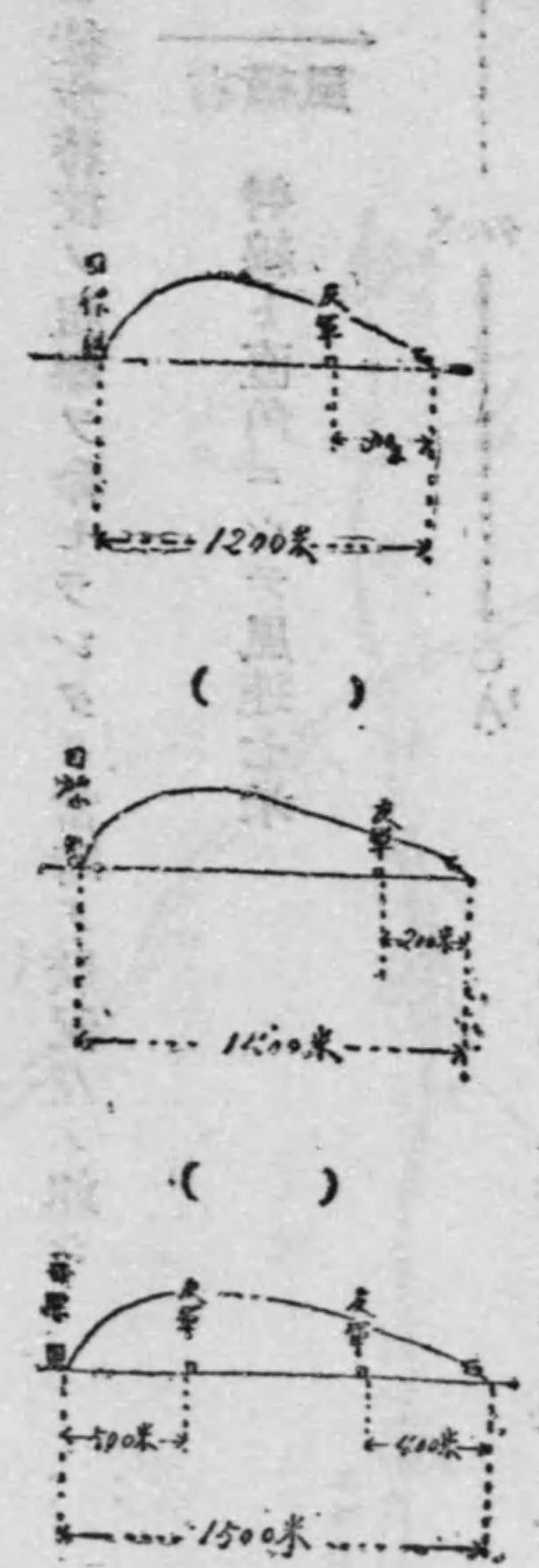
熊本 第五期 後期



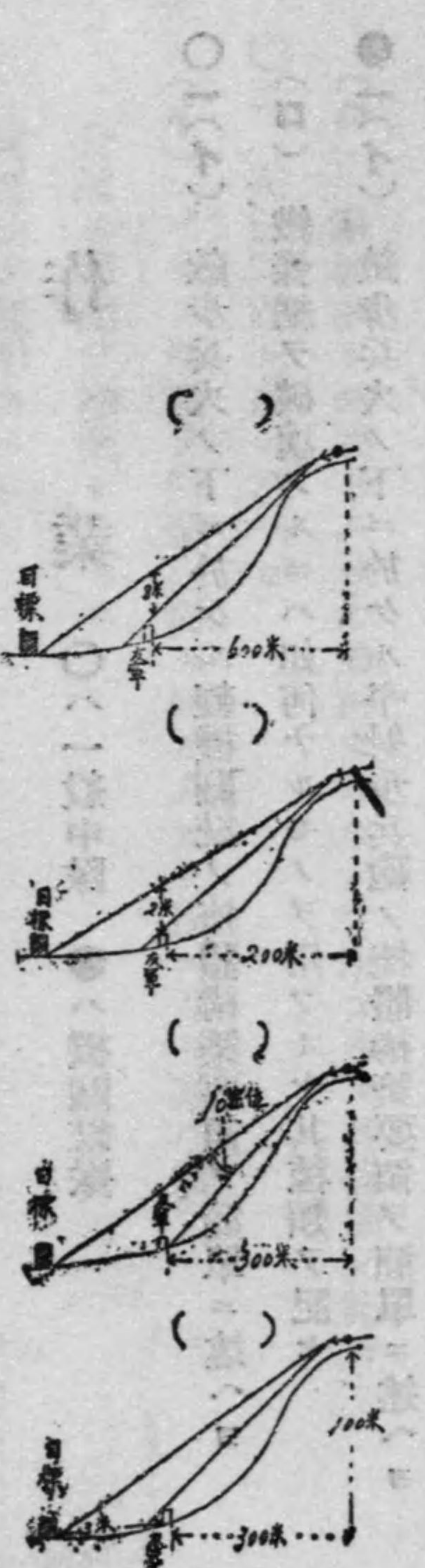
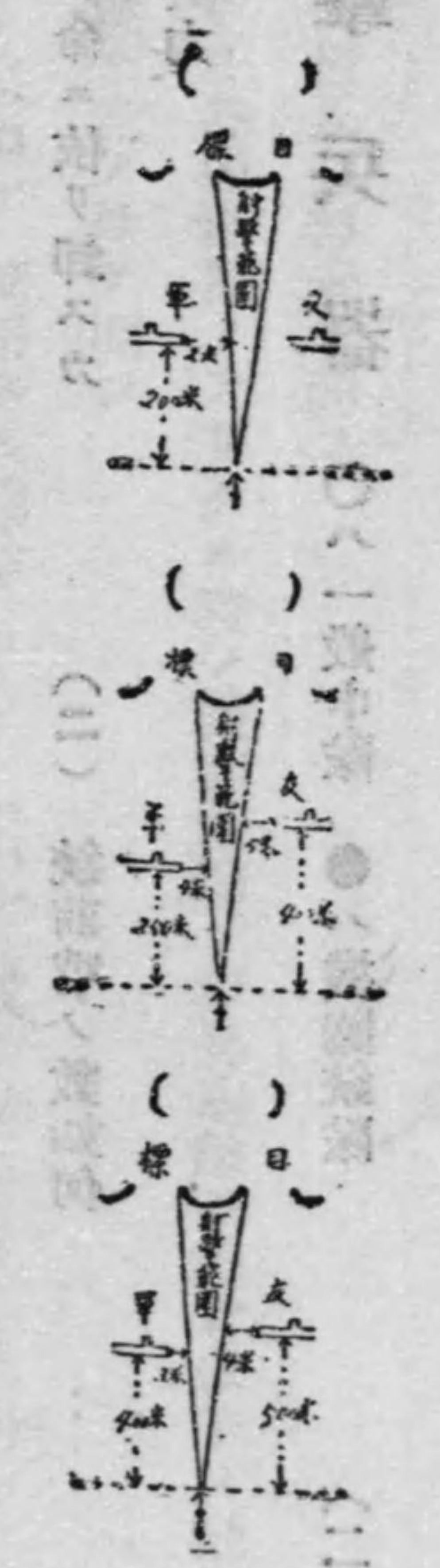
2 定偏ハ顧慮スルヲ要セス

●一、左記三年式機關銃ノ各超過、間隙射撃ハ可能ナリヤ否ヤ 其可否ヲ( )内ニ記入シ且否ノモノハ其ノ不可ナル個所ニ横線ヲ畫スヘシ

(イ) 平坦地ニ於ケル場合



(ロ) 傾斜地ノ場合但シ友軍ハ高サ一米ナリ



○二、小銃各個戰鬪射撃ノ目的及主要ナル演練事項ヲ述ヘヨ

●二、歩兵砲榴彈ノ效力ニ就テ述ヘヨ

○三、左記各項ハ目測ニ方リ遠近何レノ誤差ヲ生セシメ易キヤ各( )内ニ記入スヘシ

1 炎熱ノトキ ( ) 2 天候晴朗ナルトキ ( )

3 水面 ( ) 4 曉暮 ( )

5 測手太陽ニ面スルトキ ( ) 6 遠隔セル明瞭ナル獨立物體 ( )

7 狭長ナル土地 ( ) 8 積雪地 ( )

9 測手低キ姿勢ニアルトキ ( ) 10 實戦ノ場合 ( )

●三、飛行機射撃ヲ命セラレタル某機關銃ハ目視ニヨリ敵飛行機ノ標識及翼柱ヲ認メ機ノ各部ヲ識別シ得タリ照尺及照準點ヲ如何ニ選定シ射撃セントスルヤ

○●四、左圖實包各部ノ名稱ヲ點線ノ傍ニ記入シ其效用ヲ記セ



○五、十一年式輕機關銃ニ就キ左ノ事項ニ答ヘヨ

(イ) 規整子ノ效用

(ロ) 規整子分畫適當ナラサル銃ヲ射撃セハ如何ナル害アリヤ

●五、三年式機關銃ニ就キ左ノ事項ヲ答ヘヨ

(イ) 規整子ノ效用

(ロ) 規整子分畫適當ナラサル銃ヲ射撃セハ如何ナル害アリヤ

●六、歩兵砲射撃ニ於テ觀測ヲ誤ラサル爲特ニ注意スヘキ事項ヲ列舉セヨ

### 作業

○ハ一般中隊

●ハ機關銃隊

(一 間 時)

○二(イ) 敵歩兵火ノ下ニ於ケル輕機關銃ノ掩體構築要領ヲ簡單ニ述ヘヨ

(ロ) 鐵條網ヲ破壊スルニハ如何ナルモノヲ用フルヤ其種類ヲ記セ

●一(イ) 敵歩兵火ノ下ニ於ケル平射歩兵砲ノ掩體構築要領ヲ簡單ニ述ヘヨ

(ロ) 鐵條網ヲ破壊スルニハ如何ナルモノヲ用フルヤ其種類ヲ記セ

○二、左記問題ニ就テ答ヘヨ

(イ) (イロ)ノ地區ヲ射撃シ得ル如クAヨリBニ互リ某小銃

分隊ノ陣地ヲ構築セントス

其經始ヲ圖示スヘシ

(ロ) 要圖(下)ノ如ク鐵條網ヲ構築スルニ方リA點ヲ經テ

構築スルモノハB點ヲ經テ構築スルモノニ對シ如何ナル

利害アリヤヲ述ヘヨ

●三、左記問題ニ就テ答ヘヨ

(イ) 機關銃隊ハA位置ニ

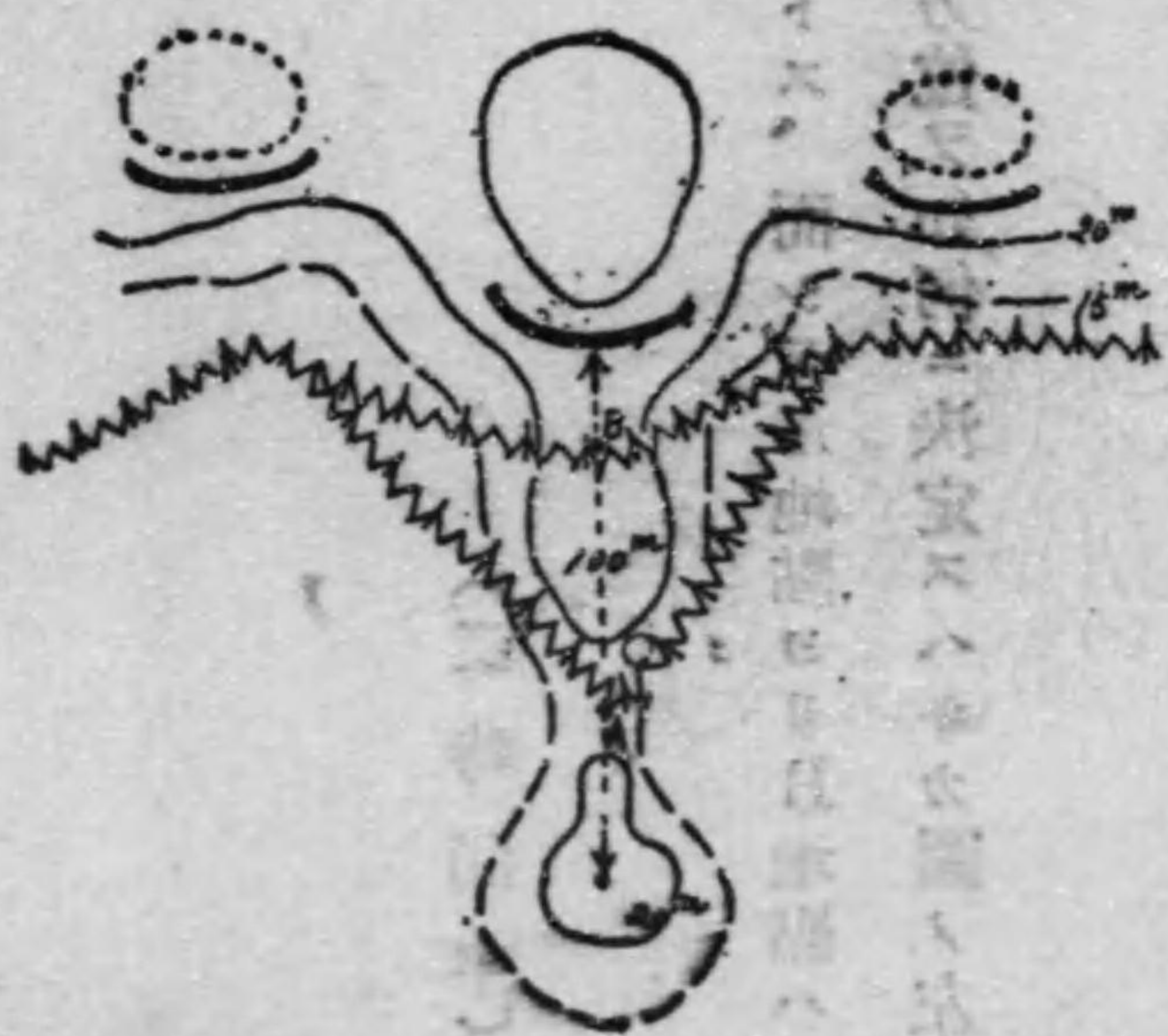
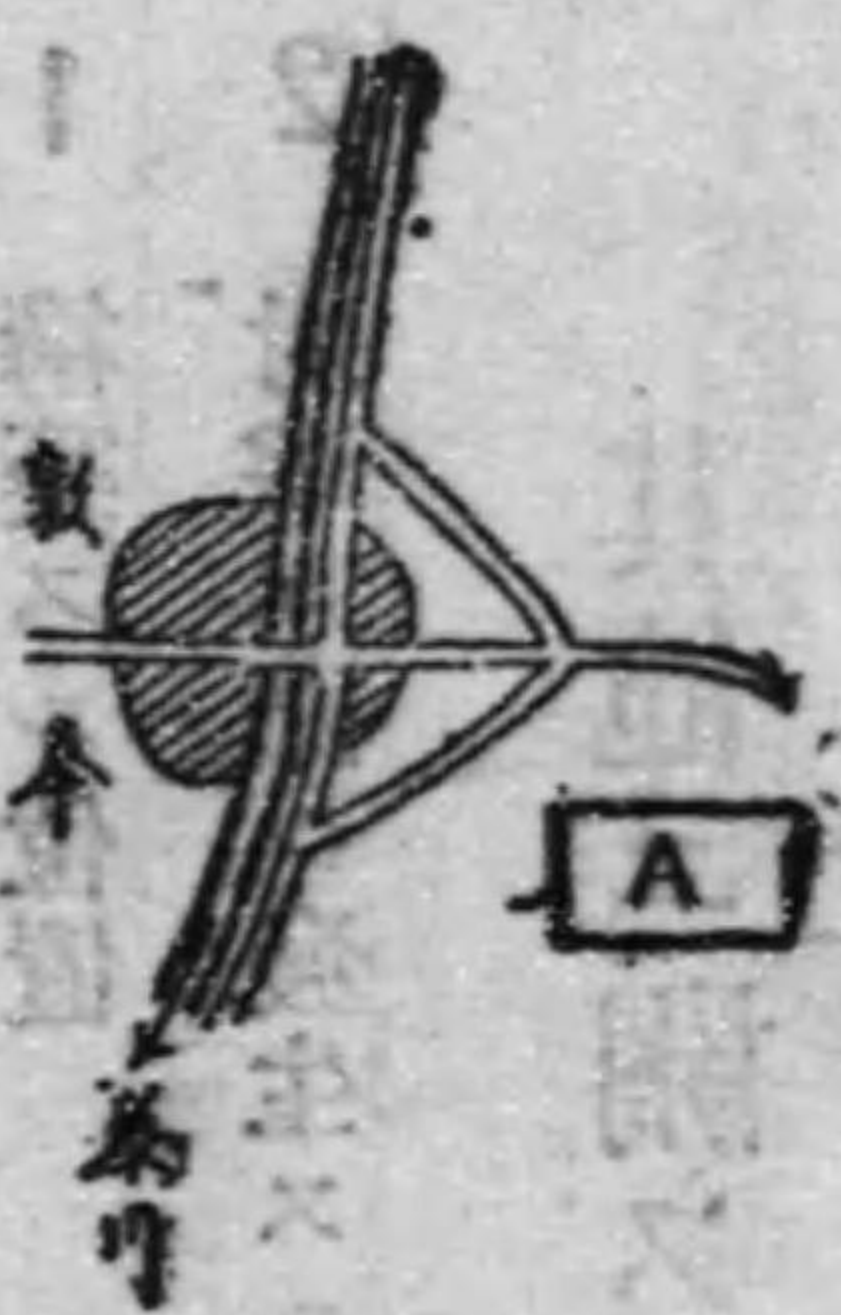
露營シ敦奉ニハ井戸ナク

泰川ヲ飲用ノ汲水場、飲

馬場、洗濯場ニ利用シ得

如何ナル位置ニ是等ヲ設

タルヤヲ記入スヘシ



(ロ) 機關銃用掩蔽部ニ就テ左ノ事ヲ答ヘヨ

1 構築スル位置

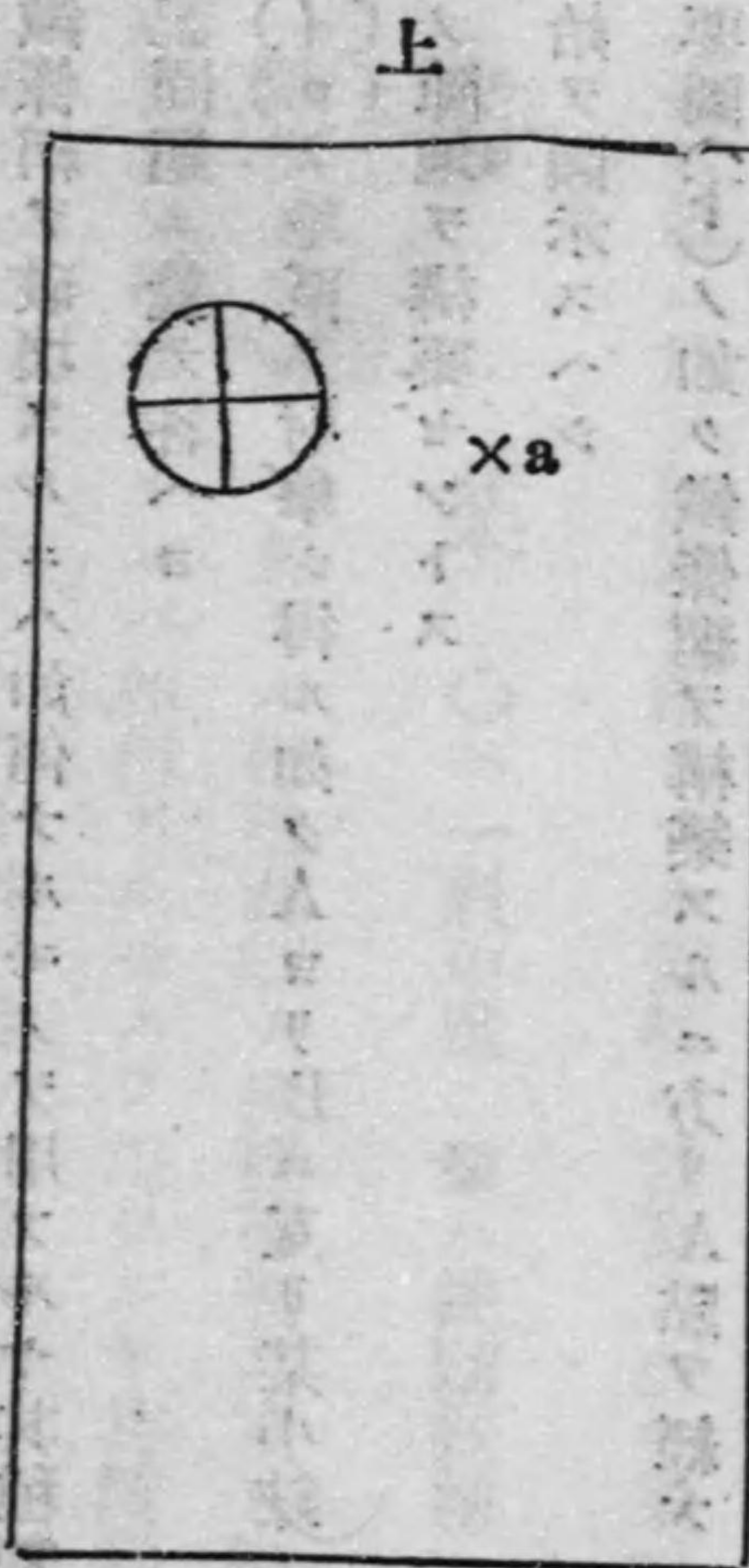
2 射撃ニ際シ發生スル瓦斯ヲ蓄積セシメサル設備

### 其他ニ關スル事項

(二時間半)

#### 一、測圖學

(イ) A地點(出行點)ヨリB地點ニ向ヒ路上測圖ヲ實施セントス、而シテA地點ヨリB地點ハ一般ノ方向東南ニ當ル左記圖紙上ニ於テ出行點ヲaトセハ圖上方位ヲ如何ニ決定スヘキカ圖ノ左上圓内ニ矢標ヲ以テ北方ヲ示セ



(ロ) 寫景圖ニ於テ左記地物ハ如何ニ描畫スヘキカ各其一例ヲ圖示セヨ

1 松ノ中ニ所々櫻樹ヲ混シタル森林      2 杉ノ森林      3 竹林

4 桑畑      5 水田中ニ在ル池      6 橋梁

#### 二、測圖學

左記二萬五千分ノ一地形圖ニ於テP點ノ標高87米ナリ (注意) 本圖ハ約五分ノ一ニ縮圖シアリ

(イ) A、B、C三點ノ各標高如何

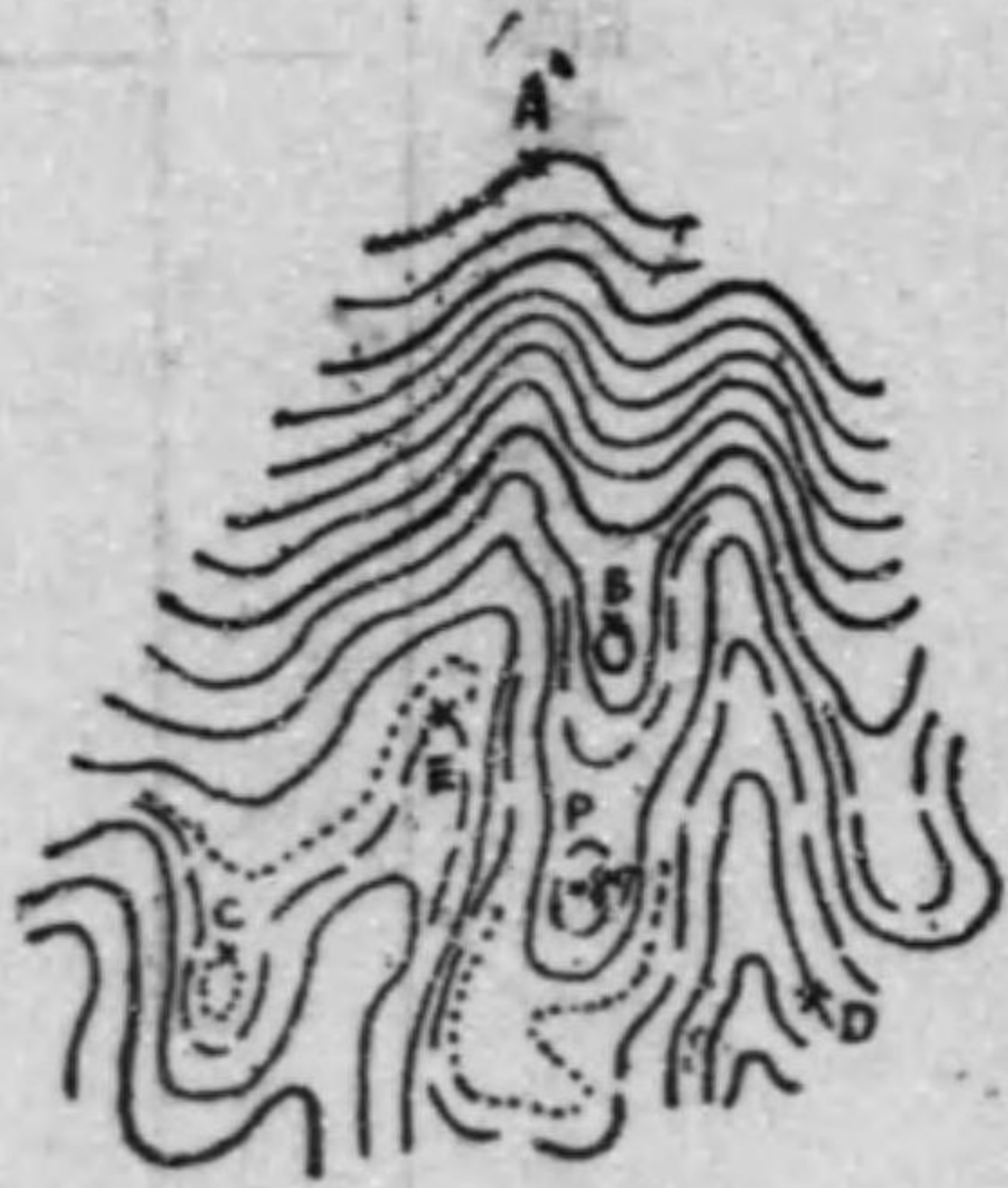
(ロ) D、E兩點ハ何レカ何米高キカ

(ハ) 圖上最低點ニ×印ヲ附セ

(ニ) P、C間ノ圖上距離ニ離離ナリ實距離如何

#### 三、通信教範

左ノ字號通信符號ヲ普通語ニ直セ



#### 四、軍制學

(イ) 左ノ表ニ就キ兩兵制ノ利益ヲ比較シ利益大ナル方ヲ表ノ該當欄ニ〇印ヲ以テ記入セヨ

利益	兵制	志願兵制度	必任義務兵制度
軍隊ノ素質ヲ精銳ナラシム			
有事ノ日兵員増加若ハ補充容易			
最モ經濟的ニ軍備ヲ整フ			
軍事ノ動作ニ習熟			

(ロ) 我國カ必任義務兵制度ヲ採用セル理由ノ最大ナルモノヲ記セヨ

五、軍制學

左記ノ諸件ヲ問フ

(イ) 取扱上便宜ニ從フ兵器ノ類別並其取扱上ノ差異

(ロ) 徴兵ノ意義

(ハ) 教育召集

(ニ) 軍隊ニ於ケル委任經理ノ範圍

六、軍隊教育令

(イ) 教育者トシテ被教育者ノ信賴ヲ益々深クシ其自奮自覺ヲ促スニ缺クヘカラサル要素ヲ舉ケヨ

(ロ) 教育年度ニ於テ昭和九年度トハ如何ナル期間ヲ謂フカ

七、軍隊衛生學

凍死假死ノ救急處置ヲ問フ

八、軍隊衛生學

左記事項ヲ問フ

(イ) 成人健康者一日分ノ呼吸數

(ロ) 夏季行軍時起リ易キ行軍病ノ名稱

(ハ) 食器、防具ノ消毒ハ如何ナル疾患ヲ豫防スル爲メ實施スルモノカ

國語作文

(二) 時間

一、次ノ文章ヲ解釋セヨ

大將の進路は曲折あり頓挫ありて、決して和易輕快なりといふを得されども、其晩節に於て、かくまでに聖天子の知遇を辱うしたり、大將が鞠躬盡瘁、老の將に至らんとするを知らざりし心事、以て察すべきにあらずや

二、左ノ文章中ノ片假名ノ部分ヲ其ノ傍ニ漢字ニ改メテ書ケヨ

國家各種のキクワンは生民のアンネイをキジシ、そのフクシをソウシンシ、キヨウアクを正し、フ  
テイを罰し、以て我が父母師長をして我等に對するジアイクントウの務を全うせしむ

三、次ノ文章ノ空間ニ適當ナル熟語ヲ書キ入レヨ(但シ〇〇ハ字數ヲ示ス)我等の生るるや。を問は  
ず。を論ぜず、心身の。を忘れ、千辛萬苦以て我等を。し、以て我が成長を遂げしむ

四、左ノ語ヲ解釋セヨ

(イ) 國家の蠹賊 (ロ) 天賦の能力 (ハ) 無勢の様體 (ニ) 無量の感慨

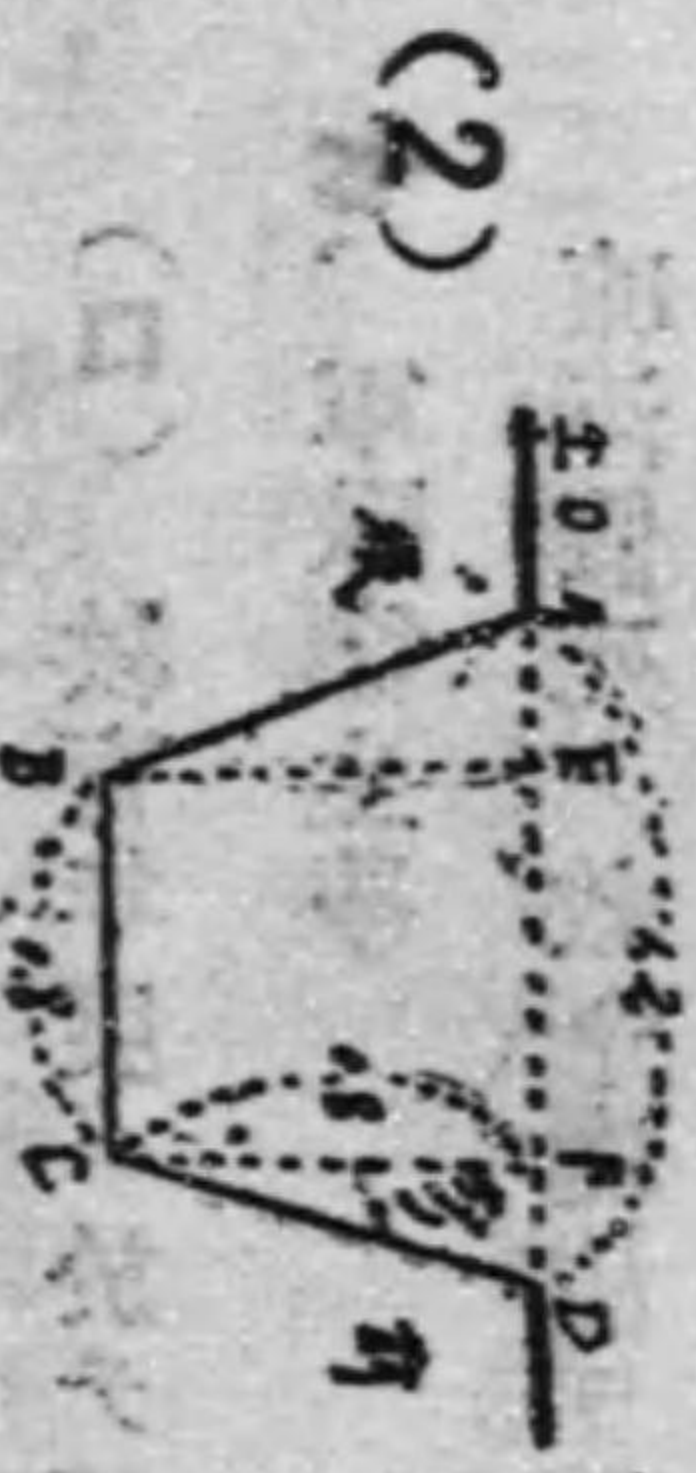
五、次ノ熟語ニ讀ミ假名ヲツケヨ

(イ) 噓々 (ロ) 喧傳 (ハ) 技巧 (ニ) 觸接 (ホ) 駐蹕 (ヘ) 衰龍  
(ト) 草摺 (チ) 支度

數 學

(二 時 間)

(1)  $(x+4)(x-1)=(x+1)^2$ ヲ解ケ



左圖ハ立射用散兵壕ノ地下部ノ斷面圖ナリ(單位米)  
四角形ABCDノ面積ヲ求ム

(3) 前題ノ圖ニ於テ

(甲) 點Cヨリ線AD=D下セル垂線ノ足ヲFトセハDF線ノ長サ如何  
(前座ノ傾斜率ハ $\frac{1}{5}$ ナリ)

(乙) 後壁ノ傾斜率( $\frac{BE}{AE}$ )ヲ求ム


(丙) A.Cノ二點ヲ連ヌルトキハAC線ノ長サ如何(糶未滿ハ切捨テ)

(4) 或距離ヲ毎時5杆ノ速サニテ行ケハ毎時3杆ノ速サニテ行クヨリモ4時間早ク到着スヘシト云フ、  
此距離ヲ求ム

(5) 矩形ノ對角線ハ等長ナルコトヲ證セヨ

物 理 化 學

(一 時 間 半)

(1)  圖ノ如キ容器アリ之ニ液體ヲ入レシニ流出口ハ低キ位置ニアルニ拘ラス液ノ流出セ  
サル理由如何

(2) 小舟ヨリ陸ニ飛上ル際注意セサレハ水中ニ落ツルコトアリト謂フ何故カ

(3) 複蓋的鏡ノ理ヲ圖解シテ説明スヘシ

(4) 無定形炭素ノ主ナル性質及其用途ヲ記セ

(5) 黑色火薬ノ製法及其特徴ノ缺點トヲ述ヘヨ

(1) ...  
 (2) ...  
 (3) ...  
 (4) ...  
 (5) ...  
 (6) ...  
 (7) ...  
 (8) ...  
 (9) ...  
 (10) ...  
 (11) ...  
 (12) ...  
 (13) ...  
 (14) ...  
 (15) ...  
 (16) ...  
 (17) ...  
 (18) ...  
 (19) ...  
 (20) ...  
 (21) ...  
 (22) ...  
 (23) ...  
 (24) ...  
 (25) ...  
 (26) ...  
 (27) ...  
 (28) ...  
 (29) ...  
 (30) ...  
 (31) ...  
 (32) ...  
 (33) ...  
 (34) ...  
 (35) ...  
 (36) ...  
 (37) ...  
 (38) ...  
 (39) ...  
 (40) ...  
 (41) ...  
 (42) ...  
 (43) ...  
 (44) ...  
 (45) ...  
 (46) ...  
 (47) ...  
 (48) ...  
 (49) ...  
 (50) ...  
 (51) ...  
 (52) ...  
 (53) ...  
 (54) ...  
 (55) ...  
 (56) ...  
 (57) ...  
 (58) ...  
 (59) ...  
 (60) ...  
 (61) ...  
 (62) ...  
 (63) ...  
 (64) ...  
 (65) ...  
 (66) ...  
 (67) ...  
 (68) ...  
 (69) ...  
 (70) ...  
 (71) ...  
 (72) ...  
 (73) ...  
 (74) ...  
 (75) ...  
 (76) ...  
 (77) ...  
 (78) ...  
 (79) ...  
 (80) ...  
 (81) ...  
 (82) ...  
 (83) ...  
 (84) ...  
 (85) ...  
 (86) ...  
 (87) ...  
 (88) ...  
 (89) ...  
 (90) ...  
 (91) ...  
 (92) ...  
 (93) ...  
 (94) ...  
 (95) ...  
 (96) ...  
 (97) ...  
 (98) ...  
 (99) ...  
 (100) ...

### 陸軍教導學校令拔萃

一、陸軍教導學校ハ現役歩兵科下士官ト爲スヘキ學生ヲ教育スル所トス

二、陸軍教導學校ハ左ノ三箇所ニ置ク

仙臺 豊橋 熊本

三、學生ハ下士官候補者タル現役歩兵科兵ニシテ所定ノ期間在營シタル者ヲ以テ之ヲ充テ其ノ修業期間ハ概ネ一年トシ毎年一回入校セシム

陸軍補充令第六十四條 歩兵科現役下士官ハ下士官候補者トシテ概ネ二年在營シ且陸軍教導學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ヲ補充ス

同 第六十六條 歩兵科下士官候補者ハ現役ノ第一年次兵ニシテ概ネ三月以上在營シ下士官ヲ志願シタル者ノ中ヨリ詮衡ノ上之ヲ採用ス

四、學生ハ校内ニ居住セシメ其ノ修業ニ要スル兵器、圖書、器具及消耗品等ハ之ヲ貸與又ハ支給スルコトヲ得

學生ノ兵器及被服ハ其ノ所屬隊ヨリ携行セシム

陸軍教導學校令拔萃

- 五、學生ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス
- 六、學生ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム
  - 一、軍紀ヲ紊リ又ハ屢々法則ヲ犯ス者
  - 二、品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
  - 三、學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
  - 四、傷痍疾病ニ因リ修業ニ堪ヘサル者
- 五、前各號ノ外下士官タルニ適セスト認ムル者
- 七、學生中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修業期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得サル者ニシテ尙望ミアル者ハ所定ノ期間之ヲ滯學セシムルコトヲ得
- 八、前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ教育總監ノ認可ヲ受ケ退校又ハ滯學セシム
- 九、退校セシメラレタル學生ハ之ヲ歸隊セシム
- 九、卒業者ニハ卒業證書ヲ附與シ之ヲ歸隊セシム（歸隊ノ上所屬隊ニ於テ伍長ニ任セラレ）

注意

現役兵ハ年齢十七年以上徵兵適齡未滿ノ者ニシテ現役兵トシテ二年在營スルコトヲ志願スル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

前項ノ年齢ハ志願ノ年ノ十二月一日ニ於ケル年齢トス

昭和六年 二月十日 印刷  
 昭和六年 二月十五日 發行  
 昭和八年 二月三十五日 第四版

仙臺、豊橋、熊本

陸軍教導學校試験問題集

不許複製

定價 九十五錢  
 郵送料 八錢

編輯者 齋藤 市平  
 東京市麹町區三番町六十九番地

發行者 齋藤 正治  
 東京市牛込區市ヶ谷本村町九番地

印刷者 鈴木 由太郎  
 東京市四谷區本村町四番地

發行所 兵書刊行會  
 東京市牛込區市ヶ谷本村町九番地

電話牛込(34)三六三八番  
 振替口座東京七二五六一番

書名	定價	送料	備考
索引付縮刷典令集步兵科皮製	一、〇〇	四	幹部候補生 試驗問答
レザ一表紙	八〇	四	上等兵候補者 試驗問題
同	一、二〇	四	憲兵試驗答案ト著眼集
同	一、〇〇	四	步兵操典試驗問答
同	一、〇〇	四	陣中要務令試驗問答
見出附步兵四書レザ一表紙	一、〇〇	六	小銃射擊教範試驗問答
軍隊服務八書	一、八〇	六	築城築營交通教範試驗問答
條項對照式步兵典範	一、三〇	六	軍制學試驗問答
條項對照式步兵十書	一、八〇	八	地形、測圖學試驗問答
幹部候補生試驗問答全書	八五	六	要圖ト寫景圖ノ書方
少尉候補生試驗問答全書	六〇	四	教育總監部工兵監部認可
全幹部候補生終末試驗問題集	一、二〇	八	工兵基礎教練參考書
全幹部候補生終末試驗答案集	一、八〇	一〇	十一年式輕機關銃の詳解
軍事學問答大全書	一、八〇	一〇	速習軍用日滿會話

新進軍歌全集	二〇	二	教練指導教案ト計畫	七〇	四
新曲ベビ一軍歌	二〇	二	青年訓練軍事講話問答	四〇	二
新選軍人の手紙と挨拶	四〇	四	陸軍省檢閱濟版應用(一讀必ズ便益ヲ感ズ)		
範模軍人各個教練教育法	三〇	二	見出附步兵操典	三〇	四
カ一各 候 教 育	二五	二	同 見出附陣中要務令	三五	四
カ一各 候 教 育	二五	二	同 見出附戰鬥綱要	一七	二
カ一各 候 教 育	二五	二	同 見出附軍隊內務書	二二	二
カ一各 候 教 育	二五	二	同 見出附衛戍勤務令	二二	二
カ一各 候 教 育	二五	二	同 見出附小銃、輕機銃射擊教範	五〇	四
カ一各 候 教 育	二五	二	同 見出附小銃、輕機銃射擊教範	五〇	四
風紀、衛戍歩哨便覽	二五	二			
陣中勤務歩哨便覽	二五	二			
十一式輕機關銃故障排除	五	二			
班長必携身上調書	四五	四			
教練號命令令集	五	二			
手旗單旗通規定厚紙折本	五	二			





